

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

The School for Knowing

Section 4

[Lesson 35 ~ 49]



ユニティヒーリング

身体とエーテル体を活性化する
普遍的な生命エネルギーを取り入れ、
意図的に活用する。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

治療者よ、汝自身を癒せ
Physician, heal thyself.

ヒーラーが適度に内的葛藤から解放されているならば、
クライアントにポジティブな影響を与えることができる。

一方、クライアントの内なる葛藤が、
ヒーラーの内なる葛藤と一致している場合、
自然な気の流れは、
クライアントの病をヒーラー自身に持ち込むことを引き起こす。

他者の不安定さに巻き込まれないようにするために唯一の確実な方法は、
ヒーラー自身が内的葛藤から解放されることである。

クライアントの不安定さ、ストレス、総体的なネガティブな性向、
そして内なる葛藤は、
ヒーラー自身に滞りや葛藤がなければ、
ヒーラーにどのような影響も与えることはできない。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

 Section 4 / Lesson 35 - 47 ユニティヒーリング

| | | |
|---------------------|--|---------|
| Lesson 35 – Week 35 | 肉体のエーテル体と魂のエーテル体のつながり | 0 6 p |
| Lesson 36 – Week 36 | ユニティヒーリングの基本的なプロセス | 1 6 p |
| Lesson 37 – Week 37 | 中級ユニティヒーリングのテクニック | 3 2 p |
| Lesson 38 – Week 38 | 肉体とエーテル体の融合 | 4 4 p |
| Lesson 39 – Week 39 | エーテル体と肉体の間の気の流れの再構築 | 5 2 p |
| Lesson 40 – Week 40 | 内的葛藤を手放すためのヒーリングテクニック | 5 8 p |
| Lesson 41 – Week 41 | 引き寄せの法則 (復習) | 7 4 p |
| Lesson 42 – Week 42 | 人体のエーテル体にある過去世の傷を癒す | 8 0 p |
| Lesson 43 – Week 43 | 今世の虐待とトラウマ (身体的外傷) を癒す | 8 6 p |
| Lesson 44 – Week 44 | 肉体とマインドのつながりを癒す | 9 4 p |
| Lesson 45 – Week 45 | 形のある世界は私たちの ^{コマンド} 指令に従う (復習) | 1 0 0 p |
| Lesson 46 – Week 46 | チャクラのハーモニクスの調整と内分泌系および非内分泌系へ及ぼす効果 | 1 0 6 p |
| Lesson 47 – Week 47 | 身体的、精神的なウェルネスへの方法 | 1 2 2 p |

 Final Section / Lesson 48 - 49 叡智と日常の統合

| | | |
|---------------------|------------------------|---------|
| Lesson 48 – Week 48 | 自己覚知した人として、模範となる人生を生きる | 1 2 8 p |
| Lesson 49 – Week 49 | 自己覚知から覚醒へ移行する | 1 3 2 p |

巻末資料

| | | | |
|------|--------|----------------------------|---------|
| 資料 1 | Week35 | 肉体と魂のエーテル体とチャクラシステム (カラー図) | 1 3 7 p |
| 資料 2 | Week36 | 転生していない魂のエネルギー (カラー図) | 1 4 1 p |
| 資料 3 | Week37 | 図解 人格/自我 (カラー図) | 1 4 3 p |
| 資料 4 | Week38 | 推奨される手順 ポイント図解 (カラー図) | 1 4 5 p |

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.
The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.
© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 35

第 35 週—肉体のエーテル体と魂のエーテル体のつながり

The Physical and Soul's Etheric Form Connections

このレッスンのテーマ Theme

エーテル体が人間の認知体験にどのように関連し、機能しているのか、その基本を理解する。

魂のエーテル体から肉体へのエーテル物質の流れがブロックされると、慢性的な病気や葛藤の形成の原因となる

一人ひとりの人間の形態は、^{ミクロコスモス}小宇宙である地球上の進化する物質と、^{マクロコスモス}大宇宙である永遠に一定した魂意識が一体化したものです。人間の物理的な肉体は、物質であると同時に感覚意識をもったエネルギーでもあり、魂がこの惑星の体験を観察することを可能にします。

人間の肉体は類人猿をもとにしてデザインされました。類人猿の能力が地球上のすべての生命体の中で一番優れていたからです。連続して起きた一連の突然変異は人類に自身を個として認識できる論理的な理性をもたらしました。それが、数百万年の年月を超える進化と意図的なデザインをひき起こしたのです。瞬間的な突然変異（通常2世代から3世代以内に起きる）は、進化するダイアード感覚意識が直前の肉体の死を体験したあと、次に新しい^{ボディ}肉体の創造を助けるときに起こります。

存続し転生するダイアードそれ自体はエーテル状の形態で、単細胞であったときから今現在の人間の肉体にいたるまでに顕現したすべての形態の記憶をすべて備えています。ただし、人間の形態に転生しているときには、直前の転生の記憶にのみ携わっています。

人間が認知能力を獲得するために必要とされた、進化のプロセスにおける4回の突然変異のためには、魂が人間の^{ボディ}肉体に宿る必要があったのです。

魂が宿るとその人間の肉体が活性化されます。魂の主要な構成要素であるエーテル物質と

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

肉体の主要な構成要素である物質的物質が混じり合うことによって息吹が与えられるのです。この物理的肉体と魂とのつながりがなければ、医療の助けがない場合、肉体は数日間しか生きていられません。生命を維持する装置の助けがある期間のみ、その後も生存できます。

肉体のエーテル体に穴があいていたりなどしてある領域だけ暗くなっているような損傷は、最も近い過去世のトラウマが原因です。物理的な肉体と魂のつながりがさえぎられた場合、肉体や感情体、および^{メンタル}精神体に数多くの異常を起こします。

魂のエーテル体から肉体へのエーテル物質の流れがブロックされた状態で、さらに今世でも虐待や放置を体験した場合、深い内的葛藤が形成されます。そして人生の行動は、その葛藤によって方向づけられてしまいます。

直前の転生での肉体の激しいトラウマと、数々の過去世からの未解決の課題が組み合わされたとき、その影響は今世の肉体に慢性的な病気として表れます。急性の深刻な病は、いくつかの過去世で繰り返された未解決の課題が、内なる葛藤と組み合わされた場合に現れることがあります。

このような組み合わせは、休むことのないストレスとなって私たちを襲います。深い内的ストレスが、さらに厳しい環境や、否定的な身体的、感情的、精神的な習慣によって強調されると、出現した病状は激しく進行し、肉体を破壊してしまいます。

ある種の意識的な呼吸法や瞑想、ヨガや有酸素あるいは無酸素運動、食生活や適切に水分をとること、適切な睡眠、笑いや仲間との語りなどは、深い内なる葛藤の解放には有効です。けれども、過去世からの未解決の問題(カルマ)を解放するにはほとんど役にたちません。

ユニティヒーリングでは、人間存在の全体を取り扱います。つまり、肉体と魂意識の双方に関わり、クライアントが自分の深い内的葛藤と、それが結びついている未解決の過去世の問題を理解できるように助けることを意味します。同時に、肉体のエーテル体と魂のエーテル体のつながりを再統合します。

肉体と魂それぞれのエーテル体同士のつながりを統合することは、過去世の問題を解決するためには絶対に重要です。ここから統合が始まるのです。ダイアードのエーテル物質に存在する空白の部分や影の部分が回復すると、ダイアード感覚意識とトライアードの魂意識と

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

が明確につながります。

再び双方の意識のつながりがしっかりと確立すると、過去世からの課題と今世の内的葛藤をどうすれば完了できるかを直感的に「^{ノウイング}知る」ことができるようになります。アカシックレコードから情報を入手できるユニティヒーリングのヒーラーは、その後クライアントが自己覚知に向けてさらにバランスを取り戻せるように援助することが可能です。

ダイアード感覚意識と魂意識のつながりの再構築は、慢性や急性の病気からの完全な肉体の回復を保証はしません。特に、もうすでに広範囲で肉体が損傷を受けている場合、または、異常や奇形を形成する活性化した遺伝的形質が、さらに強調されている場合は難しくなります。

明確なつながりが再び構築されると、感情や精神の苦痛はすぐに軽減します。「自分は健康でバランスのとれた人生を送る価値のない存在だ」と感じさせるもとなった深い内的なストレスから解放されるためです。

クライアントが症状の原因を知ることは、完全に回復するために必要不可欠です。そして同じ症状が戻ってくることを防ぐことができます。

エーテル体に働きかけるユニティヒーリング Working with the Etheric Forms

エーテル体やオーラを見ることができかどうかはさして重要ではありません。大切なのは、クライアントのエーテル体のエネルギーをあなたが感じるかどうかということです。エーテルエネルギーを感じる方法にはいくつかあり（日常の実習を参照のこと）、またそれぞれ人によって体験も異なります。

体験を始めるための適切なスタート地点とは、まず「ダイアードとトライアードのエーテル物質がどのように相互に関係しながら、地上での人間体験を形づくるのを助けているのか」を知識として明確に理解することです。

これはぜひ覚えておいてください。あなたは特定のテクニックを使って他者のダイアード感覚意識と魂意識のエーテル体をしっかりと再結合させる手助けをすることができます。そ

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

して、あなた自身が過去世からの未解決の問題と内的葛藤の組み合わせからほとんど自由であれば、あなたはクライアントが同様に自由になるプロセスを真に導くことができるのです。

ユニティヒーリングは、意思に方向づけられた「意図」そのものです。人間が持っているそれぞれの体や形態が、どのように共に機能して人間体験をもたらしているのかを理解しましょう。その知識が「意図」に力を与えます。

あなたがバランスのとれた純真無垢な存在であれば、あなたのセッションのヒーリングの効果は瞬時に顕れ、永続します。ではあなたがまだ、自分の内なる悪鬼に取り組んでいるならどうでしょうか。人が大いなる自己を発見し、地上でのより大いなる目的を見つけることができるようにとあなたがサポートしても、その効果はずっと減少します。

魂のエーテル体にある4つの異なる層 The Soul's Etheric Form

マクロの視点から見ると、魂のエーテル体には異なった4つの層が存在するように見えます。各々の層はそれぞれ微妙に異なったハーモニクスエネルギーを持っています。色合いも少しずつ違います。

このエーテル体の層の違いはほとんどの場合、気づかれることはありません。ただ、ユニティヒーリングのテクニックなどの、人間のハーモニクスの領域を変容させるような統合の方法を使うときにのみ重要になります。

クライアントを通して経験を積み重ねていくほど、あなたはエーテル体内にある、非常に精妙な各層が生み出す違いに気づくようになるでしょう。特にクライアントが今世の内的葛藤と対になった過去世の未解決の課題を解放することを助けていくにつれ、区別できるようになります（次ページ図参照）。

① **オヴァム（A）** は透明または銀から金で、肉体のすぐ外側を取り囲んでいます。肉体の一番外側の輪郭とエーテル体の間の隙間のように見える部分です。隙間は胴体の部分で一番幅が広くなり、つま先や手指、クラウンチャクラのあたりではほとんど区別できません。オヴァムは、肉体と肉体のエーテル体、そして魂のエーテル体を流れるエネルギーのフィ

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

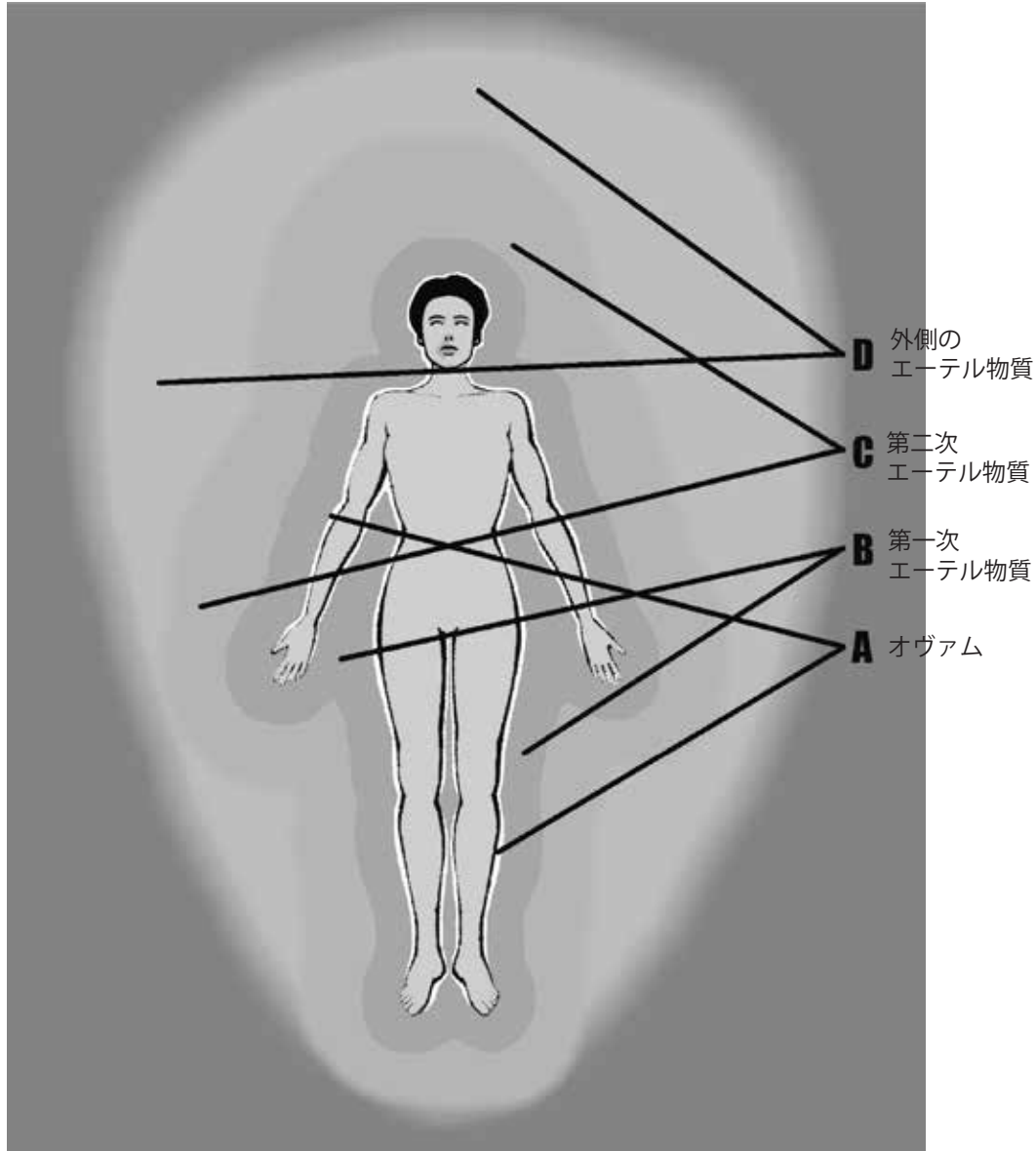
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

魂のエーテル体にある4つの異なる層



覚えておいてください。エーテル体はそれぞれの微妙なハーモニクスの違いによって、層が形成されています。アストラル体のように、きちんとした層に分かれているわけではありません。エーテル体のエネルギーを「感じる」タイプのヒーラーは、各層を温度や触れたときの感触の変化によって区別します。ある場所では電氣的なびりびりした感触があり、別の場所ではチクチクする感触があるといった違いです。ただ、人によって、同じハーモニクスでも感じ方は様々です。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

ルターの役割をしています。オヴァムがなければ、肉体は魂のエーテル体の放射エネルギーのすべてにさらされることになります。そうすると、肉体の寿命は20年ほど短くなってしまふでしょう。

- ②**第一次エーテル物質 (B)** は、エーテル体と肉体のエネルギーの網目の橋渡し^{グリッド}をしています。この部分に今世のすべての記憶が保持されています。あなたの現在の人生における子宮から墓場までのすべての瞬間の記録です。この部分がダイアード感覚意識のエーテル体と考えられています。ダイアードのエーテル体は肉体の周りの同様の部分を占めているからです。
- ③**第二次エーテル物質 (C)** は未解決の過去世からの課題、今世に関連する戦略的な能力、そして、直前の過去世の感覚的な嗜好が記録されています。
- ④**外側のエーテル物質 (D)** は今までのすべての転生の記憶が保持されています。

進化する知性、ダイアード感覚意識のエーテル体 The Etheric Form of Dyadic Awareness

地球上のすべての生命体を生み出した、個人と集合体の進化する知性は、自らの物質形態の死滅を超え、今までの形態に酷似した新しい形態^{ボディ}を、受精後生成するのを助けます。

受精の瞬間に放出されるハーモニクスエネルギーは、まず継続するダイアードの知性を引き寄せ、次にトライアードソウルを引き寄せます。受精直後から、ダイアードもトライアードもお互いに気づいています。

NOTE 受精したときから、母親には力強い二重のエーテル体ができます。新しい肉体に魂が宿ったあとは、二重のオーラができます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

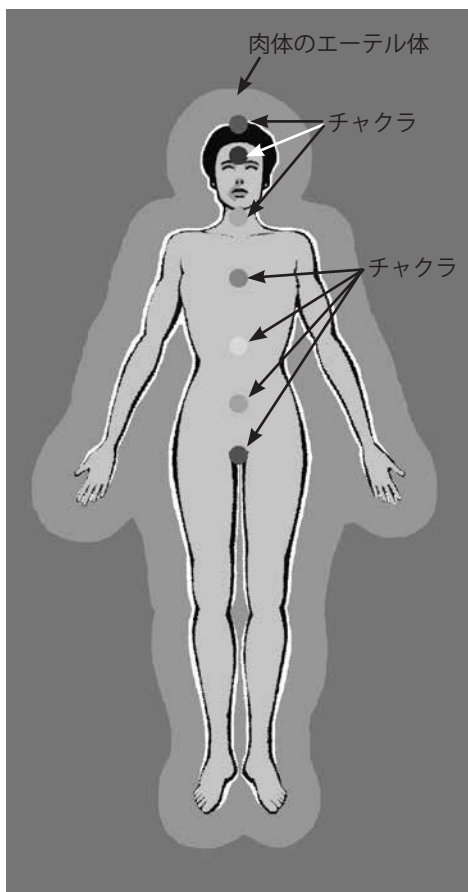
継続するダイアード感覚意識——進化する知性は、特定のボディタイプ（種）が体験できる範囲内で体験できるすべての可能性を探求したあとは、次の新しい種へと飛躍的な変異をとげます。そして、その生命形態の中で存在のあらゆる違いを体験しはじめるのです。

これが進化のプロセスです。創世から最後の段階まで、その進化の道程におけるすべての種それぞれの変容に精妙な影響を与えているのは、この継続する感覚意識なのです。

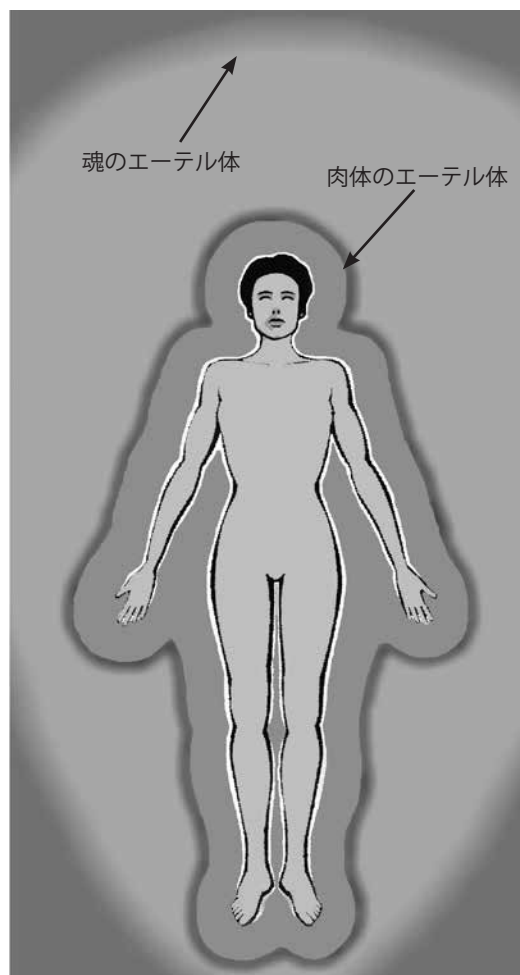
継続するダイアードの知性 (Surviving Dyadic Intelligence) は発達し、変異と存続を繰り返すそれぞれの種として形態を創りながら、エーテルプラズマ物質で占められる領域を成長させていきます。その領域には、成長にとまなうすべての転生の記憶が保持されています。

人間の種としての形態、つまり肉体を生成するようになるまでに、そのエーテル体は非常に複雑になっていきます。それによって肉体のハーモニクス構造はトライアードの魂の強烈なハーモニクスにつりあうようになります。トライアードの魂が新しい肉体に引き寄せられてこない場合、その肉体は母親の子宮内の体験と、もし生まれたなら、その後の非常に短い時間の体験はすることができます。トライアードの宿らない肉体のオーラは通常とは異なり、非常に狭い範囲でしか存在しません。人間の物理的肉体のエーテル体は右ページで示されたような形で肉体を包んでいます。

肉体のエーテル体と7つのチャクラ

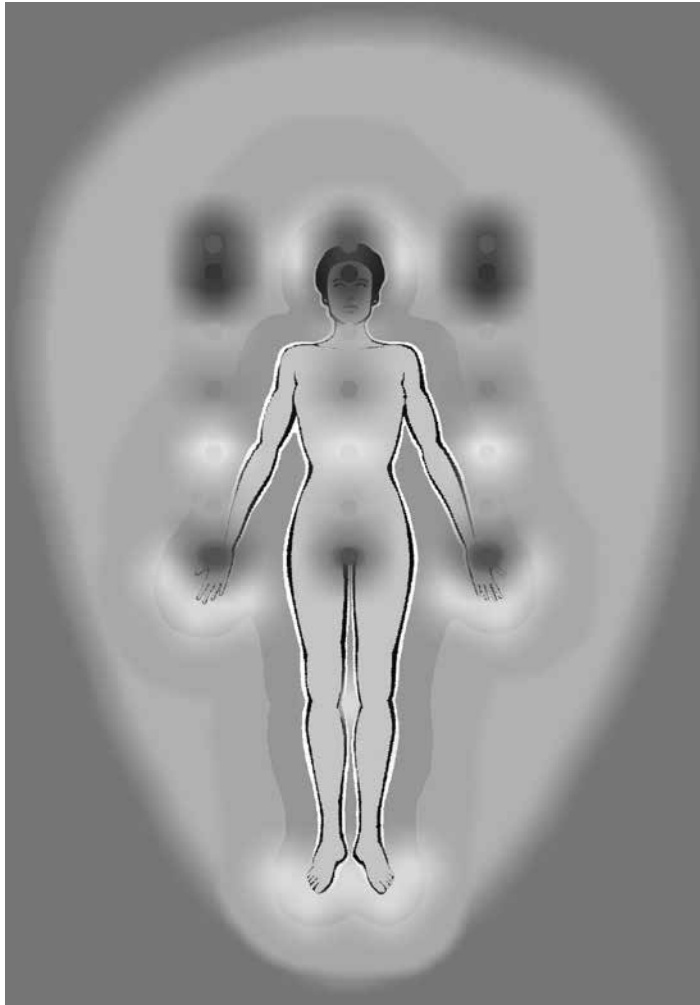


人間が「認知する」という体験が出来るのは、肉体のエーテル体と魂のエーテル体とが、同じ時空を共有しているからに他なりません。(下の図を参照) この二種類のエーテル体が重なり合っているからこそ、永遠に一定の魂と、進化する物質である人間の肉体との間で、同等に記憶の交換が行われるのです。これは+ (陽) の電荷を帯びた物質と- (陰) の電荷を帯びた物質との完璧な結合です。無垢で、内的葛藤から自由である人間のダイアード感覚意識と魂意識は 140P 図 35-4 のように見えます。



右の図はトライアードの魂のエーテル体と、ダイアード感覚意識のエーテル体がどのような形で層になっているのかを理解するための図です。ただし、この図は、実際の霊的視覚を通して見る状態を正確に示しているわけではありません。

7つのチャクラを有した3本の柱



7つのチャクラを有した、3本の柱があります。自分から見て左側が女性性、右側の柱が男性性、そして中央は肉体に属しています（前ページ左上を参照）この中央のチャクラは、魂が胸腺をとって肉体に入るときのみ、完全に活性化します。

双方のエーテル体が組み合わさったものは、一般的には卵型をしています。魂意識が完全に目覚めると、頭部のクラウンチャクラの辺り、両手、ひざのすぐ内側と両足に、後光のような光のエネルギーが観察できるようになります。

核となるチャクラシステムは、以下のように肉体の分泌系と直接関連しています。

- 1) ベースチャクラ 卵巣／睾丸
- 2) 第二チャクラ 脾臓
- 3) 第三チャクラ 副腎とすい臓
- 4) ハートチャクラ 胸腺
- 5) 喉のチャクラ 甲状腺
- 6) 第三の目のチャクラ 脳下垂体
- 7) クラウンチャクラ 松果体

《推奨される手順／手でエネルギーを感じてみる》

オーラやエーテル体を見るための視覚を使わず、次の1週間は手の周りのエネルギーで感じながら生活してください。最初は想像力イマジネーションを必要としますが、そのうち完全な体験に変化していくでしょう。

次のエクササイズを公園か自然のある場所で行ってください。できれば、あなたにそれほどなじみのない場所がよいでしょう。腕を下に下ろし、少しひじを曲げます。両方の手のひらを外側に向けて開いてください。少し時間をとって、今、居る場所にある対象物を何か意識して見てください。たとえば、植物や石、建物などです。

次に目を閉じて、自分の呼吸に意識を向けましょう。自然にゆっくりと息を吸ったり、吐いたりします。まず香りがあるかどうかを感じてみてください。何か小さな音はしていませんか。ハチの羽音や、鳥のさえずり、風が木の葉をゆらす音が聞こえているでしょうか。

目を閉じたまま、あなたが意識して見たものに向かって近づいていきます。近づいていくとき、十分に感じられるようにその対象に対して自分を完全に開いてください。なにかびりびりした感覚があるかもしれません。何もないはずの空間に何か抵抗を感じるかもしれません。周りの空気に電氣的なエネルギーや、熱さや冷たさといった変化を感じるかどうかに注意を払ってください。

目を閉じたまま、自分と対象物との間にどれくらいの距離があるのかを感じてみましょう。それから目をあけて、正解を確認します。このエクササイズを何度も行います。別の場所、さまざまな対象物に対して繰り返して行ってください。

レッスン 36

第 36 週—ユニティヒーリングの基本的なプロセス

Basic Unity Healing Processes

このレッスンのテーマ Theme

ユニティヒーリングの理論とテクニックの基本を理解する。

ユニティヒーリングとは人間存在の全体を扱うエネルギーのヒーリング

エネルギーを基盤とするすべてのヒーリングは代替療法のひとつです。エネルギーヒーリングにおいて施術者や実践者は地球上で気やプラナー^{プラクティショナー}として体験されるエネルギーのパイプとなります。この気やプラナーはユニバーサルマインドの「生命維持に必要な物質としての一側面」であり、純粋で不変の根本^{プライマリー}のエネルギーです。

ほとんどのクライアントは、この純粋な気のエネルギーを体験すると、急に喜びが高まり、深くつろぎを感じます。また、純粋なエネルギーがクライアントのエーテル体に流れると、肉体はリラックスします。

この非常に深いリラックス状態に入るとすぐに、否定的な生活習慣や遺伝的な素因、あるいは現在の過酷な状況などから受けたストレスによるエーテル体や肉体のダメージを癒す過程^{プロセス}が始まります。その際、クライアントが生活習慣を変えるか、過酷な状況から脱すれば、ヒーリング効果は永遠に持続しますが、古い習慣^{パターン}を繰り返すなら、体調はまた悪くなるでしょう。ただし、その場合でも通常、症状は軽減します。

気に関する重要な情報 Some important information concerning chi 気やプラナーは、純粋で無垢な思考エネルギー

- 気やプラナーは、創造において、いつでもどこにでも存在しています。転生しているかどうかにかかわらず、第一次存在、つまりトライアードの魂は、特定の方法で気の流れを方向づけることができます。
- 魂が人間の形態に宿っているとき、気の流れは、信念、感情や精神の^{ブロック}滞り、最後に遺伝子

順に影響を受けます。遺伝子は、すべての病に対する最も小さな影響要素ですが、遺伝的要因がストレスにより強調されてしまうと、その影響は支配的になり、原因となったストレスがなくなっても長期にわたり作用を及ぼします。遺伝的要因を促進させたストレスが取り除かれない場合は、その症状は慢性化します。

- 気やプラーナは、ねじれや歪みがまったくない純粋なエネルギーです。気やプラーナを説明するのに「純粋なエネルギー」と言いますが、一番理解しやすい完全な定義は、気やプラーナは、「^{ピュア}純粋で^{イノセント}無垢な思考エネルギー」という表現でしょう。

- 人間の場合、気は、年齢、性別、人種、種族などに関係なく働きます。

ここから少し複雑になります。生命を宿し、感覚を備えたすべての生命体の基盤である自然発生の媒体としての気のエネルギーは、それぞれの生命体（種）によって基本的に同じような様相を帯びます。つまり、それぞれの種が持つさまざまな能力は、特定のグループにおいては同じです。

例 品種、大きさ、性別、さらには、どこで生まれたとしても、また、野生であっても飼われていても、すべての猫は基本的に同じ行動をとります。

ただし、人間だけは他の生命体とは異なり、信念や理論、識別能力をガイドとして、自分の思考や行動を形成します。それが種族の集合意識や個人の肉体の自然な気の流れを歪めるのです。

- 受けた影響を変化させて、歪んでしまった気の流れを元に戻すことは可能です。いったん実際に気が動きはじめると、その強度を変化させることは非常に難しくなります。

非常に重要なポイント Extremely important クライアントとヒーラーの精神状態に影響されないために

ヒーリングセッションでは、クライアントとヒーラー双方の総合的な感情と精神の状態が気の流れや強さを決定づけます。

ヒーラー自身にどこかにブロックがある場合、ヒーラーがチャネルし、流した気には特定の回転^{スピリン}が発生し、ヒーラー自身の健康状態にも影響を及ぼします。神秘主義のヒーリングサークルに「治療者よ、汝自身を癒せ」という古いことわざがあります。ヒーラーの影響がポジ

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

ティブであるように感じられたなら、彼または彼女は適度に内なる葛藤から解放されているといえます。

クライアントの内なる葛藤が、ヒーラーの内なる葛藤と一致している場合、自然な気の流れとしてヒーラーはクライアントの病を自分自身に持ち込むこととなります——「**私たちは、自分が与えたものを受け取る**」のです。この場合、ヒーラーがクライアントの病の症状を引き受けたように見えるだけで、実際にはクライアントは癒されません。

特にクライアントがバランスを崩している場合、自分の身を守るためにクライアントの否定的な影響を何らかの形で遮断し、自分を守るように言う教師もいます。しかしながら、**他者の不安定さに——その大小にかかわらず——巻き込まれないようにするための唯一の確実な方法は、内なる葛藤から解放されることです。クライアント（他者）の不安定さ、ストレス、総合的なネガティブさ、そして内なる葛藤は、ヒーラー自身に^{ブロック}滞りや葛藤がなければ、ヒーラーにどのような影響も与えることはできません。**

エネルギーヒーリングの基本的な見解 Fundamental thoughts on Energy Healing クライアントとの最初の問診からヒーリングの手順まで

肉体を癒すときには、まず初めにエーテル体の状態を把握する必要があります。エーテルのエネルギー体や異なったハーモニクスの密度、肉体のエーテル体にある^{シャドウ ヴォイド}影や空洞が「見える」なら、クライアントとの最初の問診の時点で、すぐに気を流してその場所を修復することもできます。

- ほとんどのエネルギーヒーラーはエーテル体やオーラを「見る」ことはしません。エーテル体を感じられるならば、気の流れがさえぎられる感覚を、温度、質感、密度のさまざまな変化として感じるでしょう。
- エーテル体を感じるには、神経系に流れるエネルギーが穏やかでなければなりません。クライアントに会う前にコーヒーなどを飲まないほうがよいでしょう。アドレナリンが分泌されるとエーテル体を感じる能力を歪めます。10分程度の集中、意識的な呼吸や軽い瞑想など行くと、常にエーテル体やオーラを感じる前に心を落ち着かせることができます。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

- あなたの環境でクライアントがリラックスできないとき、彼らのエーテル体は収縮します。そうすると、エーテル体の状態を正確に知ることはできません。恐怖を感じる、慣れない場所に行く、気分が悪くなる、屈辱を感じるなどの状況では、誰でもエーテル体がぎゅつと縮まってしまうのです。部屋の色やインテリアなどは、常識の範囲にとどめておいてください。

病気を弱みではなく、浄化のプロセスとして尊重する文化はほとんどありません。このような集合意識の信念のために、慢性的な病気の人や今まで健康だったのに突然病気になった人などは、基本的に屈辱と恐れを感じています。そういったクライアントのエーテル体を「感じる」ことは難しくなります。クライアントには心を穏やかにしてもらいましょう。

- ヒーリングに関する自分の個人的なアプローチを知ることは非常に大切です。あなたがクライアントに与える影響に十分注意を払ってください。どのように働きかけていくかについての手順を書き出し、必ずすべてのクライアントに同じ手順で施術します。ある程度の経験を重ねた後、より良いサービスを提供するためにやり方を変えたいと思ったときには、新しい手順をすべてのクライアントに用いてください。ヒーリングの最も重要な最初のステップは、クライアントとの間にすぐに信頼関係をつくることです。信頼関係がなければ、効果はありません。

クライアントがヒーリングスペースに入ってきたときに行う5つの基本手順^{ステップ}

第1ステップ

当然ですがクライアントに居心地が良いかどうかをたずねます。何か問題があるなら、心地よさを感じるためには何が必要かを見つけてください。

例 クライアントが寒さを感じているなら——これは健康上の問題かもしれませんが——軽毛布や大きなショールを用意します。私（ゲリー）は、身体を覆うための瞑想用ショールを渡します。クライアントが、それが瞑想用のショールだと知らなくとも、ショールのエネルギーでクライアントはすぐに落ち着きます。

常温のお水を渡します。到着したとき、ほとんどのクライアントは緊張しているので、

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

お水で心を落ち着かせます。どのような種類でもお茶は避けてください。紅茶や緑茶は神経系を刺激しますし、ハーブティーの薬効成分はヒーリングの流れを変化させてしまうことがあります。ジュースには糖分やでんぷんが入っているので、人工的にエネルギーは急に上がりますが、そのあとストーンと落ちてしまいます。このようなエネルギーの^{アップダウン}上下動があると、クライアントにはヒーリングの効果が一時的なものだったように感じられてしまうでしょう。

第2ステップ

クライアントに、過去の慢性のまたは急性の病気、ケガ、手術、知っている限りでの遺伝的要因が関わる病気、薬（医薬または麻薬）の使用、依存症などがあるか聞きます（30, 31ページにある問診票の見本を参照してください）。クライアントが、双極性障害（躁うつ病）、統合失調症、強迫性障害などの精神障害だと診断されたことがあるかどうかは知っておく必要があります。ヒーラーとしての境界線が広がったと確信するまで、精神疾患を和らげるための試みは避けてください。クライアントが最初の問診に答えている間は、自分の状況に対する恐れや嫌悪感から気がそれているので、彼らのエーテル体を感じる良いチャンスです。

問診票を渡して記入してもらうのはやめましょう。クライアントに質問をしてあなたが問診票に記入します。彼らが話をしている間、集中して「今・この瞬間」にいてください。どうしてここまで来たのかについて話すクライアントの言葉遣いで、彼らが自身をどのように捉えているのか、洞察が得られます。同時に、彼らが「**自分の状況を他人のせいに行っているかどうか**」に注意を向けることも重要です。彼らが**自分のドラマに、どれぐらいあなたを巻き込みたがっているのかを判断できるから**です。

- クライアントのドラマに巻き込まれないでください。
- クライアントが、自分の現在の状況の原因だと感じていたり、信じていたりする事柄について話をさせないようにしましょう。

どのような病に対しても、真の慈愛の心は、妄想や否定がもたらす痛みからクライアントを自由にします。真の慈愛は、病気の濃密な感情や精神の層を通り抜け、最も配慮が必要な部分に届きます。あなたがクライアントのことを気の毒だと思い、憐れみを感じるなら、

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

ヒーラーとして関わってはいけません。代わりに他のヒーラーを紹介してください。クライアントが投影する絡まった感情のエネルギーによって、お互いのエネルギーが低下します。また、あなたが自身の内なる葛藤に対処している途中にもかかわらず、同じ葛藤を抱えたクライアントが来たときにも、他のヒーラーを紹介してください。

第3ステップ

クライアントのエーテル体の状態や気の流れの乱れが、肉体に与えている影響がわかったら、すぐにヒーリングのプロセスに入ります。あなたの身体が出したいと感じる音は、躊躇^{ちゆうちよ}せずに出してください。

第4ステップ

施術後は最低でも10分はクライアントを休ませてあげてください。気が体の中に蓄えられ、効果が完全に定着します。

その他／クライアントに信頼されるヒーラーとしてのありかた

本人が気づいているかどうかにかかわらず、クライアントはあなたが口にするすべての言葉、あなたのすべての動きをさまざまな角度^{レベル}から観察しています。クライアントがヒーラーのあなたを信頼できるように、確信のある、落ち着いた、安心感のある声で話しましょう。

あなたのボディ・ランゲージも非常に大切です。偏見のなさやクリアな感情は、物理的に開かれた、相手を招き入れる姿勢に現れます。

最新の健康に関する書物をよく読んでおくことは、ヒーラーとしての意識を広げ、現在の健康の不安に対して実践的な答えを求めているクライアントから喜ばれることにもなります。助言は、正しい運動、栄養、休養などの自然治癒（ナチュラル・ヒーリング）に関することだけにしましょう。気を生み出すための知識を補足情報として加えます。

太極拳、気功、ヨガ、プラナヤマなどのエクササイズは、一般的な健康増進には、非常にすばらしいものです。プラシーボ（偽薬）効果を用いた治療は、クライアントが施術者を完全に信頼していると、病が完治することがあると証明されています。さらに興味深いのは、値段の高いプラシーボのほうが安いものより効果があると証明されていることです。これは

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

また、どれだけ施術者とクライアントの精神的なつながりが、ヒーリング^{プロセス}過程にとって大事なのかを表しています。

常に覚えておくべきことは、資格や医療関係の免許を持っていない限り、あなたは医師ではなく、エネルギーヒーリングの施術者や^{プラクティショナー}実践者です。どのような状況や関わり方においても、クライアントと医師との関係を邪魔してはいけません。医師や医療関係の免許を持っていない場合、決してそのような態度をとらないでください。

第5ステップ

クライアントの状態について、決して個人情報を他言しないでください。ただ、そのヒーリングプロセスのある側面について他のヒーラーにアドバイスを求めるときは、この限りではありません。ヒーリングのアートはとても親密な関係性であり、ヒーラーは心からそれを尊重し大切にしなければならないのです。

ヒーリングの^{プロセス}過程 Healing Process 気の流れをよくするリリース（解放）ポイントを使う

マクロの視点からいうと病気というものは存在しません。葛藤のエネルギーが特定の症状の要因となり、生命体に現れているだけです。マクロの視点からは、葛藤エネルギーの与えるストレスが、生命体の機能にどのような影響を及ぼしているのを見ることができます。葛藤のエネルギーを完全に手放せれば病気は瞬間的に治りますが、葛藤を少しずつ手放していく場合には、病気は長引きます。葛藤が原因となっているストレスが肉体に存在し続けると、肉体の機能が永久に変化してしまうこともあります。

以前に学んだ通り、魂のエーテル体は肉体に浸透し、肉体を取り囲んでいます。最もハーモニクス密度の高い魂のエーテル物質の領域が肉体に一番近い場所にあり、肉体のエーテル体とほとんど同じスペースに存在しています。人間の肉体に転生していない魂の場合、巻末資料142ページの図のように見えます（注釈 この図にある人体の絵は、肉体に比べ魂のエネルギーがどれだけ巨大なのかを単に表しているだけです）。

●魂が肉体に宿り、その存在が安定すると、巻末資料140ページ、14ページの図のよう

に見えます。魂のエーテル体は、どのような症状や状況においても、また、いかなる方法でも歪むことはありません。

- 人間の形態に内的葛藤が存在するときには、気の流れの歪みは肉体だけでなくエーテル体にも影響します（28ページ参照）。これらの^{ブロック}滞りや歪みは、神経系の生命維持に必要な気の流れを妨げ、組織や臓器の機能を制限します。この章の最後の図は、エーテル体から流れる気の流れによって生じる肉体への影響を表しています。

ユニティヒーリングのプロセスは、ダイアードのエーテル体のナディ（肉体の神経回路に相当するエーテル体の気の経路。気のエネルギーまたはプラーナの通り道のこと）の滞りを外し、肉体の神経系に自然な気の流れを再構築します。エーテル体には特定の組織や臓器、また一般的な精神と感情の状態に関係するいくつかの特定の経路があります（27ページ参照）。また、プラクティショナーが経路のブロックを取り除く前に、気の動きを刺激するための鍵になるリリース・ポイントもあります。リリース・ポイントは少しの間、押し続けることによって流れを促します。

基本的なヒーリングのテクニックを習得するのは簡単ですが、そのテクニックを実践している間は鋭い集中力が必要です。この過程では、実際の行為よりも、ヒーラーの^{メンタル}精神的なイメージのほうが大切になります。プラクティショナーは、あるポイントから流れはじめた気が、必要なすべてのポイントを通り、最終ポイントに到達するイメージを描きます。多くのプラクティショナーは、体の表面に線を描きながら^{チャネル}経路上にあるポイントをつないでいくと説明しています。以下の例を参考にしてください。

このシステムには、タッチング、ホールディング（圧迫）、グラウンディングの3種類のポイントがあります。「**タッチング・ポイント**」とは、**気の経路上にあるポイント**です。それぞれのポイントにやさしく触れることでエネルギーの流れがよくなります。いくつかの「タッチング・ポイント」をつなぎ、特定の順番に気を流す「パッシング」という手法で、経路を再構築できます。各経路の第一のポイントから始め、最後のポイントで終わります（26ページにある表を参照）。この方法では、気のエネルギーを流すときに右手の手のひらを使います。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

「ホールディング・ポイント（圧迫点）」とは、リリース・ポイントと呼ばれる解放の鍵となるポイントで、肉体の特定の部位にある気を刺激します。そうすることで、その場所に対応する精神体（mental body）、または感情体（emotional body）の滞ったエネルギーの解放を助けます（精神体と感情体については、レッスン 37 で詳しく説明します）。リリース・ポイントは、常に右手の中指で触れたり、押さえたりします。

「グラウンディング・ポイント」とは、エーテル体から肉体へのエネルギー回路を完全にすするポイントです。手のひらの中心を直接、このグラウンディング・ポイントにあて、しっかりと押さえます。

例 人が恐れを抱いたり心配し過ぎていたりすると、膝から下の部分に気を供給する^{ナディ}経路に沿って、エーテル体と肉体のつながりが遮断されます。この経路は、肢部の中心のポイント 37 から始まり、内側にカーブしながら中央の経路のポイント 41 へ、そして 44 から 46 に下り、足の親指の第一関節の中心点にあたるセンター 50 に到達します。

気の流れのブロックを取るには、ヒーリングの施術者が、6 の鍵となるリリース・ポイントを 5 分間深く押さえます。このポイントをプッシュすることでのどと肺の気の流れを刺激し、精神体（mental body）と感情体（emotional body）が抱えている葛藤のエネルギーを解放します。次に施術者は、左手をグラウンディング・ポイント 61 に（ポイントが手のひらの中心にくるように）置き、右手の手のひらを使い、掃くような動きでポイント 37 から 41（37、38、39……と順に 41 まで）、次に 44、46、50 のポイントへと手を移動していくことで、その間の経路をつないでいきます。このような手の動きをパッシングと言います。

ポイント番号が 68 ～ 46 となっている場合は、68、67、66……と、番号をさかのぼって 51 の頭頂のポイントまで行き、次に右足の親指のところにある 50 に移動し、49、48……46 まで行って終わります。

ヒーリングにおける「パッシング」は、常にエーテル体のオヴァムの領域、体から 1 ～ 2 インチ（約 3 ～ 6 センチ）の場所で行われなければなりません（体には直接触れません）。このパッシング（気の流れの経路を再構築すること）によって以下のふたつが達成されます。

① 停滞した古いエネルギーを気の経路から取り除く。

②エーテル体と対応する肉体の間に流れている「気の流れ」を活性化する。

一度、経路に沿って「^バ気の通り道^ス」をつくったら、施術者はすぐに身体の近くから手をきつと離し、ベタベタしたものを取るような感じで手をはじきます。「パッシング」は3回行ってください。パッシングを行っている間、手がマグネットのようにブロックしているエネルギーを吸い寄せている様子を思い描くとよいでしょう。身体の両側にはたくさんのヒーリングの「^バ気の通り道^ス」があります。ですからパッシングを行うときには、基本的にクライアントを立たせたままで行いましょう。ただし、長い間ポイントを押さえる必要があるときには、クライアントを座らせてください。

注意 肉体は、常に何かで覆います。生地は天然の物が好ましいでしょう。天然素材の布は、空気中の気を吸い寄せ、体に取り込むのを助けます。クライアントが厚手の服を着ている場合、オヴァムが衣類の下になってしまうので施術が難しくなります。注意してください。

気（プラーナ）の流れのポイントと経路 Chi flow points and paths

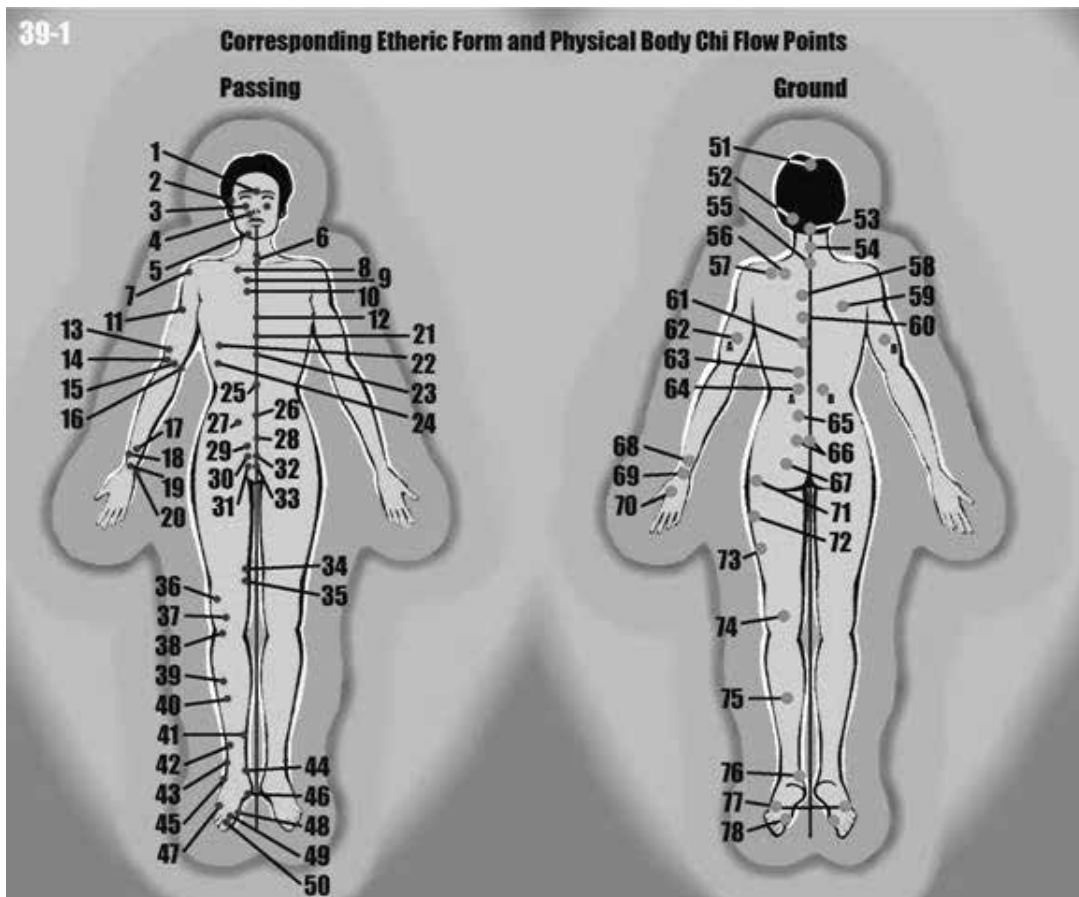
肉体とエーテル体は、肉体への気（プラーナ）の流れを調整するポイントや経路で覆われています。26 ページの図は、基本的な気のラインとポイントを示しています。このシステムの基本を理解することは大切ですし、これからさらに詳しく触れていきます。クライアントにヒーリングをしている間、ヒーラーであるあなたは直感に自分の手を導いてもらうことが大切です。すべてのヒーラーはある程度の共感力を持っています。ヒーラーはその共感的なつながりを通して、直感で自分自身とクライアントのエーテル体と肉体に働きかけます。

ホールディング（圧迫）、パッシング、グラウンディングは、クライアントの体型、組織の密度、また体重が極端に軽いか重いかなどによりやり方が多少変わります。もし、クライアントがホールディング・ポイント（圧迫点）の部分にケガをしている場合、圧迫する箇所をクライアントの心臓と脊柱に近いほうへ少しずらします。背中のパッシングをしている間、ずっとクライアントが立ってられない場合、右側を下にして横になってもらいましょう。こうすることで左側のグラウンディング・ポイントを押さえることができます。

気の経路を再構築するポイント

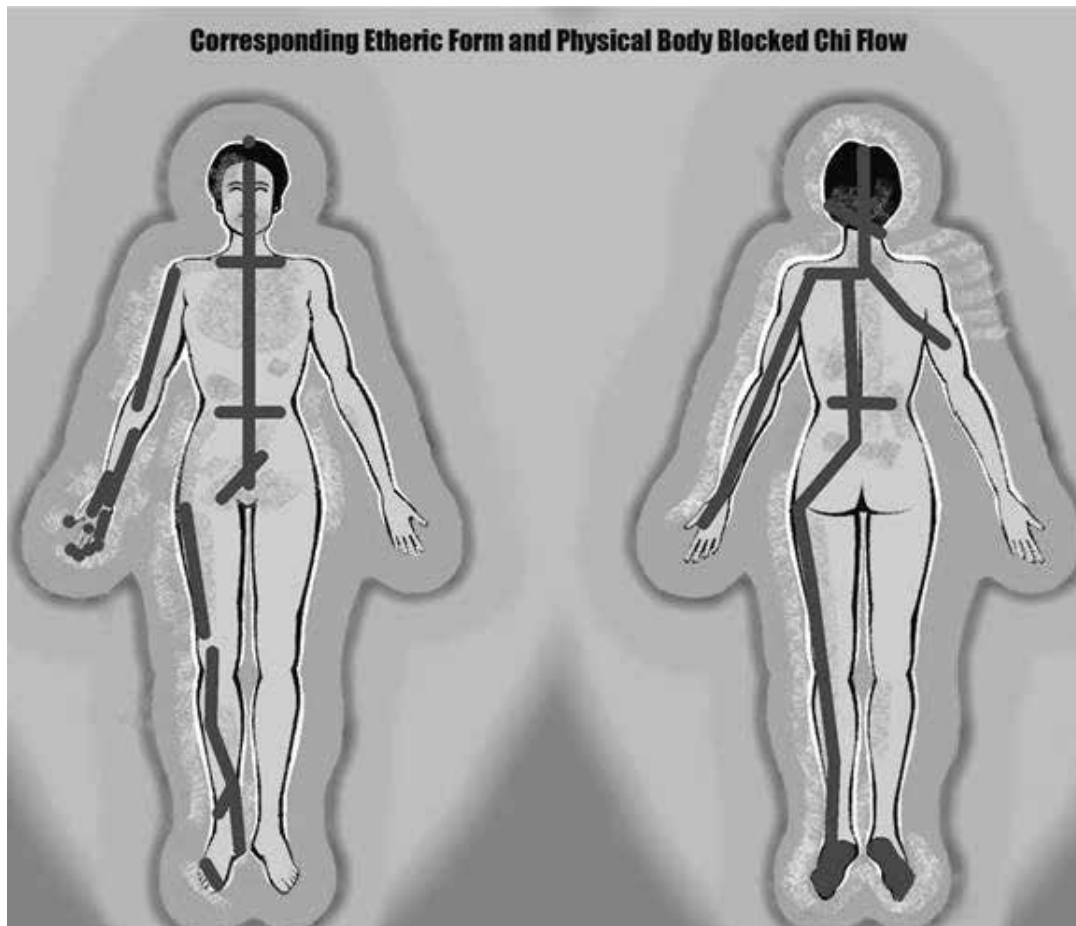
| 症状（日本語） Cases | 症状（英語） Cases | ホールディング Holding/time | パッシング Passing | グラウンディング Grounding |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|
| | | ポイントと圧迫時間 | ポイント | ポイント |
| 感情面／精神面 Emotional/Mental : | | | | |
| ストレス全般 | General Stress | | 17-19、37-41 | 58 |
| 精神／感情の不安 | Mental/Emotional Anxiety | 6を深く5分間 8をしっかりと5分間 | 37-41、44-50 | 61 |
| 悲嘆と喪失 | Grief or Loss | 12を15分間 | 1-6、8、9 | 56/57 |
| 怒り | Anger | 77 (A&B) を10分間 | 71-77 | 61 |
| 内的葛藤 | Inner Conflict | 51を15分間、6を10分間、21を5分間 | 21、23、25、26、27-33 | 61 |
| 不眠症 | Insomnia | | 17-20、36-41、44、46 | 58 |
| 消化 Digestion : | | | | |
| 代謝 | Metabolism | 78を15分間 | 11、21、23、25、26、62 (A&B) | 61 |
| 吐き気／嘔吐 | Nausea/Vomiting | | 17-20、38 | 61 |
| 胆嚢 | Gallbladder | 77を10分間 | 71-76 | 61 |
| 膵臓 | Pancreas | 59を10分間 | 58-64 (A&B) | 61 |
| 肝臓 | Liver | 77 (A&B) を10分間 | 71-77 | 61 |
| 腎臓 | Kidneys | 46を10分間 | 63-66 | 61 |
| 健康全般 General Well Being : | | | | |
| 疲れ全般 | General Fatigue | | 23、33、37、69 | 70 |
| 肺の活力 | Lung Vitality | 6を5分間 | 8-10、38-46 | 56/57 |
| 副鼻腔炎 | Sinus Congestion | 3を5分間 | 17-20、52-57 | 54 |
| 頭痛 | Headache | 53を5分間 | 1、2、3、18、69、55 | 58 |
| 炎症 Inflammation : | | | | |
| 関節痛全般 | General Joint Pain | 70を10分間 | 14、38、43、47 | 68/69 |
| 首の炎症 | Neck Inflammation | 70を10分間 | 43、53-55 | 68/69 |
| 肩の炎症 | Shoulder Inflammation | 70を10分間 | 7、13-14、39、75 | 68/69 |
| 腰の炎症 | Hip Inflammation | 70を10分間 | 38、43、71 | 68/69 |
| 膝の炎症 | Knee Inflammation | 70を10分間 | 36-39、43-50 | 68/69 |
| 生殖器関連 Reproductive : | | | | |
| 性機能障害 | Sexual Dysfunction | 70を10分間 | 17-20、29-33、44-50 | 64 (A&B) |
| 月経の問題 | Menstrual Problems | | 27-33、37-46 | 64 (A&B) |

気（プラナー）の流れとポイント



左頁の（A&B）は体の右側と左側両方に存在するポイントであることを示しています。

気の流れがブロックされたときに影響を受ける場所



© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

《**推奨される手順／エーテルエネルギーを感じる演習を続ける**》

レッスン 35 の「推奨される手順 / 手でエネルギーを感じてみる」の方法を使って、生物を取り巻いているエーテルエネルギーを感じる演習を続けてください。対象には触れてはいけません。触れると肉体の感覚が反応して感じるプロセスが止まってしまうます。

ユニティヒーリング問診票 Unity Healing Interview form-1

セッション日時 Date of session _____ / _____ / _____

個人的な情報 Personal Information

名前 Name _____ 生年月日 Date of Birth _____ / _____ / _____

出身地 Place of Birth _____ 結婚歴 Marital Status _____

住所 Address _____

電話番号 Phone _____

現在の健康上の問題 Current Personal Health Issues

不快／痛みの程度 Discomfort/Pain Level (0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10)

ストレスの程度 Stress Level (0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10)

身体的な制約 Physical Limitation _____

慢性疾患 Chronic Illness _____

急性疾患 Acute Illness _____

ケガ Injury _____

アレルギー Allergies _____

薬／健康食品 Medications/Supplements

その他の健康上の心配 Other Health Concerns

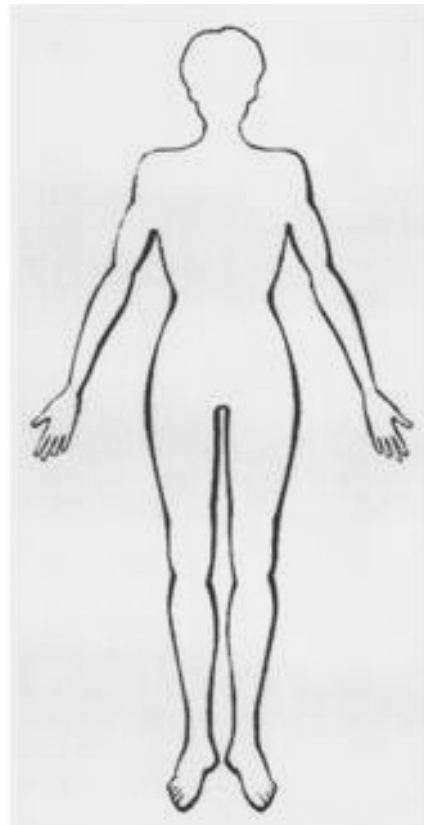
過去の健康上の問題 Past Health Issues

急性疾患 Acute Illness _____

アレルギー Allergies _____

ケガ Injuries _____

手術 Surgeries _____



ユニティヒーリング問診票 Unity Healing Interview form-2

家族の健康上の問題－わかっている遺伝的な問題 Family Health Issue - Know Genetic Problem

直接の血縁家族について Direct Family Members ONLY

子供 Your Children _____

実母 Your Biological Mother _____

実父 Your Biological Father _____

実の兄弟姉妹（両親とも同じ場合に限る）
Your Biological Siblings (Only if they share both parents)

日常生活に関する問題 Life style Issue

連続してとれる睡眠時間 Sleep Hours of uninterrupted sleep : _____ 時間

瞑想／リラクゼーション Meditation/Relaxation : _____

食事 Diet : 下記の中で該当するものにチェック・記入

特に制約なし General _____ ベジタリアン Vegetarian _____

特別な食生活 Special diet _____

食事回数 How many meals each day : _____ 回

1日の摂取飲料 How much fluids per day : _____ リットル Liters

運動 Exercise : 種類 Type

一週間の運動量 Hours per week : _____ 時間

アルコール Alcohol Use : 種類 Type

一週間の摂取量 : _____ 杯 (またはグラム)

タバコ Tobacco Use : 種類 Typ

一週間の摂取量 Per week Usage : _____ 本

カフェイン摂取量 Caffeine Use :

コーヒー Coffee _____ 杯 お茶 Tea _____ 杯

冷たい飲み物の摂取量 Cold Drinks : _____ グラム

栄養ドリンクの摂取量 Power Drinks : _____ グラム

その他コメント Additional Comments _____

レッスン 37

第 37 週—中級ユニティヒーリングのテクニック

Intermediate Unity Healing Techniques

このレッスンのテーマ Theme

ユニティヒーリングの中級テクニックを理解する。

肉体に表れる原因と結果／思考と感情が健康全般にどのように影響しているのか

これまでのレッスンでは、魂のエーテル体と肉体のつながり、及び肉体のエーテル体と魂の関係を見てきました。これらはエネルギーヒーリングのテクニックにおける基本ですが、人間としての健康全体に関わる要素はほかにもあります。身体がなくなっても存続するダイアードのエーテル体以外に、精神的な側面と感情的な側面に関する「想念体 (thought-form body)」があります。「想念体とは、単に魂が人間の形態に宿っている間、魂意識とつながりを持っているダイアード意識である」と多くの教師は主張しています。想念体とは、ダイアードのエーテル体が保持する直前の転生の記憶や遺伝的なつながり、身近な家族の状況、そしてダイアード感覚意識と関連する魂のエーテル体の人格／自我の部分からなる「産物 (Product)」です。

魂やダイアードのエーテル体と同じように、想念体も層状になっています。多くの文献において、それらの層は「ボディ」——^{mental body}精神体と^{emotional body}感情体と呼ばれています。しかし「ボディ」と呼ばれてはいても、明確な境界線を持った本当の「ボディ」ではありません。エーテル体と同じように、精神体と感情体は意図的に方向づけられた思考エネルギーに反応する、精妙なエーテルプラズマ状物質でできています。思考エネルギー自体は純粹であり、放っておくと不活発な状態です。批判や判断、裁きを形成する私たちの信念が、思考エネルギーを伸縮させて動かすのです。いったん動き出した思考エネルギーは永続的に動き続けます。思考エネルギーは意図的に拡大したり収縮したりすることができますが、一度動き始めるとその速度は一定しています。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

「根本の原因」が突き止められない限り、葛藤は解決しない Conflicts

心臓の鼓動や呼吸、代謝など、肉体の不随意運動は思考エネルギーを必要とせずに機能しています。化学的な、そして電磁気的な力によって発生する一連の連続した反応パターンなのです。適切な化学反応が体内で起きなければ、電磁気作用も起きません。不随意運動以外の人間が行う動作は、すべて思考から始まり、肉体を通して意図的に実行されます。

ダイアード感覚意識が思春期を過ぎても優勢な場合、ダイアードは思考エネルギーとそう簡単には協力してくれません。肉体は、あたかもそれ自身のマインドを持って勝手に動いているように感じられ、強迫性障害やトゥレット症候群などの神経症を招きます。西洋医学では、こういった葛藤に、薬物療法やカウンセリングなどのトークセラピー（対話療法）を使って対処します。これらの手法で身体と心の間の葛藤を隠すまたは緩和させることはできますが、肉体が協力してくれない「根本の原因」が突き止められない限り、永久的な解決は見つかりません。

身体と心の間の葛藤に対処する最も有効な方法のひとつは催眠療法です。なぜなら、前意識の状態において身体と精神のギャップを埋めるからです。これによって、ダイアードが魂意識を信頼するようになり、お互いの関係にバランスが戻ります。思春期まで繰り返し虐待を受けたり、無視されたり、放っておかれたりすると、通常、ダイアード感覚意識が優勢であり続けます。そのため、こういった葛藤はよく貧困層や低所得層に属している家族が経験します。つまり、教育の欠如により、いつも、目の前の状況下で生き残りに集中しなければならないからです。

このような葛藤は50年前と比べて少なくなっていますが、生き残りに集中している、または先進国に追いつこうとしている種族や地域の中では、いまだに問題となっています。

超意識から超潜在意識までを含むマインドについて Mind (巻末資料3-144p)

私たちのマインドは、超意識から超潜在意識までを含む、トライアード魂意識とダイアード感覚意識が混合したものです。魂の人格／自我はダイアード感覚意識と融合することによって、ユニークな人生体験を観察できるというわけです。

- トライアードの魂意識は、この世界へ純粋なエネルギー（^{ジョイ}喜び）を放射し、^{ジャッジ}裁きや好

みと関係なく人生を観察しようとしている。

- ダイアード感覚意識は、存続し進化し続けた末に獲得した最終形態を通して純粋なエネルギーへと昇華^{アセンション}してダイアード魂^{ソウル}になろうとしている。

バランスのとれた状態では、人生において直接経験に結びつかないことにはとらわれません。解決されていない葛藤があるとき、つまり、思考と感情が分離しているときのように、「もし~だったら」とか「~でさえすれば」といった仮定や推測に気を散らされていないのです。思考と感情がずれているとき、コントロールできない欲求を経験します。

- ダイアード感覚意識は何よりも存続をしようとしている。人格の自我の部分は何よりも満足感を求めている。
- 欲求は思考エネルギーと感情エネルギーが分離しているときに表れる。
- 欲求があるとき、マインドの自我（内的葛藤）の部分が完全に参加する。

対立する思考（メンタル体—トライアード魂意識）とフィーリング（感情体—ダイアード感覚意識）は、「魂のエーテル体とダイアードのエーテル体」から肉体への主要な気の流れを混乱させます。**エネルギーの流れが葛藤（感情エネルギー）によってブロックされると、エーテル体と肉体の双方において気の流れが滞り、乱れ、止まります。この状態でストレスが発生します。**そのストレスは遺伝的要因を強調し、しばしば病気を引き起こしたり、身体に制限を与えます。神秘家の多くは、病気はまずエーテル体で発生し、その後肉体で発生すると信じていますが、そうではない場合もあります。

原因が完全に遺伝にある病気を持って生まれる赤ちゃんがいます。そのほとんどは遺伝性奇形であり、遺伝的要因に導かれた細胞発達への後成的な^{エピジェネティクス}遺伝子への影響によるものです。

^{メンタル}精神体と感情体は砂時計に似ています。精神体は砂時計のガラスの上部で、上部のチャクラに影響されます。ハートチャクラは上部（精神体）と下部（感情体）をつなぐ狭い中心点

です。砂時計の下部は感情体で、下部チャクラから影響を受けます。ある人が過剰に感情的である、または他人の思っていることにとても敏感であるなら、それは普通、その人の信念や基本的な考え方に相反する欲求（自我主導の衝動）があるからです。精神体と感情体が調和して協力するには、チャクラシステムのバランスをとることが重要です。

知性の顕れであり記憶を司る^{メンタル}精神体 The Mental Body

注意していただきたいのは、ここでいう「mental body（精神体）」は人間の7つの^{ボディ・フォーム}形態のうちの一つとして紹介した「Mental Body（メンタル体）」とは別ものです。この「精神体（mental body）」は精妙なエネルギーの^{フォーム}形態で、魂の人格／自我の詳細や概要を含んだ具体的な知性の顕れです。精神体の主要な機能は記憶です。それは魂の記憶とダイアードの記憶が混ざり合ったもので、最初にイメージーションによって整理・管理され、次に理性によって再び整理・管理されます。精神体は、肉体を包むエネルギーの入れ物として存在しています。精神体が魂と肉体、両方のエーテル体がミックスしたこの入れ物を利用して肉体から離れ、時空を旅することができるのは本当です。精神体をエーテル体と同じものとして教える人もいますが、それは違います。このふたつは別々の入れ物——乗り物です。

私たちのコーザル体（メンタル体とアストラル体の間に存在する7つの形態の一つ）は、熟睡あるいは前意識のとき、精神体を使って観察したことを結びつけ、つながりを持つ記憶として整理します。これらのつながりを持つ記憶は、すべての転生の記憶を含みます。精神体が前意識のハーモニクスへと移行すると、人格／自我は機能しなくなりコーザル体が優勢になります。今世のさまざまな問題の多くは、小さな問題であれ複雑な問題であれ、コーザル体が精神体の中でその解決策を探し出すように機能することで解消されます。私たちはこれらの前意識での活動を「夢」として思い出し、その状態を^{ドリームボディ}「夢の身体」だと考えます。

精神体はまた、地球を取り巻いている集合的な層状の想念エネルギーフィールドとも活発なつながりを持っていると考えられています。人は集合意識から身を引くまで、つまり、人間という形態をまとった自主独立した魂として完全に生きるようになるまで、人類の集合意識に影響されます。精神体にバランスをもたらすには、省察と瞑想が必要です。

感情と自我の欲求を表す感情体 The Emotional Body

欲求のエネルギーは、感情体 (emotional body) という精妙な入れ物の中に蓄えられます。別の教えでは感情体とアストラル体が同じものであると教えられていますが、感情体とアストラル体が混ざり合った部分は確かにあるものの、実際はまったく違います。アストラル体には3つの異なったハーモニクスがあり、それぞれまったく違う経験をもたらします。下位アストラルでは恐ろしい悪夢のような経験。中位アストラルでは人間として観察しているような経験。そして、上位アストラルでは、軽やかで、天使のような高揚した体験です。感情体は層をなして、欲求を満たすための戦略を立てる自我の必要性によって整理されています。

重要事項／すべての疾病はストレスの産物

欲求がないとき、自我は静止しています。考えと気持ちが一致すると、人間はもはや本能(ダイアード意識)や戦略(魂意識の人格/自我)に動かされず、一瞬一瞬完全に現在を生きることができます。このような率直さは、精神体と感情体のバランスが崩れている場合、達成することが難しくなります。

小さなものであれ非常に重篤なものであれ、また老いや若きを問わず、すべての疾病はストレスの産物です。 肉体に対するストレスは、化学的相互作用や感覚刺激を通して、子宮の中にいるときからすでに始まります。そして生まれてからは、身の回りの状況からストレスを受けます。身体が成長するにつれ子供は、最初は親によって、次にそのほかの家族、そして文化によってストレスを受けます。遺伝的要因を持っていた場合、それはストレス——遺伝のスイッチのオン・オフを決める後成的な遺伝子への影響によって強調されます。要するに、私たちは皆ストレスの影響を受けているのです。生まれながらに上手にストレスに対処できる才能のある人と、健康を保つためにはストレスの管理法を学ばなければならない人がいます。幸いにも、ストレスの症状がわかれば対処することができます。

右記リストの症状は別の肉体的疾患による兆候の可能性もあるので、ちゃんと睡眠を取ったり、笑ったり、仲間との時間を過ごしたりしていても、自分やクライアントの症状が消えなければ、認可を受けた医療専門家のアドバイスを求めてください。つまり、疑いがあったら医療機関に行きましょう。また、ストレスを抱えているからといって以下のすべての症状

を経験するわけではなく、ひとつだけでもストレスの兆候かもしれません。

感情的・認知的症状 Emotional/Cognitive Symptoms

- イライラする
- 何かを待たなければならないことに対する不満を感じている
- 気持ちが落ち着かない
- 集中ができない
- 混乱しやすい
- 記憶力の低下
- 常に否定的なことを考えてしまう
- 自分の中で否定的な対話を繰り返す
- 気分に着しいムラがある
- 食べすぎ
- 空腹時以外に食べる
- 物事を成し遂げる十分なエネルギーがない
- 何かをうまく処理できないと感じる
- 決断をくだすのが難しい
- 感情の爆発
- 基本的に気持ちが動揺している
- ユーモアセンスの欠落

身体症状 Physical Symptoms

- 筋肉の緊張
- 腰痛
- 肩・首の痛み
- 胸痛
- 胃痛・腹痛
- 筋肉のけいれんや神経性チック
- 原因不明の発疹・皮膚炎
- 動悸が激しい・速い

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

- 手のひらに汗をかく
- 運動していないときに汗をかく
- 胃がもやもやする
- 消化不良・お腹がゴロゴロなる
- 下痢
- 不眠・寝すぎ
- 息切れ
- 息を止めている

自律神経系／ストレスの影響を受ける交感神経について Autonomic Nervous System (ANS)

人間には3種類の神経系を含む、自律神経系といわれる不随意の神経系があります。

- 腸管神経系 Enteric Nervous System (ENS)
末梢神経系 Peripheral Nervous System (PNS) の一部で、消化器系を直接コントロールします。
- 副交感神経系 Parasympathetic Nervous System (PNS)
副交感神経はエネルギーを貯めて、神経を相対的に休息した状態に保ちます。
- 交感神経系 Sympathetic Nervous System (SNS)
交感神経は闘争／逃走 (fight-or-flight) 反応するための身体の準備を行います。この交感神経系がストレスの影響を受けます。

交感神経系 (SNS) は、多くの生体において、^{ホメオスタシス}恒常性維持機構による増減調節を行います。交換神経線維は、ほとんどの臓器系に分布され、少なくとも瞳孔直径や内臓の動き、尿量など多様な機能を調節しています。その最も知られている機能は、闘争／逃走反応とも呼ばれる、神経細胞やホルモンのストレス反応を調節する機能です。この反応は、副腎髄質にいたる交感神経節前繊維（そしてその他すべての交感神経繊維）の末端部からアセチルコリンを放出し、それが主に副腎髄質からのアドレナリン（エピネフリン）の分泌を活性化し、さら

にノルアドレナリン（ノルエピネフリン）の分泌も促すため、「交感神経—副腎系反応」としても知られています。つまり、主に心臓血管系に作用するこの反応は、交感神経系からの直接の刺激と、副腎髄質から分泌されるカテコールアミンによって間接的に調節されます。

原始的な環境では、生き残りを確実にするために、ダイアードの感覚意識が交感神経の大半を完全にコントロールすることが重要でした。現代では、交感神経は安全・安心を脅かす問題だけではなく、「包含と排除」に関する感情からも大きな影響を受けています。認められていない状態であればあるほど、交感神経が負うストレスが増します。このようなストレスは体内のほとんどの臓器に影響を及ぼします。かなえられなかった個人的な期待と排除された気持ちをあわせると、そこから副腎と心筋に過度にストレスを与え、圧倒してしまうほどです。こういったストレスは体中すべての仕組みの効率を下げてしまいます。

非言語的なサインを客観的に細かく観察すると、感情を発見することもできます。覚えておいてください。以下のリストに挙げた症状は指標であって、確実な診断ではありません。クライアントにワークをする際、彼らが自分のことを語る時は注意深く聞くことが大切です。クライアントの言葉遣い、言い回し、構文はその人の感情の状況について手掛かりを与えてくれます。

怒り (Anger)

怒りは目標達成が挫折しているときに起きます。

- 首、顔のどちらかまたは両方が赤い
- 食いしばったあごの筋肉が噛む動作をしている
- 拳を握り締めている
- 他人の身の回りのスペースに入るように身を乗り出す行為
- 基本的に攻撃的なボディランゲージ

恐れ (Fear) ・ 不安 (Anxiety) ・ 緊張 (Nervousness)

恐れは、基本的なニーズが脅かされているときに起きます。恐れにはちょっとした不安から極端な恐怖まで、多くのレベルがあります。恐れが引き起こす身体の変化によって簡単に見分けがつきます。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

- 冷や汗
- 顔色が悪い
- 口の乾燥（唇をなめる、水を飲む、のどのあたりを触るなどの行為でわかる）
- 相手を見ない
- 潤んだ目
- 唇が震える
- 口調が変わる
- 言い間違い
- 震える声
- 目に見えるほどの頻脈（首の表面、組んだ脚の動きなどで見える）
- 発汗
- 筋肉の緊張—手や腕を握り締めている、ひじを脇につける、けいれんのような動き、
脚を何かに巻きつけるなど
- あえぎ呼吸・息を止める
- そわそわする
- 腕や脚を組む、手足を引き寄せるなどのような防衛的なボディ・ランゲージ

悲しみ (Sadness)

悲しみは幸せの反対で、うつ状態を表します。

- うなだれた身体
- 唇が震える
- 一本調子の声
- 涙

気恥ずかしさ・きまり悪さ (Embarrassment)

気恥ずかしさやきまり悪さは、罪悪感や価値観に反することなどによって起きます。

- 首、顔のどちらかまたは両方が赤くなる
- うつむく、相手から目をそらす、相手の目を避けるなど
- 顔をしかめる、つくり笑いをする、話題を変えるなど、もしくは自己批判的な感情を隠そうとする行為

病気にならないために必要なふたつのこと

相反する信念（精神体）と未完了の感情（感情体）の原因を見つけ出すことは大切ですが、症状を軽減するために絶対必要というわけではありません。不快感を取り除いた後は、クライアントが思考と感情とのずれをそのままにしておかないことが不可欠です。それまでの習慣を続けると、もとの症状が戻り、そこから生じる敗北感が原因で前よりも悪化する可能性もあるからです。

すべての人生経験に対して直接的に関わる人は、思考と感情が自然に融合されてきます。慢性、急性疾患のない人生を送るのに必要なことは次のたったふたつのことです。

- できるだけ^{コンプリート}全体性を備えた存在であること——すべての想定されるヴィジョンを実際に生きること
- 自らの人生にバランスを取り戻そうとしている人に対して、その人がどのような道を選んだとしても、慈愛と無限の理解を与えること

人生の詳細はすべて望む通りである、そうでなければ違うものとなっているはず、と理解した上で前記のふたつを実行すれば、あなたは完全に責任を引き受け、原因と結果の両方として生きることができます。

《推奨される手順／

怒り、悲しみ、喜びなどの感情が身体のどこに表れたかをチェックする》

精神体と感情体の解析を行うと、思考と感情が健康全般にどう貢献しているかについての洞察を得ることができます。精神体と感情体のエネルギーが、エーテル体・肉体のどのあたりに表れているかを知ることが大切です。誰もが思考や感情を異なって経験するものの、私たちは皆人間ですから、人と同じような経験をする傾向があります。たとえば、さまざまな文化において怒りは怒りですが、不満は文化によって微妙に異なったかたちで内側と外側で表現されています。

クレヨンやマーカーなどを使うので、適切な場所に座ってください。次ページの図を使ってあなたの感情をマークするワークです。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

呼吸に意識を向けてください。身体はリラックスしていきます。足の指先から頭頂まで、筋肉を筋肉群ごとに緊張させてください。顔の筋肉の番になったら、その全部を3回緊張させます。1回ごとに、筋肉を緩めながら「リラックス」と声に出して言ってください。

リラックスしたら、あなたが「ひどく怒りを感じた出来事」を思い出してください。不愉快な詳細をできるだけよみがえらせます。怒りの思いに反応して収縮する身体の部分に気づきましょう。図の上のその部分に印をつけてください。

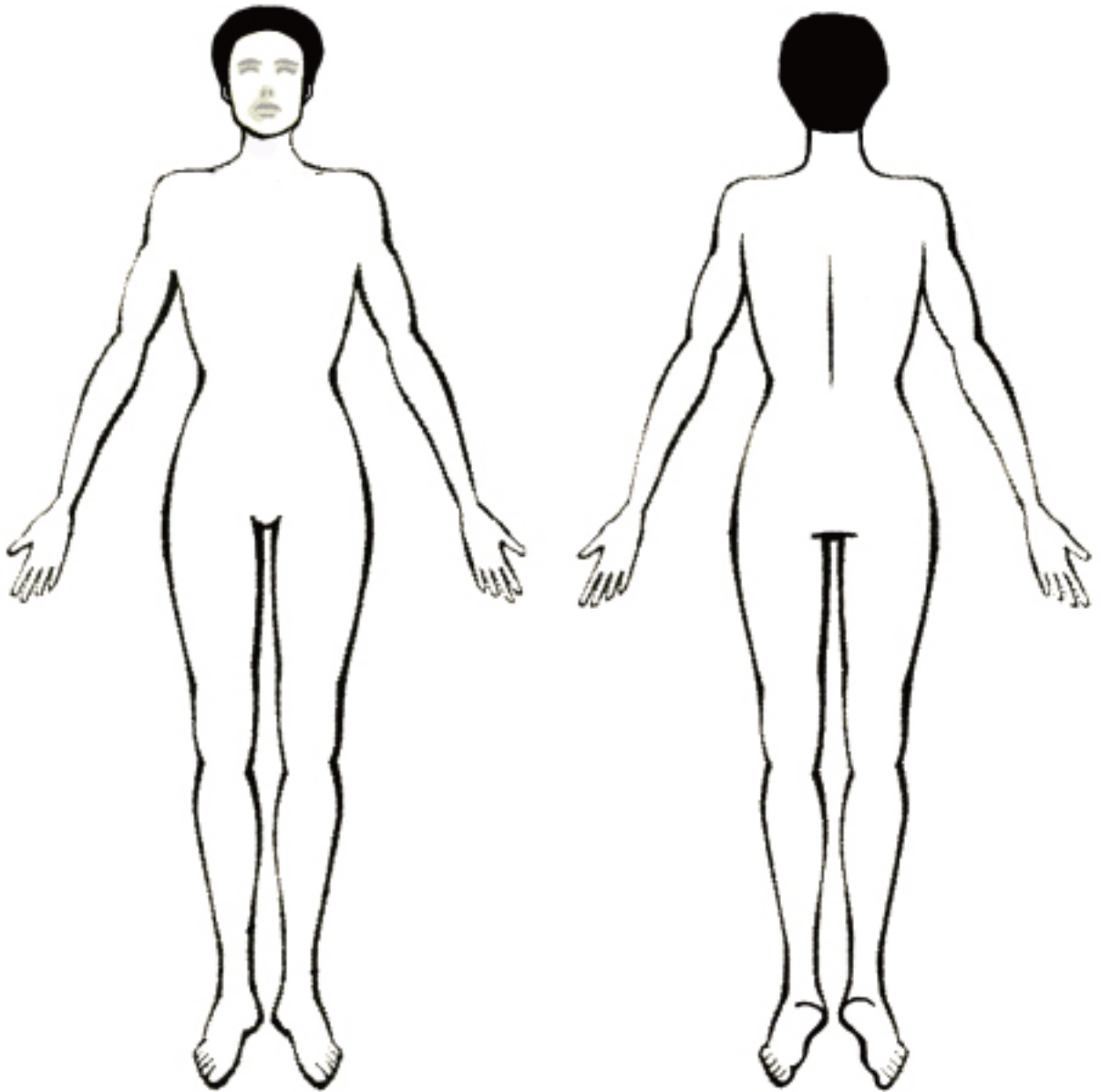
再び呼吸に意識を向けて身体をリラックスさせましょう。3回コンプリートブレスを行い、息を吐くたびに、「リラックス」と声に出して言ってください。

異性の相手との「不愉快なやり取り」を思い出してください。不愉快な詳細をできるだけよみがえらせます。記憶に反応して収縮する身体の部分に気づきましょう。図の上のその部分に印をつけてください。

同じように、悲しみ、喪失（悲嘆）、かなえられなかった期待、屈辱、排除、失敗など、いくつかの感情を対象に課題を繰り返してください。

その後、同じような方法で喜び、成功、勝利感などの感情を対象に行ってください。

感情マッピングシート



Notes

レッスン 38

第 38 週—肉体とエーテル体の融合

Blending the Physical and Etheric Bodies

このレッスンのテーマ Theme

肉体とエーテル体のエネルギーのつながりを効果的に再構築する方法の初歩を理解する。

**「正しくありたいという必要性」を手放せば、無限の気が流れ込み、
あなたにパワーを与えてくれる**

子供の頃の私たちは、自然に肉体やマインドとともにあります。

私たちの精神体 (mental body) と感情体 (emotional body) は、他の子供たちと遊び、家族のメンバーの人格や自我との交流を通して発達します。意識的に気がついてはいませんが、両親が彼らの喜びや悲しみ、成功や失敗をどのように取り扱うかを観察したり聞いたりしながら、その断片を寄せ集めて環境に適応する方法を試行錯誤します。要するに私たちは新しい現実に適応するためのプロセスの中にいるのです。私たちが論理的思考を使い始めると、自然な状態から抜け出てしまい、欲しいものを欲しいときに得ようとして戦略を使った駆け引きをするようになります。戦略や駆け引きの能力は社会化され、機械化された世界で成功するには大切な要素です。しかしこれは、ひとつの転生の中で自己覚知を得る能力を取り去ってしまうのです。

これがエネルギーヒーリングとどんな関係があるのだろうか、と思うでしょうか？

私たちは極めてユニークな結合による形態です。気のエネルギー、物質 (substance)、意識 (consciousness) と感覚意識 (awareness) が一体化した^ユもの^ニとして、人間という形態に存在しています。もし自然のままの状態であれば、人生が展開するそれぞれの局面において、私たちは自動的により大いなるヴィジョンの現実に目覚めることができます。

本来、気の流れは制限なく開いています。ただ、すべての頭での操作や学んできた戦略が、肉体とエーテル体の間の気の流れを方向づけてしまうのです。拒絶を恐れると気の流れはさ

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

らに歪みますが、これは大抵の場合、初めて両親に罰を受けたときに起こります。欲しいときに欲しいものを得るために自分の状況や人間関係を操作しようとするほど、気の流れは散漫になります。この状態にあると人は消耗し、感覚的な期待や使い慣れた戦略だけに頼るようになります。こうなるまでに一生かかるわけではなく、ティーンエイジャーになる前にすべてが起こります。

非常に数少ない恵まれた人々が、人生の基本を教えてくれる愛や慈しみのある家庭で育ちます。彼らは中等教育後も良い環境で過ごし、興味のある満足できる仕事を見つけ、健全な恋愛関係に落ち着き、若い頃に思い描いていた人生を生きることでしょう。人生を送っている間ずっと健全さを保ち続けることはとてもまれです。世界はこのような人々を称賛して有名人の地位に押し上げ、たとえ彼らの例に倣う人がほとんどいなくても、それが可能だということを見せてくれます。

私たちの人生がこの例と違うなら、直接的で自然に生きることを私たち自身がやめてしまったからです。直接的な人生とは、^{ダイレクト}操作や機械的な期待を超えて、欲しいものを欲しいと求められる人生です。

今までの人生で築いてきた「すべての戦略」を手放してください

トライアードの魂意識とダイアードの感覚意識の結合は、私たちが完全に自然な存在になれるように意図的にデザインされたものです。要求の多い肉体の飽くことのない欲求／心配からも自由であり、肉体とは違って永遠不変である魂の無関心さからも自由な転生を送れるのです。すべての戦略や操作は、肉体に宿る魂としての私たちが「本来誰なのか」という問いへの誤解を、さらに大きく分厚くしてしまうだけです。

私たちは生命を誤解することで、生命エネルギーの自然な経路を^{チャネル}汚染します。望むだけ長生きできたら、それは奇跡です。この世界では平均寿命は61歳にすぎません。幸福、つまり自分のことを忘れ、他の人が必要とするものを思いやるときにもたらされる状態こそ、バランスとれた気の流れを取り戻す最も直接的な道です。

何に対しても「自分が正しくあろうとする必要性」を手放した瞬間、エーテル体と肉体の間に自然な流れが戻ります。それはあなたが再び自然な人生を取り戻すから——もう自分に

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

価値があるか、愛されるに足る存在であるかどうかを証明しようと気にすることなく、人生を直接生きるからです。正しくあろうとする必要性を手放すことで、あなたは正しくなり、バランスを取り戻し、^{イノセント}純粹無垢になるのです。

この自然な状態に戻るためには、今までの人生で築いてきた「すべての戦略を手放す」という深い内なる^{コミットメント}決意が必要です。ここで知っておくべき大切なことは、あなたが今まで成し遂げてきたすべてを放棄する必要はないということです。自分の財産や立場をそのままに、自然な状態に戻ることは可能です。^{コンシャスネス}意識とエネルギーの関係を理解しているかどうかの問題です。

自分はどこも間違っただけでなかったのだと理解できたとき、つまり誤解に覆い隠されていたけれど、本当は「私たちは正しい」ということが理解できたとき、すべての内なる葛藤はすぐに解体されていきます。無価値観や誤解は、正しくあろうとする、つまり、「愛され、含まれることへの必要性」という傘に覆われています。正しくあろうとする必要性は、含まれ、愛されることへの必要性です。正しくありたいという必要性を手放すことで操作や機械的な期待を解放し、人生を直接—ダイレクトに生きることができるようになります。直接生きる人生には、無限の気が流れ込みパワーを与えます。こうなると、あなたは何かを得るために何かをする必要はなくなり、自由を獲得するのです。

今すぐ、「正しくありたいという必要性」を手放してください、そうすればあなたは正しくなるのです。

大抵の場合、正しくあろうとするという必要性を手放すプロセスは、瞑想や意識的な呼吸法を学ぶことから始まります。たとえば、プラーナヤマやヨガのさまざまな道などです。自分や人が自然な状態に戻るのを助ける方法は他にもあります。

自分自身やクライアントのエーテル体と肉体のエネルギーを融合するとき、元の自然な状態へ滑らかに移行することが大切です。

《推奨される手順／エーテル体から肉体へ「気」のエネルギーを送る》

51 ページの図（カラー図 146P 参照）に示されているそれぞれのポイントは、徐々に活性化すると、エーテル体と肉体の間を流れる気のエネルギーバランスの回復を促します。この方式は基本であり、まず施術者が自分自身で体験してください。その後で、同じやり方をクライアントに行うことは可能です。先にクライアントに行うと、彼らのエネルギーが解放され、より大きな気の流れに開かれたときに、施術者がそのエネルギーに呑み込まれてしまいます。

重要なポイント／気の流れが変わると、思考の質が変わってくる

エーテル体と肉体に出入りする気の流れの突然の変化は、個人のハーモニクスを変化させます。同調する思考の質が変わり、最終的には認識の仕方や態度が変わります。はつきりと認識できる変化がなくても、家族や友人の目には変化したように映るでしょう。クライアントにこのテクニックを用いる場合、変化に慣れるまでの間、精神的なサポートが必要なら追加^{フォローアップ}のセッションができるということをしかりと説明してください。

施術中はプロセスに集中し、あなたやクライアントから浮かび上がる考えや感情に気を取られないようにしましょう。どのような理由があろうと、最後まで手順を終了できない場合は行わないでください。一度始めたら、どのような理由があっても最後まで終わらせなければなりません。これはクライアントに説明しておきましょう。手順は全部で1時間くらいです。

テクニック

呼吸に意識を向けてください。コンプリートブレスを行います。肉体、マインド、あるいは感情で注意を向けてほしがっている部分があるかどうか気づいてください。何もせず、ただ観察したことを受け入れ、何かを求めているそのフィーリングをただ認め、再び呼吸に意識を集中します。

マインドのパワーを使って、エーテル体が肉体を取り巻いているのを思い描きます。肉体に触れるたびに、正確に触れたその箇所をとおって、エーテル体から肉体へと気のエネルギーが取り込まれます。同時にふたつ以上のポイントに触れたときは、エネルギーの三角形を形成して肉体へ流れます。三角形の頂点はエーテル体にあり、底辺が肉体の側です。ポイント

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

に触れるこの方法には決められた順番があります。最初のポイントから次に続くポイントへ、^{ライン}気の道を形成しながらエネルギーが流れていきます。すべての手順が終わったら、肉体の中心である脊椎とチャクラへと気の流れを導きます。ひとつあるいは複数のチャクラに気が集まっています。エネルギー自体が自然にどのチャクラへ向かうのかを決定するので、コントロールしようとしないでください。

^{ブロック}抑圧された感情 # 1 Blocked Emotions

まず、^{がんか}眼窩の内側、上角にあるポイントを中指でしっかりと押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。中指を眼窩の内側、下の角のポイントへと移動させ、押さえながら3回コンプリートブレスを行います。次に、頬の真ん中にあるポイントに指を移動し、押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。いかなる思考や感情も浮上してくるのをそのまま許しましょう。たとえば、その思考や感情が自分自身のものと思えなかったとしても。

頑固さ # 1 Stubbornness

次に、中指であごの真ん中にあるポイントをしっかりと押さえ、3回コンプリートブレスを行います。そのあと、のどのポイントに移動し、同じことを繰り返しますが、できるだけ深くしっかりと押さえてください。さらに、右胸の中ほどにあるポイントに進み、押さえながら3回コンプリートブレスを行います。

^{ブロック}抑圧された感情 # 2 Blocked Emotions

次に、鎖骨のポイント、骨のすぐ下のところに指を置き、骨の下にできるだけ深く指が入っていくように押さえ、そのまま3回コンプリートブレスを行います。指2本分肩の上端に向かって移動させ、同じ動作を繰り返します。次に、鎖骨が肩の骨に入り込んでいるポイントを押さえ、そのまま3回コンプリートブレスを行います。

頑固さ # 2 Stubbornness

次は、両脇のあたり、あばら骨の真ん中のポイントを上から順番に押していきます。一本一本の骨と骨の間のポイントを、ひとつずつしっかりとできるだけ深く押してください。ひとつひとつのポイントを押しながら、3回ずつコンプリートブレスを行います。クライアントに施術する場合は、相手のコンプリートブレスを数えます。

屈辱 Humiliation

おへそから指3本下の身体の真ん中のポイントをしっかり押しさえながら、3回コンプリートブレスを行います。次に、腰の真ん中と下部腹壁を結んで引いた斜め線のちょうど真ん中のポイントに移動し、3回コンプリートブレスを行います。同じ角度で（先ほどの斜め線に沿って）指を2本分下へ向かって移動させ、そこをしっかり押しさえながら、3回コンプリートブレスを行います。呼吸のパターンに変化があるかどうか注意してください。次に、腰の外側のポイントに移動します（このポイントは、先ほどのポイントからほんの少し上に位置しています）。できるだけ深く押しながら、3回コンプリートブレスを行います。最後は、お尻の脇、真ん中にあるポイントに移動し、しっかりと深く押しさえながら、3回コンプリートブレスを行います。

凝り固まった戦略# 1 Rigid Strategies

右膝の後ろ側、真ん中から少し内側にあるポイントを押さえます。できるだけ深く押しさえながら、3回コンプリートブレスを行います。次にそこから、指2本分下、膝の関節の中央にあるポイントに移動し、深く押しさえながら、3回コンプリートブレスを行います。左脚に移動し、膝から指4本分下、^{けいこつ}頸骨に接した筋肉の中央のポイントに移動し、押しさえながら3回コンプリートブレスを行います。次に先ほどのポイントから指3本分下、^{けいこつ}頸骨の真上にあるポイントに移動し、押しさえながら3回コンプリートブレスを行います。

凝り固まった戦略# 2 Rigid Strategies

右足の下肢の骨の下部末端と足関節が連結しているポイント（くるぶしのところ）を押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。次に、左足の小指の骨の付け根にあるポイントに移動し、そこを押さえながら3回コンプリートブレスを行います。

受け取る# 1 Receiving

頭頂の中央のポイントを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。次に、わずかに前方右に移動し、そのポイントを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。さらに指2本分左に移動し、そのポイントを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

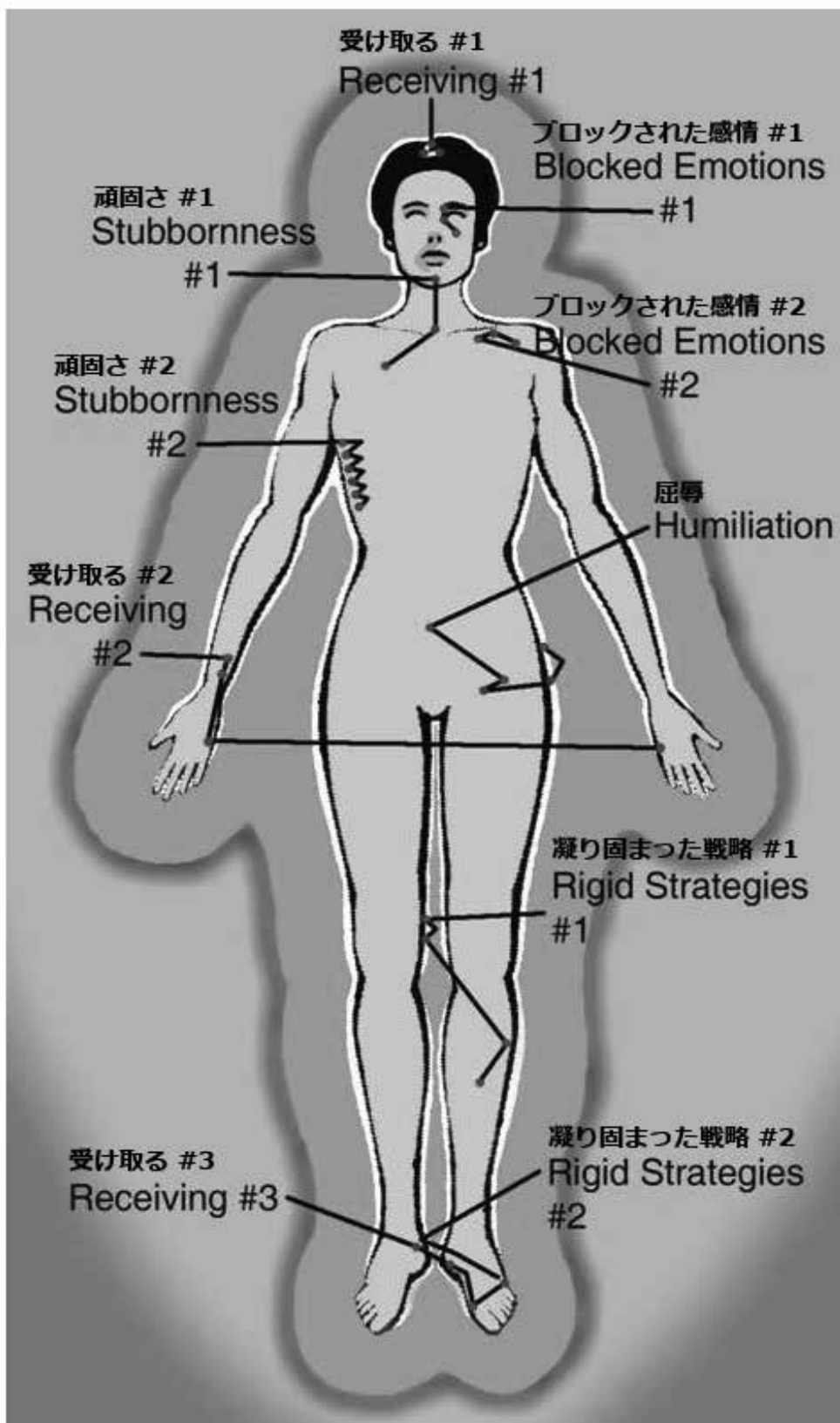
受け取る # 2 Receiving

右手首のちょうど脈拍が感じられる場所の少し上にあるポイントを押さえます。そのポイントを押さえて、3回コンプリートブレスを行います。次に脈拍が感じられるその場所にあるポイントに移動し、押さえながら3回コンプリートブレスを行います。次に右手小指の指関節の付け根、手のひらにあるポイントに移動します。そのポイントを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。最後に左の手のひらの同じポイントに移動し、そのポイントを押しながら、3回コンプリートブレスを行います。

受け取る # 3 Receiving

右足の下肢の骨の下部末端と足関節の骨が連結しているポイント（くるぶしのところ）を押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。左足かかとの骨、内側中央にあるポイントに移動し、そのポイントを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。左足の親指の付け根にあるポイントに移動し、そこを押さえながら、3回コンプリートブレスを行います。最後に、左足の小指の骨の付け根にあるポイントに移動し、そこを押さえながら3回コンプリートブレスを行います。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan



© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 39

第 39 週—エーテル体と肉体の間の気の流れの再構築

Rebuilding Chi Energy Flow between the Etheric Form and Physical Body

このレッスンのテーマ Theme
リハビリテーション
気の流れの修復に関する基本的な理解。

気の流れがブロックされて弱まるとエーテル体から不調が始まる

肉体に命を与えている生命エネルギー（気あるいはプラーナ）は、睡眠中や休養中に自然に補給されます。また、マンダラやマントラのテクニックを含む瞑想、プラーナヤマや片鼻呼吸などの意識的な呼吸を使ってエーテル体と肉体の気の流れを活気づけ、再構築することができます。気はハタヨガやクンダリーニヨガによっても回復されます。また、気の流れを一定の状態まで回復させ再構築するヒーリングテクニックもあります。

ほとんどの病気や不調は、葛藤のある思考や行動の結果、気の流れがブロックされ弱まることでエーテル体から始まります。ですから、気の流れが自然な状態に戻り回復すれば、慢性的な病気や不調が癒されバランスを取り戻せるというのは理にかなった考えです。

私たちの身体のエネルギーのほとんどは重力の影響に対処するために使われています。直立した状態は循環器系やリンパ系に常にストレスを与え、筋肉や骨格の構造は地球の自転や軌道を周回する動きに合わせて常に補正を余儀なくされています。エーテル体と肉体の間の自然な気の流れの他に、重力は、肺から取り入れた酸素分子とともに身体をめぐる気の流れに影響しています。

葛藤のある考えや行動が、エーテル体と肉体の間の自然な流れを停滞させたりブロックしたりすると、呼吸によって取り入れる気のみ頼るようになります。残念なことに、過度なストレス、恐怖、怒りなどを抱えていると呼吸は浅くなり、取り入れる気の量も減ってしまいます。この状態で十分な量の気を取り入れられるのはシータ波／デルタ波の睡眠サイクル

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

中か、瞑想や自己催眠のように自発的に前意識状態になったときだけです。

睡眠中は身体が横になるので、重力に逆らうためにエネルギーを消費する必要がありません。ですから、気の多くを使って葛藤やストレスを解放したり、食べ物、太陽やその他の物質から受けた放射線などの影響から回復したりできます。これは、深いレム睡眠中に最も効果的に起こります。ストレスのない状態で瞑想、プラーナヤマ、自己催眠を行うと、身体は、ボディ・マインド・スピリットの生命エネルギーのバランスを即座に取り戻し始めます。変性意識または前意識状態にないかぎり、もしくは精神と肉体のバランスがとれた状態である自己覚知にいたるまで、私たちはエーテル体と肉体を活性化させるために睡眠と休息が必要です。

夢の状態 Dream State

夢を見ているときに無数のストレスが解放されている

夢を見ている状態はとても複雑な前意識状態です。その状態では、脳波はアルファ波—シータ波—夢を見ているときのデルタ波へと変化し、起き得るいくつかの「意識と^{コンシャスネス}感覚意識^{アウェアネス}の筋書き」が展開されます。起きているときの感覚を使っている状態と違い、眠っている状態では脳の全体、つまりひとつ残らずすべての細胞が活動しています（さまざまな脳のスキニング技術を駆使して、科学はついにこのことを発見しました）。このような理由から睡眠は肉体の健康にとっても大切なのです。特定の種類のヨガや瞑想と同じように、睡眠は、脳全体が全面的に協力しあい、すべての部分が完全に機能しお互いにコミュニケーションがとれる唯一の時間です。

ほとんどの夢は、現在の未解決な問題をより創造的で制限のない潜在意識を通して解決しようとするものです。その中には解放しようとするすべての内的葛藤も含まれていますが、内的葛藤とペアになっている未解決の過去世の問題を特定のテクニックを使って意識的に解放している場合は、特に夢でこういったことが起こります。

また、前意識状態では、肉体を内側から修復するために、身体が深い眠りに落ちている間、アストラル体やコーザル体と入り交じった「感覚意識の目覚めている部分」が肉体を離れることを可能にします。前意識状態においてはまた、「意識」^{コンシャスネス}はより目覚めた状態にあるア

ストラル体やコーザル体と連携します。解決策や突破口となるアイデアの多くは、夢を見ているときにやってきます。特に有名なのは、 $E = MC^2$ （訳注 アインシュタインの特殊相対性理論の関係式）です。

無数のストレスもまた、夢を見ている状態で解放されます。私たちは、解放しつつあるストレスにまつわるイメージを自由連想して夢の中でドラマチックな筋書きをつくる傾向にあります。このようなストレスを解放しているときの夢は、ほとんど支離滅裂で誇大です。

記憶はエーテル体の深いところにある領域に保管される Memories

私たちの意識は、睡眠中に記憶をエーテル体の中に整理し保存します。記憶は人生のテーマや目的を完全に表現するために必要とされる能力と関連付けながら保存されます。もし、肉体とエーテル体間の自然な気の流れが制限されたりブロックされたりすると、記憶はエーテル体の深いところにある領域に保管されず、人生のある特定期間に起きた体験を思い出すのが難しくなります。これは、エーテル体に記憶が散らばってしまい、その記憶と関連した過去世と共にまとまった形でエーテル体に保存されないからです。

個人が長期間の深刻な放置や、肉体的、または精神的／感情的な虐待を受け続けると、その結果、人生のテーマや目的を達成するために必要な能力や才能を呼び覚ますことができなくなります。本人が放置された、あるいは虐待されたと思っているだけでも、同じ結果になります。このようなブロックの解放に最も効果的なテクニックは、瞑想中や入眠時に暗示をかける方法です。

気の流れの再構築を行う Rebuilding Chi Flows

一部の気のラインが自由に流れ始めると、肉体とエーテル体間の他の重要なポイントのブロックも外れやすくなります。テクニックは以下の通りです。

自分へのワーク Working with Yourself

松果体から脳下垂体、胸腺までの気の流れを開く

上半身——呼吸パターンの数がいつもの半分くらいになるように、吸う息と吐く息のスピードを落としながら呼吸に意識を集中します。大抵の人は、1分におよそ12回から15回くらい呼吸するので、このワークのときは、平均して1分に6回から8回くらいというこ

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

とになります。

両手を同時に動かしながら行ってください。

- ①頭頂から2インチ（約5センチ）ほど離れたところで、左手をおでこの生え際に向けて置きます。同じようにゆっくりとした呼吸パターンを続けて、息を吸いながらゆっくりと左手を頭蓋骨の基底部（頭と首が接しているポイント）まで動かしていきます。息を吐きながらゆっくりと左手を動かし、最初のポジションに戻します。手を通じて気の流れが身体の中に入って行くのを思い描きます。見えたり感じたりできるようになればなるほど、気の流れに影響を与えることができます。
- ②太陽神経叢のチャクラの場所、皮膚から2インチ（約5センチ）ほど離れたところに右手を置きます。同じようにゆっくりとした呼吸パターンを続けて、息を吸いながらゆっくりと右手を太陽神経叢チャクラからハートチャクラまで動かしていきます。息を吐きながらゆっくりと右手を動かし、最初のポジションに戻します。手を通じて気の流れが身体の中に入って行くのを思い描きます。見えたり感じたりできるようになればなるほど、気の流れに影響を与えることができます。

10分間繰り返します。

このワークは、松果体から脳下垂体、脾臓から胸腺の気の流れを開きます。ほとんどの人が主にこの部分の気の流れが遮られています。ここが開くと、初めはめまいを感じたり、あるいはクスクス笑いたくなるような気分になり、それからエネルギーが充満していきます。眠る直前に行うのは避けてください。眠りを妨げることになります。

太陽神経叢から脾臓の気の流れを開く

下半身——前記で説明した同じ呼吸パターンと手の動きを使って、以下のことを行ってください。

両手を同時に動かしながら行ってください。

- ①脾臓のチャクラ（おへその左、やや下）の、皮膚から2インチ（約5センチ）ほど離れたところに左手を置きます。同じようにゆっくりとした呼吸パターンを続けて、息を吸いな

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

がらゆつくりと左手を恥骨のところまで動かしていきます。息を吐きながらゆつくりと左手を動かし、最初のポジションに戻します。手を通じて気の流れが身体の中に入って行くのを思い描きます。見えたり感じたりできるようになればなるほど、気の流れに影響を与えることができます。

- ②おへそのすぐ下にあるポイントのところ、皮膚から2インチ（約5センチ）ほど離れたところに右手を置きます。同じようにゆつくりとした呼吸パターンを続けて、息を吸いながらゆつくりと太陽神経叢チャクラまで右手を動かしていきます。息を吐きながらゆつくりと右手を動かし、最初のポジションに戻します。手を通じて気の流れが身体の中に入って行くのを思い描きます。見えたり感じたりできるようになればなるほど、気の流れに影響を与えることができます。

両方のエクササイズでは、手のひらを必ず、気の流れのポイントと経路に向けてください。エネルギーの量が非常に多くなります。

クライアントへのワーク Working with Clients

前記で説明したエクササイズは、以下の2点を除いて、クライアントにもまったく同じように使うことができます。

- それぞれのエクササイズの②の部分は、クライアント自身が手を動かします。つまり、上半身のエクササイズでは^{すいぞう}膵臓から胸腺（太陽神経叢チャクラからハートチャクラ）の部分、下半身のエクササイズでは脾臓から膵臓（おへそのすぐ下から太陽神経叢チャクラ）の部分です。
- あなたはクライアントの呼吸パターンに自分の呼吸を合わせ、クライアントの動きに自分の動きを合わせます。

気ストレス軽減 Reducing Chi Stress

一貫性のない思考によって気が増減する

感情に影響されていないとき、気は思考によって導かれます。一貫性のない思考は収縮と拡大を繰り返し引き起こし、それによって気量は十分になったり不足したりします。バランスのとれた生活を送るためには、自分の思考を統率できることが非常に大切です。また、

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

最も必要なときに、必要な気の量を保持していただけることも大切です。

私たちがどのように人生を生きるかが、地球上での経験を可能にしている7つのボディ間の気の交流にとって重要です。一度ブロックや制限を取り除いたら、オープンな気の流れを保つためのいくつかの重要な事柄があります。

- 遺伝的な要素に適合した新鮮な自然食品
- 定期的な運動——^{エアロビクス}有酸素運動と^{アナエアロビクス}筋肉強化運動
- 身体に適切な水分量を維持する
- ストレスを軽減する活動——瞑想、ヨガなど
- 体質に合わせた十分な睡眠時間
- 個人的成長——より意識的な人生を生き、精神的にも感情的にも成長する

以前にも述べた通り、意識のある状態では、肉体的感覚が使う脳の場所や量を決めています。これは唯一、私たちのダイアードの感覚意識が人格／自我の期待を指令だと受け止めているからです。ダイアードがトライアードに従属し、人格／自我を通して世界と関わっているためにこのようなことが起きるのです。ダイアードは感覚からの情報を体系化し、感覚を土台とした現実における、一貫して変化しない期待に見合うように優先順位をつけています。ほとんどの気のストレスは、脳が私たちの期待に見合うようにその機能を特殊化して働かせようとするところから起こります。

最もふさわしい時間を選んで、数分間、不思議の国のアリスのような世界を思い描きながら、感覚から期待を減らしましょう。遊び心を持って行ってください。イマジネーションがあなたの感覚意識をずっと昔に忘れてしまった場所へと連れて行くのにまかせるのです。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 40

第 40 週—内的葛藤を手放すためのヒーリングテクニック

Healing Techniques for Inner Conflict Release

このレッスンのテーマ Theme

今世のパターンに関連する内的葛藤を手放すための
ヒーリングテクニックの基礎を理解する。

自分を簡単に慰められる「自己否定」は中毒になりやすい

ほとんどの内的葛藤はすべて、学習した^{レスポンス}反応の結果です。個人がその転生の環境や状況に同化、適応しはじめたとき、今までに学習した反応が表面化します。人間に宿っている間の魂の表現形態のうち、過去世の記憶に関連した部分とソウルグループに関係している部分を総称して「人格」と呼んでいます。^{パーソナリティ}人格、つまり私たちの人間意識は、この地球次元の時空の^{リアリティ}現実のみに関連した「拡張した記憶と発達した能力」です。同じ魂が地球とは別の世界に転生したときには、地球の転生を過ごすのに役立ってくれた記憶や能力は、ほとんど、あるいはまったく価値がなくなってしまうのです。魂は探検したそれぞれの世界の人格を自身の一側面として備えています。

人間意識には人格とともに、どのような不安定さや弱さも克服しなければならないと感じる側面が存在し、それを私たちは「^{エゴ}自我」と呼んでいます。自我は内的葛藤に打ち勝とうとして働きます。特に過去世からの未解決の課題とペアとなった葛藤に対してです。ただ残念なことに私たちのほとんどは、肉体の欲望や不安定な精神によって動かされている側面を自我として体験するのです。そのため、自我は内的葛藤に打ち勝つことも、未解決な過去世の課題を解決することもできません。自我が試みれば試みるほど、敗北は重なっていきます。この「打ちのめされた状態」において、自我は身体感覚と感情のエネルギーを使ってその失敗をマインドの残りの部分から覆い隠そうとします。そのために自我は内的葛藤を人生の実践的ガイドとして使い始め、こうして魂意識の導きは失われていきます。

これは、フロイトが提唱した精神の構造モデルである、「イド、エゴ、スーパーエゴ」

という三部に分かれた「精神装置」という非常に複雑なテーマを、非常に簡単に説明したものです。この3つの「構造」の活動と相互作用が^{メンタル}精神生活を定義します。

自我が動かしている「内なる葛藤」のほとんどが、5歳以前に発達します。これは普通、人間関係の葛藤について論理的に考えられるようになる前の時期です。

以下が、最も一般的な「自我が動かす内的葛藤」です。

- 「他者を愛すること」 対 「自分を愛すること」
- 「独立し自由になること」 対 「^{コミット}約束を守り責任をとること」
- 「従順で分別があること」 対 「衝動的で自発的であること」
- 「変化を求めること」 対 「安定、一貫性を求めること」
- 「現実的であること」 対 「高い理想を目指すこと」
- 「正直であること」 対 「安全であること」

自分で取り組むワーク Self Work

私たちは「霊的な存在が人間体験をしている」ことに気づく

深い内的葛藤がもたらすものは、低い自尊心／自己価値です。そして否定的な自己イメージは、外部からの助けがない限り、克服するのは非常に困難なのです。理由はいたって簡単です。自分自身を信頼していないとき、自己の葛藤に和解をもたらすのは不可能だからです。低い自尊心と自己不信が手を組むと、私たちは内なる葛藤のいくつかの層をぐるぐる堂々巡りすることになり、まったく葛藤を解放することができません。

でもあなたがひとりで葛藤に取り組もうとするとき、あるいはクライアント自身が自分で取り組むワークを希望したときに、役に立つシステムがあります。このシステムの各段階はとても簡単でかつ実用的です。

第1ステップ／自分に対して肯定的になる

まずあなた、あるいはクライアントが知っておくべき最重要の点があります。それは、**あなた、あるいは彼らにはまったく欠けたところはなく、ただ魂意識から気がそれているだけである**ということです。

自己覚知を達成するまでは、私たちはみな「正しくある必要性」を持っています。正しいこ

とは、愛される能力の証明になるからです。私たちが正しいことをしたり、正しいマナーを守ったりすれば、ご褒美をもらえます。私たちが「正しい」とき、身体的、精神的、感情的そして社会的にも、自分の存在や価値を認めてもらえる言葉や反応（訳注 ストロークには「なでる」の意味があります）をもらえます。この体験は、自己の内外ともに満足感をもたらします。自分自身に対して肯定的になれるし、他者からも受け入れてもらえるからです。

ただし、この内と外の承認には、暗い側面があります。私たちは間違っただけをしたり、他者の期待に添えなかったときに、罰という形で^{ネガティブストローク}否定的な反応をより多く体験するので、自分自身にも否定的な反応を与えることを学習してしまうのです。否定的でも^{ストローク}反応には違いありません。

私たちは反応を受け取ることで安心します。それがたとえ否定的なものであってもです。私たちは皆、正しくありたいのです。否定的な反応を体験するときさえ、私たちは「自分がどんなに間違っているのか」ということに対して、正しくいられるのです。

このように自分を否定すると最も簡単に自分を慰められるので、「自己否定」は非常に中毒になりやすいのです。努力はほとんどいりませんし、自己憐憫という感情を通して、エネルギーを蓄えることができます。

ステップ2に進むためには、自己否定と否定的な行動を使った否定的な反応をやめることが重要です。この否定的な構造に、何があっても決して参加してはいけません。この構造には、「～よりもえらい」や「～よりも劣っている」といったジャッジも含まれます。

第2ステップ／自分は人間という形態に宿った魂だと認める

内的葛藤は知性が管理したり、自我がコントロールできるものではありません。あなたの内的葛藤の生質を発見しようとしないでください。単なる内的葛藤の目録は重要ではありません。

人はすべて人生体験のある部分を、自己不信や低い自尊心に費やしています。人によってはある時期、「魂の暗い夜」と呼ばれるような強烈な体験となる場合もあります。「魂の暗い夜」は数時間から数年の間続くことがあります。また、強烈さを少しも体験せずに、さっさ

と通りすぎる場合もあります。

内的葛藤を手放すには、自分は人間という形態に宿った魂であり、偏見のない観察点から知覚の境界線を探検している存在であると認めることが、必要不可欠になります。これが認められると、恥や罪悪感といった「狂気」が、「私たちは霊的な存在が人間体験をしているのだ」という叡智^{ノウイング}の前に解放されていきます。人間が霊的存在になろうとしているわけではないのです。自分が完璧なのか、欠陥があるのかを観察するのではありません。一人ひとりの独自性^{ユニークさ}こそ観察されるべきものです。

第3ステップ／神聖なる意思が活性化する

私たちが内的葛藤の否定的な側面を魂意識に引き渡すと、魂意識は自己憐憫の収縮した状態からではなく、純真無垢な子供のような拡大した状態から思考を選択しはじめます。こうして私たちの「神聖なる意思」が活性化します。選びとったほうの思考が、私たちの行動を決めるのです。

第4ステップ／不平不満をやめる

どのような不平不満もすべてやめてください。何か引き起こした結果や影響が気にいらなければ、静かにそれを変えてください。自分自身で変えることができなければ、他の人に助けを求めましょう。また、他者の努力を決してないがしろにしないでください。彼らの行動をあなたがサポートできないのなら、ただ行動に参加しないことです。

第5ステップ／あなたの能力や才能を提供する

あなたより恵まれていない人のために、あなたの能力や才能を「資源」として提供しましょう。そしてあなたの奉仕に対して、決して見返りを求めないでください。

ただ、奉仕活動に携わるのは、あなたが自分自身や他者に対しての義務を果たしてからにしてください。義務には、休養をとることも含まれます。人生のストレスから、自分自身を解放する充電の時間は必要です。

第6ステップ／感謝して生きる

人生のすべてに感謝しながら生きましょう。あなたの人生のすべての断片^{ピース}が、どう組み合

わされてまとまっていくのかを計算しようとしないでください。その叡智は、あなたが肉体を脱ぎ捨てる直前の瞬間に手に入ります。

瞬間、瞬間、あなたはあなた自身なのです。なぜなら、それがその瞬間のあなただからです。もしあなたが純真無垢であるなら、つまり内的葛藤から自由であるなら、あなたは一貫した形で自分自身を表現していきます。そして自分には、人生にこのように接してほしいと思うのと同じ態度で、人生に対して接していくでしょう。

内的葛藤を癒す Healing Inner Conflicts

内的葛藤を解放する別の方法もあります。次のテクニックは、施術者が、相対的に内的葛藤から自由でなければなりません。クライアントが葛藤を解放するとき、対応する施術者自身の葛藤が強調されないようにするためです。

《推奨される手順／肉体とエーテル体を喜びと完璧さで満たす》

内なる葛藤のヒーリング Inner Conflict Healing

以下に述べる葛藤を癒す方法はあなた自身にも、クライアントにも使うことができます。施術者自身が、自分で少なくとも3回は体験してから、クライアントに行うのがよいでしょう。

1回の手順は足かけ3週間かかります。セッションとセッションの間は1週間あけます。セッションでバランスがとれた葛藤に関わる感情体や^{メンタル}精神体のエネルギーの解放が起きる最適なタイミングが1週間です。

施術者は自身がこの過程を体験したあとは、統合するための時間をとってください。このプロセスでは、通常最後（3回目）の葛藤のヒーリングセッションの後、1か月ほどを要します。クライアントにこのプロセスを行っている間は、施術者自身は決して自分のためにこの方法を使わないでください。

この手順そのものは何度行ってもかまいませんが、個人次第になります。これを行うとエーテル体と肉体が拡大し、避けられない変化が起きます。何度行うかは、このような変化をどれくらいその人が受容できるかによります。他の素早い解放を引き起こす方法と同様、クライアントが依存してきたり、手順そのものに頼りすぎたりすることも起こります。

このプロセスを違う時期に3回行くと、つまり合計9週間ワークし、それぞれの回のあとに

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

1か月の統合する猶予期間を持つと、クライアントは過程における自分の役割に気づきます。その後は、クライアントの意識が開いてくにしたがって、時々サポートするだけで十分になるでしょう。

このようなタイプのヒーリングを実施したあとはすぐに、態度やボディランゲージ、感覚に変化が起きることを知っておくことが重要です。これはエーテル体と肉体の双方で急激なエネルギーの拡大が起きるからです。ほとんどの人は自分が手に負えないような変化が起きることを好みません。そのため、一人ひとりに、いつでも自分がコントロールできること、そして、古い思考や行動パターンに意識を向けるだけで、どのような変化も止められることを理解してもらうことが大切です。

葛藤を手放すことで起きる拡大現象の副産物として、以下のようなことが起こります。

身体面 Physically

- 筋肉痛や結合組織の痛み。深いところにある毒素と乳酸が排出されて血行がよくなるために起こる。
- 代謝の変化。分泌腺システムが平常化するため、通常、代謝機能は亢進する。
- 体重過多の変化。身体の感覚意識が「不確実さ」に反応しなくなるために起きる。
- 感覚から入ってくる情報の拡大。感覚に対する期待を解放したため。特に、味覚と嗅覚が鋭くなる。
- 現在嗜好している食べ物が変化する。嗅覚が拡大するため。
- 思考エネルギーが一連の本能的なプロセスを誘発しはじめる。^{メンタル}精神エネルギーを細分化する知性が減少するため。

精神面 Mentally

- 前意識での活動領域が深まり、明晰夢を見るなど。手放した葛藤にともなう恐怖もまた解放されるため。
- 意識が覚めている感覚と鋭敏さが増す。使用できるエネルギーの量が増えるため。
- 本能／直感プロセスとしての思考の統合。身体の感覚意識と知性が協力しあい、直接相互のコミュニケーションが起きるため。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

- 時間感覚の突然のゆらぎ。パターン化された期待を手放したことで、時間がはっきりと加速したり、減速したりするため。

感情面 Emotionally

- 自分や他者の背後にある物^{バックストーリー}語に対して、執着がなくなり中心にいられるようになる。個人の神話を通して、葛藤のエネルギーを徐々に手放す必要がないということに気づくために起きる。
- 感情を知覚する^{せいひつ}静謐な中心にしながら、感情と、本能／直感プロセスを関連づける能力が得られる。ダイアードの感覚意識が、直接、精神体や感情体と情報の交換を行うようになるため。
- 共感能力をとおして、肉体や精神体のエネルギーを読み取ることができるようになる。自身の肉体、感情体、精神体^{バウンダリー}の境界線に、明確に気づくようになるため。

以上の情報はクライアントにワークするとき、大変重要です。前記のような変化は急速に起きるものもあり、急激な変化が起きると、クライアントは自分が自分でないような感覚に襲われます。クライアントが以前の状態からこのように拡大したときには、身体面、感情面、精神面に対してのサポートを必ず追加してください。

施術者本人がこういった状態を体験しているときは、自分ひとりでは対処しようとしなくてください。同じ情報を分かち合っている友人や仲間、メンター（師）のネットワークを作り、助けを求めましょう。

ヒーリングの手順 The Healing Procedure 解放したい「3つの葛藤」を決める

この手順は初めてのクライアントには決して施さないでください。ヒーリングセッションの後におそらく起きるであろう急激な変化にどのように相手が対処できるのかを見極めるために面談を行います。

それから、クライアントが葛藤を手放すことを邪魔する人物を本人が特定できるように手助けしてください。このヒーリングを行う3週間の間、できればクライアントがその人物とあまり交流しない状態が望ましいです。邪魔する人物との交流が避けられない場合には、その人物のエネルギーに対処するために精神的、感情的な戦略を作るのを手伝いましょう。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

初めての面談では、クライアントが葛藤を手放す過程が進む間、あなたがどのようなサポートを提供するのか、明確な戦略を開発することが大切です。それと同時に、クライアントに、解放したい3つの葛藤を特定してもらうことも重要なポイントです。

この**3つの葛藤を特定することが解放の過程をスタートさせるのです**。3回のセッションでは、各3つずつ、毎回違う内的葛藤を扱います。セッションとセッションの間の1週間で、手放したい3つの葛藤を決めてもらいましょう。誰に対して行うとしても、生命がどのような秩序のもとに存在しているのかというあなたの^{ノウイング}叡智をすべて使い、クライアントが求めることを実現できるように手助けをしましょう。

クライアントが停滞しているなら、「人生であなたは何が欲しいのですか」という質問をして、クライアントがこの過程で何かを発見できるように助けてください。クライアントが答えたならば、今それを手にいれるのを止めているものは何かをたずねます。この質問でクライアントの葛藤が明らかになります。

ヒーリングの準備に必要なもの

1. 小さなお皿と灰を混ぜる道具
2. 儀式用タオル
3. 儀式用のボウル
4. ラベンダーのエッセンシャルオイル
5. コーンあるいはスティック状のお香を燃やした灰。繊維などの混じりけのないもの。
6. 儀式用の本結びに結んで輪にした紐（本結びのやり方は次ページ参照）。左手首に簡単にはめられるもの（ヒーリングを保持するために、クライアントの左腕にはめて帰ってもらう）。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

ヒーリングの儀式に必要なもの

1. 3枚のキレイな自然素材の布——頭先从手足先まで身体を完全に覆えるものが2枚（幅1.5メートル以上、長さが2.5メートル以上）。1枚は身体の下に敷き、1枚は上から覆う。そして、クラウンからベースチャクラまでをカバーできる長さのものを1枚。
2. アンタカラナシンボル男性性及び女性性、各4枚
（セクション2／巻末資料2-161Pのカラーコピー4枚）

本結びのやり方

①



④



②



⑤



③



結び目がきつりとした
正方形に見えるように。

ヒーリングを行う場所の準備 Preparing the Area

ヒーリングに使う場所のバランスのとれていないエネルギーを意図的に浄化します。

どのような浄化法を使ってもかまいません。その場所を調和とバランスのとれたヒーリング体験にふさわしい安定した場所にします。また場所を準備するときには中心意識を所有します。つまり、気配りをしつつ、なめらかに行動しましょう。

布の準備 The Cloths

1枚目の下に敷く^{ベースクロス}布（2.5メートル以上）は、縦割り半分に折りたたんで中心線を作ります。この布は直接、床や大地に敷くものです。クライアントの背中の下に使用するメインの布は、短いほうから丸めて筒状にしておきます。3枚目のオヴァムクロス（2.5メートル以上）はまず縦割り半分に折り、そのあと正方形になるように折りたたみます。この布は、クライアントの身体を完全に覆うものです。ヒーリングに使用する布を準備するときも中心の意識を保っておきます。

床か大地の下に敷く布を広げ、その中央の線上に、あなた、またはクライアントの基本のチャクラに対応するようにアンタカラナのシンボルをならべます。

女性性のアンタカラナのシンボルをクラウンチャクラの場所に、次に男性性のアンタカラナのシンボルを第三の目のチャクラの場所に対応するように置きます。続いて女性性のシンボルを意志のセンターであるのどのチャクラの場所に置きます。次は男性性のシンボルをハートチャクラの場所に、次の太陽神経叢の場所には男性性と女性性のふたつのシンボルを並べて置きます。女性性はクライアントの身体の右側に、男性性のシンボルが身体の左側にくるようにしてください。脾臓のチャクラの場所には男性性のシンボル、最後のベースチャクラにあたる場所に女性性のシンボルを置きます。

短めの布を、シンボルの上を覆うように頭のほうから足に向かって広げます。この布は、クライアントの身体がカタルシス（感情・精神エネルギーの浄化／解放）を体験するとき、置いた場所からシンボルがずれないようにするためのものです。ですからこの布は、クラウンからベースチャクラまでをカバーできる長さのものを用意してください。シンボルが動かなければそれでかまいません。

アンタカラナのシンボルは、正確にチャクラの場所に接していなくても大丈夫です。中央

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

の線に沿ってシンボルを配置したあとは、非常に背の高い人や低い人のときだけ調節すればよいのです。クライアントのチャクラの位置を計測する必要はありません。

クライアントによっては、内的葛藤を解放するとき、身体が激しい浄化作用を体験するため、施術者の中には、アンタカラナのシンボルを敷き布に^{ベースクロス}あらかじめ描いたものを使用している人もいます。それでもかまわないのですが、平均より大きな人、小さな人には向きません。

布にシンボルを描く場合には女性性、男性性それぞれのシンボルの色を変えないでください。アンタカラナはこの色が非常に強力なのです。対応するチャクラの色に塗らないようにしましょう。

ボウル Bowl

ボウルの半分まで冷たい水を満たします。

灰 Ash

皿の上で、同量の3つの山に分けておきます。

ヒーラー自身の準備／癒しという奉仕のために Personal Preparation

冷たい水で半分ほど満たしたボウルをあなたの目の前に置きます。あなたとボウルの間にタオルを置いてください。タオルの右側にラベンダーオイルの瓶を、タオルの左側には3つに分けた灰をのせたお皿と混ぜる道具を置きます。あなたの左の膝の横に結んだ紐を置いておきます。

しばらくゆっくり座り、その日の緊張がとれるまで呼吸に意識を向けます。落ち着いたら少し時間をとり、バランスがとれ調和したヒーリングの「媒体としての自分」を認めます。そのヒーリングはあなたを通して、創造の喜びを世界へ、あるいは形態が存在するかのように見える流動的な時間の中へと注ぎ込みます。

両手をボウルの上に並べてかざし、声に出して以下のように唱えます。

「この水は、生命が形を形成するときの媒体である。地球のスピリットとロゴスの結合した表現である聖霊の権威により、私はこの水を祝福し、水のエネルギーを祝福と癒しのために

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

聖別する。我あり」

次に中心意識を保ちながら、自分がヒーリングの媒体であり、使いであることを宣言します。まず両手をボウルに入れ、水をすくって軽く顔にかけます。穏やかに以下のように宣言してください。

「癒しという奉仕において、私は中心意識であり、創造の純粋な喜びを体現する者である。我あり」

顔を拭かずに一拍休み、もう一度両手をボウルに入れて、両手に交互に水をかけます。穏やかな声で以下のように唱えます。

「私は、喜びのヒーリングパワーが、バランスと調和のエネルギーとして、私を通してこの世界に降り注ぐことを許可する。我あり」

左手をボウルに入れ、少量の水を手ですくって、3つに分けた灰それぞれに一滴ずつたらしながら、それぞれの灰が糊状になるのに必要な分の水を加えていきます（この後、水を加えた灰にラベンダーオイルを一滴加えて練っていきますので、その分を考慮してください）。

タオルを開いて、まず手を拭き、それから顔をたたくように拭いてください。こすらないようにしましょう。タオルをたたみ、もとの場所に戻します。ラベンダーオイルの瓶をあけて、オイルを一滴ずつ灰にたらしませます。混ぜるものか左手の中指を使い、3つの灰の山が糊状になるまで、水とオイルと灰を混ぜます（この3つの糊状の灰は、儀式の中でそれぞれ第三の目、のど、ハートチャクラを封印するために使います）。

左手の中指の先で最初の灰の山に触れ、その指を額の第三の目のチャクラに持っていきましょう。チャクラの上に灰を使って、正十字形（縦横2本の線が同じ長さの十字のシンボル）を描きます。皿の隣に手を戻し、穏やかに唱えます。

「私は神聖なる明晰さである。我あり」

中指を次の山につけ、のどのチャクラに持っていき、皮膚の上に同様に灰で正十字形を描きます。皿の隣に手を戻し穏やかに唱えます。

「私は神聖なる意思である。我あり」

中指を次の山につけ、胸腺に持っていき、ハートチャクラの皮膚の上に同様に灰で正十字形を描きます。皿の隣に手を戻し、穏やかに唱えます。

「私は神聖なる慈悲である。我あり」

背骨を上へ引き上げるようにして座ります。手は足の付け根に上を向けて置きましょう。呼吸に意識を向けて、3回コンプリートブレスを行います。そして穏やかに以下のように指令します。

「私は指令する。私よりも以前に存在したものすべて、そして私の後に存在するものすべてのヒーリングのパワーが、私をとおし、○○○○○（クライアントの名前）のために注がれますように。そして、^{ホーリースピリット}聖霊の力がどのような状況においても、常にバランスと調和を取り戻してくれますように」

クライアントの準備／自然素材のゆったりとした衣服を着用する Client Preparation

面談のとき、すでにヒーリングの手順をクライアントに説明をしておきます。クライアントには必ず自然素材のゆったりとした快適な衣服を身につけてもらいましょう。金属、鉱物、皮革製品は、すべて身体から取りはずすように指示します。

アンタカラナのシンボルと中心のチャクラが合うように、シンボルを覆った布の上にクライアントを寝かせます。次にオヴァムクロスを広げ、クライアントの頭の先から足先まで、身体全体を完全に覆います。胴体、身体先端などが布から出ないようにしてください。

クライアント自身の右側、身体の中央あたりにひざまずいて座ります。あなたの右ひざは、クライアントのウエスト線上に置いてください。ヒーラーの身体とクライアントの身体が触れないようにします。

ヒーラーは、「葛藤を手放すこと^{ボディ}で肉体、^{マインド}精神、^{スピリット}霊が全体性を取り戻し、健やかである」という状態を思い描きます（またはその思考を保持します）。そしてクライアントのクラウンチャクラから太陽神経叢までを「パッシング」の方法を使ってヒーリングします。このとき両手を使って身体から3センチぐらい離れたところをパッシングします。手から純粋なヒーリングの^{ジョイ}喜びを放射しながら、そのエネルギーがクライアントの身体のすべての細胞に届くよう

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

にゆっくりと動かしましょう。肉体を通り、エーテル体まで広がっていくように、喜びのエネルギーに指令を出します。

太陽神経層のチャクラの上で手を止めて、3回コンプリートブレスを行います。

今度は、両手を両足先へ移動させます。両足の土踏まずの内側にあるルートチャクラから始めて太陽神経叢チャクラのところまで、足の皮膚から3センチぐらい離れたところをパッシングします。両手を太陽神経叢の上にかざしたまま、3回コンプリートブレスをしてください。

太陽神経叢の上に両手をかざしたまま、どの葛藤を手放したいのかクライアントに聞きます。そして、その葛藤がなければ人生がどのようなようになるのか想像してもらいましょう。同時に、あなた自身もその葛藤にあなたの想像力（思考）を集中します。

その後、次のようにクライアントに伝えます。

「その葛藤があなた自身の環境を制限している状態がどのようなものかを感じてみてください。葛藤を起こしている相手の顔も想像してみましょう。そして、あなたが葛藤にむなしく取り組んだときに感じた不完全さを感じてください」

あなたがクライアントと同調すると、つまり共感によってクライアントとつながると、あなたの慈悲／共感が、相手の内的葛藤の中から引き出します。

聖霊に対し、クライアントの葛藤を身体から引き出して外に押し出すように指令します。葛藤が浮上し体外に出て、クライアントの太陽神経叢とあなたの手の間の空間を満たしていくのを感じてください。

そうになったら、ボールを弾ませるようにゆっくりと葛藤のエネルギーを弾ませます。葛藤のエネルギーがさらに出てくるにつれて、徐々に手を広げながらさらに大きく弾ませます。

ある時点で葛藤のエネルギーはクライアントの身体から外に向かって飛び出し、逃げ出そうとします。最後に大きく弾ませてバランスと調和のもとへと送り返してください。

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

聖霊に、クライアントの肉体とエーテル体を歓びと全体性、完璧さとバランスで満たすように指示します。葛藤が調和と純粋な意図のもとへと解放されたあとの空間が満たされているのです。

呼吸に意識を向けて3回コンプリートブレスを行います。もう一度クラウンチャクラから太陽神経叢に向かい、エネルギーを降ろします。クライアントが選んだ3つの葛藤がすべて解放されるまでこの手順を行います。

3つの葛藤の解放が終わったあと、クライアントに身体を起こしてもらい、上半身を前後にゆらしてもらいます。身体をゆらしながら何か心に浮かんできたら、口に出すように指示してください。クライアントはどんな音や声を出してもかまいませんし、腕や手が動くようでしたら、自由にまかせます。身体を前後にゆらし続けてもらいながら、葛藤のエネルギーが去ったあとの空洞を望むもので満たすよう言ってください。たとえば、愛、歓び、成功、富、健康などです。これはクライアントの^{スペース}空間にさらに聖霊を招きいれます。

自分に対してこの過程を行うなら、ガイドかアバターを援助者として、まったく同じ^{プロセス}過程をイメージして行います。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 41

第 41 週—引き寄せの法則

Universal Law of Attraction

このレッスンのテーマ Theme

これまでのセクション 4 の復習、およびエーテルエネルギーがヒーリングのプロセスにどのように直接結びついているかについての一般的な理解。

宇宙には正邪も善悪もなく「引き寄せの法則」が支配しているだけ

ほとんどの人は、五感で感じられる通常範囲を超えたエネルギーが存在することを知らず、知覚していないことに満足して生活しています。その状態では、上はいつでも上であり、下はいつでも下です。夜はいつでも夜で、左はいつでも左です。おそらく外側の輪郭がはっきりとした次元の現実のみに焦点をしばっているほうが、心は穏やかだし安心するからでしょう。叡智の道の教えにおいて、それは次元現実のすべてのわずか3分の1にしか過ぎないのですが。

この世界では稀な、明確に理解できる世界を超えた場所を探求しようとする人々にとっては、エネルギーは単にエネルギーです。良いエネルギー、悪いエネルギーというものはありません。正邪も善悪もなく、ただ宇宙における普遍的な「引き寄せの法則— Universal Law of Attraction」に従って振る舞っているだけです。

ユニバーサルマインドが創造の中で自己表現をするために使う媒体はエーテルプラズマエネルギーと呼ばれます。ほとんどの神秘学の教えでは単にエーテルエネルギーと言われ、科学者たちは同じものを、素粒子を構成するエネルギーのひもと^{ストリング}呼んでいます。

どのように名づけられようと、エーテルエネルギーこそ創造における唯一の遍在する根本的なエネルギーであり、すべての土台を形成するものです。ただ科学者が観察できないがゆえに、「暗黒物質」としばしば呼ばれます。というのも、科学者が自らに課した制限された能力の範囲で、エーテルエネルギーは観察されるために必要な電磁波を十分に放射も反射もしないからです。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

イニシエートにとっては、**エーテルエネルギーはすべての物質の基本であり、情報を運ぶ役割を果たす意識の媒体です。**それはまた物質にとっての変容するための道具であると同時に、思考のエネルギーを直接、この次元の物質として現実化するために作用する力そのものです。

^{ノウイング}叡智の道の教えにおいて魂意識に完全に目覚めた人は、エーテルエネルギーに直接指令をくだすことができます。肉体に宿る完全に目覚めた魂意識がくだす指令は、エーテルエネルギーに対して完璧な権威をもっています。エーテルエネルギーは、魂のダイナミックな意思を一切のためらいも制限もなく現実化しなければなりません。

前述したように、エーテルエネルギーは例外なく同じ「引き寄せの法則」に従います。「**似たもの同士が引き寄せあう**」というこの法則は、**すべてのエネルギーと意識におけるすべてのレベルの表現をも支配しています。**

エーテルエネルギーは水と同じように振る舞うという考え方は的を射ています。エーテルエネルギーは周りの環境が直接与える影響により違う形態をとります。水も同様に、固体、液体、そして気体というように変化します。ただエーテルプラズマエネルギーあるいはエーテルエネルギーと水との違いは、前者は根本のエネルギーのみでできていますが、水は異種の原子が結合してできている複合したエネルギーということです。原子とは、あるハーモニクスエネルギー周波数内において、「ひも」が集まっている状態にすぎません。

「原始の物質」エーテルエネルギー、プラーナ、気は自己免疫力（治癒力）を活性化させる

エーテルエネルギーがヒーラーによって使われるとき、それはほとんど液体と同じ振る舞いをします。これはエネルギーをコントロールする人、つまりヒーラーがエネルギーの根本にある潜在的な力を活性化できることを意味します。活性化したエーテルエネルギーは存在する物質形態（主体は人間の肉体）の^{ヴォイド}空洞を満たし、調和とバランスを取り戻すのです。

エーテルエネルギー（プラーナ）がどのように振る舞うのか、その性質を知っていれば、ヒーラーは意思を使ってエネルギーに指示を与え、急激な変化をもたらすことができます。ヒーラーがクライアントの全体性と健やかさを視覚化すると、意思によって指令を受けた気のエ

エネルギーはクライアントの自然な自己免疫力（治癒力）を活性化するのです。

さらにヒーラーはクライアントの肉体に指令を出して、リンパ球細胞を体内に放出させることができます。リンパ球はすぐに肉体のダメージのある場所を探し出します。これらのT細胞は、慢性的な病気によってダメージを受けた内臓、柔らかな組織や結合組織、骨など、どのようなものでも再生します。

急性の疾患や緊急の場合は、まず資格のある医療従事者に処置してもらうことが必要です。そのあとに、ユニティヒーリングによって、回復の速度を速めます。

よくご存じのように現在では、エーテルエネルギー、プラナーナ、気とよばれるものに関して、どの文化圏においても数え切れないほどの文献が存在していますが、実際にはまだ知られていないことがたくさんあります。ここに述べた基本的な概念は、皆さんを「原始の物質」を実際に体験すること、そしてヒーリングにおける気の重要性の理解へと導いてくれるでしょう。気を学ぶには、他の文献を読む以外に、明確な意思をもって意図とイマジネーションを道具に使い、実験を重ねて体験しながら探究していくことです。

気を動かす効果的な方法／エーテル体の潮の時間、午前3時に行う

次に紹介するテクニックは、気を動かす簡単かつ非常に効果的な方法です。この方法は伝統的なエーテルの潮の時間に合わせて、つまり、午前2時から6時の間、できれば午前3時に行ってください。

背骨を上引き上げ、楽な姿勢で座ります。椅子に座って行うなら、足の裏をぴたっと床につけてください。コンプリートブレスを行いながら、呼吸に意識を向けます。マインドのパワー、イマジネーションを使って、あなたの身体の周りの空気がだんだん凝縮し、濃くなっていったら、透明の活性化された液体状の物質に変化していくのを思い描きましょう。この液状の物質がどんどん濃縮していくにつれ、皮膚に圧力を感じます。あなたの身体がこの物質を肺まで楽に取り入れていることに気づいてください。肺は必要な気体の分子と気のエネルギーを吸収し、残った液状の物質を、身体を取り囲む液状のプールの中へととどめます。

気分子は濃縮して液状になっていきながら、あなたの思考に反応をしはじめます。^{ジョイ} 喜び

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

の思考は液体をさらに濃くしていき、液体は光を放ちはじめます。

今、少し時間をとり、あなたが大自然の中で完全にくつろぎ、安いで落ち着いていたときのことを思い出してください。そのときをイメージしながら、その瞬間の深いフィーリングを身体に感じましょう。すべてと自分がひとつになっている感覚です。**あなたはすべてに浸透する生命エネルギーの流れの中にいました。この流れこそ、今あなたが身体の周りに創っているものとまったく同じ液体状の物質です。このエネルギーによってあなたはすべてのものにつながり、すべてのものがあなたとつながっているのです。**

今度は、^{ジョイ}喜びと幸せ、落ち着いた中心意識と叡智に満たされていた別のときを思い出しましょう。あなたの身体を包む液体は、あなたの思考とフィーリングの光り輝く資質に反応してさらに輝きを増していきます。あなたの思考が輝く液体の流れを方向づけるのです。あなたのいる部屋や空間の中で、思考を使って、液状エネルギーを動かしてみましょう。

思考を使って、あるいは手を実際に動かして、左から右に向かって時計回りに身体の周りを、円を描くようにしてエネルギーに動きを与えます。エネルギーの流れる速度をどんどん速くしていきましょう。思考、あるいは手の動きに従って、エネルギーに動きを与えます。そして、手の動きをどんどん速くしていきます。思考、あるいは手の動きに従って、液状エネルギーがあなたの周りに広がるにつれ、皮膚に感じていた圧力がなくなるのを感じましょう。

今あなたは、円を描いて流れるエネルギーの目の中に、つまり輪の中心に座っています。あなたの身体の周りを素早く巡る液状エネルギーがいかにパワフルかを感じてください。次に、そのエネルギーに^{ターゲット}標的を与えてみましょう。エネルギーはゆっくりと定めた標的に向かって流れはじめます。標的とあなたの間にかさぎぎるものがあったとしても、液状のエネルギーがいとも簡単にその周りを迂回し、標的に向かって流れていくことに気づいてください。

液状のエネルギーが標的に向かいあなたの身体から離れたなら、大気中の気のエネルギーをさらに液化して身体の周りに集めましょう。液体エネルギーに^{ジョイ}喜びと輝きを浸透させてください。そしてあなたが次の標的を定めるまで、液体エネルギーは動かさずにそのまま身体の周りに保っておきます。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

《推奨される手順／「健全な健やかさ」のエネルギーで満たす》

感情体のユニティヒーリング

ヒーラーの準備

- ①「何も欠けることのない完全な存在としての自己」を認識し、中心意識を体感する。
- ②自分の肉体を包むように広がる感情体を意識します。その領域をイメージで「健全な健やかさ」のエネルギーで満たしていく。このとき、健やかさのエネルギーを密度のある滑らかな液体であるとイメージしてもよい。
- ③ヒーラーである自分と同様に、目の前のクライアントもまた「何も欠けることのない完全な存在」であるという認識を持つ。

ヒーリングプロセス

- ④自分とクライアント双方が「全体性と健やかさ」のエネルギーで満たされると意識する。このとき、クライアントの感情体に実際に手を触れてエネルギーを感じながら、流動的で純粋な健やかさのエネルギーで感情体を満たす。相手の感情体が身体の周囲に均等に広がり、滑らかに気のエネルギーが循環している、と感じられるようになるまで行う（通常は、5～15分程度で完了します）。

《推奨される手順2》

今までのヒーリングテクニック、レッスン 35 - 40 を復習して実践し、理解と体験を深めてください。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 42

第 42 週—人体のエーテル体にある過去世の傷を癒す

Healing Past Life Wounds within the Etheric Form of the Human Body

このレッスンのテーマ Theme

人体のエーテル体にある過去世からの傷を癒すための基本的な理解を得る。

生まれ変わっても過去世と同じ肉体的、感情的エネルギーを持ち越すケース

最終形態である人間の肉体のエーテル体は、最も小さいオリジナルの形態から、繰り返す本能的なパターンにいたるまで、これまでの転生のすべての記憶をそのエネルギー場に保持しています。驚くほどのことではありませんが、最も支配的なのは直前の過去世の記憶です。

基本的に動物的、あるいは原始的だと感じるとは思いますが、ダイアードの支配的な記憶のほとんどが、胎児が生殖行為を行う年齢に達するまで生き延びられるようにするためのサバイバル戦略に使われます。これが、ダイアードの第一の関心事なのです。ダイアードの感覚意識は、人体のエーテル体に保持されているすべての複合記憶からなる知性の総体です。直前の肉体の死後にあまりにも早くダイアードが転生すると、つまりダイアード感覚意識が新しい物理的肉体を形成すると、^{エピジェネティクス}後成的な遺伝子への影響（注1）を、過度に受けることになります。過去の肉体が持っていたのとまったく同じ肉体的、感情的エネルギーを新しい肉体の遺伝子に持ち込むのです。

例 兵士が戦いで腕を失い、存続するダイアードがすぐに（1～5年以内に）新しい肉体を形成すると、死の直前に経験していたのと同じ状況を新しい肉体に複製しようとします。死が非常に^{トラウマ}衝撃的であったなら、存続するダイアードの感覚意識がこのような形で死の直前の状態を複製せずに転生をするには数百年もかかることもあります。それはたとえば、人々の肉体が腐敗して骨からはがれ、何か月も何年もの間苦しみながら死んでいったような、広島や長崎の原爆におけるケースです。それから、戦争の恐怖で亡くなった無実の人々、たとえば肉体的な傷を負って苦しめられたり、戦争に有利な情報を引き出すために拷問されたりし

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

た人は、特にそうです。

注1) エピジェネティクスとは、生まれながらに持っている基本的なDNAの配列を変化させずに、遺伝子の発現（遺伝子のスイッチのオン・オフを切り替え）に關与する後成的に起きる遺伝子への影響。またはそれを研究する学問の分野のことを指す。

極端なケース／原爆投下で即死して、痛みとショックを今世に引きずった例

花の入れ墨のような模様を肉体に持って生まれた赤ちゃんの症例についての報告があります。その花の模様は、1940年代に日本で着られていた着物の模様と同じものでした。ほとんどの場合、入れ墨のような模様は徐々に消えていきます。これは、原爆直後にほとんど即死の状態でなくなったダイアードにだけ起こった現象でした。焼け死ぬときの痛みによるショックを、しっかりと自覚する前に亡くなったのです。彼らは、自分の着物がなくなり、その模様が肌に焼きついたことは見ていましたが、痛みを感じる前に死んでいました。

他の例——あるクライアントに、存続するダイアードがアメリカ南北戦争（1800年代中頃に起こった州間戦争）のときに足を失い、その怪我の合併症で数か月後に亡くなった体験を持つ人がいました。そして今世においても、そのダイアードの感覚意識は同じ外傷をもたらしたのです。今世の彼は奇形の脚を持って生まれました。膝のすぐ下から伸びている下肢の部分は、ひしゃげたような足がぶらさがるような形についていました。

これほど極端ではない場合、過去の損傷の複製は若干の奇形や肌の一部の変色などとなって現れます。また、肉体と同じように実際に感情的な傷も残り、それが個人の性格の理屈に合わない奇癖の原因となります。

次に進む前に

以下は、この題材と関連のある事柄です。

- ハーモニックシグナル トーン 調和信号（多次元的な諧調を持つ合図）は、受精の瞬間に放たれ、特定のダイアード感覚意識とトライアード魂意識の両方を引き寄せます。特定のダイアードとは、ほとんどの

場合、以前に同じ血族に生まれたことのあるダイアードです。

- 人間の転生と転生との期間、つまり死のプロセスとして存続するダイアードが肉体を離れ、また新たな胎児の中に入るまでの間の時間は、一般的に 30 年から 40 年ほどです。
- 平均的には、転生と転生の間、地球時間において 30 年ほどの間に、存続するダイアードは直前の転生で生み出された内的葛藤の大部分を手放すことが可能になります。

強烈な後悔や恨みを抱えたまま死ぬと、存続するダイアード感覚意識はその後悔や恨みをすぐ次の転生に持ち越します。亡くなったあと、数年で新しい肉体に転生した場合は特にそうです。このような激しい後悔や恨みは、次にそのダイアードとペアになった魂が、慢性的な病気、感情や精神的なバランスの崩れという形をとおして、自然にバランスを取り戻すのが普通です。また、バランスを取り戻す他の方法は、肉体のエーテル体からそのエネルギーを取り除くことです。

非常に重要なポイント／エーテル体の傷と未解決の魂の問題

神秘主義の伝統においては、肉体的なすべての病気は、肉体のエーテル体から始まるとされています。すべての病気は、直前の転生における虐待や怪我による肉体のエーテル体への直接的な損傷、特定の遺伝子のスイッチが入ったり切れたりするエピジェネティクス、あるいはダイアードの内的葛藤とペアになった、魂からの未解決の過去世の課題のどれかに起因しています。

メモ／ユニティヒーリングと意識的にエーテル体を膨らませ活性化させる方法

存続するダイアード感覚意識は、非常に深い無意識のところでエピジェネティクスに直接影響を与える場合があります。

前述のように、肉体のエーテル体は亀裂や空洞^{ヴォイド}の形であらわれる肉体的な傷の記憶を保持しています。これは、気やプラーナの「漏れ」を効果的に止めることができる、感情体に対するユニティヒーリングの手法を用いて統合を促すことができます。また、クライアントの（あるいは、あなたの）肉体の周り 3メートルのスペースに気を集中的に送ることでエーテ

ル体を膨らませることができます。このどちらも基本的な手法です。どちらかひとつを最初の方法として選択し、まず実践してみましょう。基本的なヒーリングの後でも問題が残っているようならば、そのあとで、クライアントがどのようにしてその問題を「活性化させたまま

ま

肉体に不調が現れることを「期待して」、病気や不具合をそのままにとどめている人たちがいます。それは、長期（数か月から数年）にわたる症状、あるいは家系的な病気（子供が親をまねている状態）という形であらわれる明らかになりアクション——自動的な反応です。家系的な病気が最もよく起こりますが、それに限定されるわけではなく、視覚や聴覚など感覚のバランスのくずれや肌の弱さなどにも影響します。このタイプのクライアントは、その問題から十分に気をそらすことで、肉体的、感情的、精神的な「問題」は消えていきます。たとえば、プラシーボ（偽薬）を与えることで、しつこい症状すら緩和され始めます。

これは次のような方法でさらに示すことができます。クライアントを軽い催眠の変性意識状態に誘導し、彼らが今まで苦しんできた症状はもはや存在しないと単に述べるだけで、瞬時に症状の緩和が起こり得ます。催眠状態のクライアントに「後催眠暗示」をかけることで、変性意識状態から目覚めた後も緩和された状態をさらに安定させることができます。ただし、催眠で激しい痛みを緩和させたり和らげたりしないでください。痛みは非常に重要なコミュニケーションであり、まずは資格を持った医療の専門家に診断してもらうべきです。肉体的な原因が存在しない痛みであれば、感情体のユニティヒーリングのテクニック（78ページ参照）、または「内なる葛藤のヒーリング」（62ページ参照）を使うことができます。

過去世の傷／罰を通して浄化されたいという思いがある Past-Life Wounds

クライアントが望まなければ、肉体に現れている過去世からのエーテル体の傷を完全に統合することはできません。罪を贖^{あなが}う方法として過去世の傷を繰り返して作り出す人たちがいます。これが、罰を通して浄化しようとする力動^{ダイナミクス}であり、両親が子供に罰を与えると、さらにそれが強化されます。罰を与えたあとに、罪悪感から親は子供に多大な愛を与えます。罰せられた後に気前よく肯定的に注目されるので、子供は自分が再び純粋で愛されるべき存在に戻れたのだという合図と理解するのです。

クライアントは肉体、感情、精神的レベルにおいて、完全に統合されることを望まなければなりません。でも残念ながら、完全な統合への欲求は、通常他のすべてを試した後の最後の手段として生じます。このタイプのヒーリングセッションは、一番難しい部類には入りません。なぜならクライアントが、自分の否定的な状態や環境をなんらかの理由で体験する必要があると信じ込んでいるためです。そうでなければ、他の方法を通してすでに統合されているはずで

《推奨される手順》

どのような場合でも、セッションを行う場所はできる限り心地よいものにして、クライアントが可能な限りくつろいでいることを確かめてください。

始めに

クライアントのエーテル体のエネルギーと関わる前に、自分の身体がどのように感じているかを頭にとどめておきましょう。完全にあなたのものである痛み、収縮、感覚が身体の中にあるかどうか確認します。いったんクライアントのエネルギーに集中し始めたら、共感的な情報と自分自身に関する情報を混同してはいけません。

セッティング

50センチぐらい離れて、楽な姿勢でクライアントと向かい合って座ります。

テクニックを始めるにあたって

自分のエーテル体をピーチゴールドのエネルギーで満たします。体全体、頭頂から上、足よりも下のスペースも含めて、身体の周り約3メートルの空間を満たしながら、あなたの身体から光が広がっていくのを思い描いてください。

次に

呼吸に意識を向けてください。ヨガのコンプリートブレスを3回行います。他に何も考えずに、クライアントの呼吸パターンに合わせていきます。クライアントの吸う息と吐く息を観察し、まったく同じ呼吸パターンにしてください。吸う息と吐く息はかなり変化するかもしれません。たとえば、吸う、吐く、止める、また息をし始めて、止めるなど……その間、

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

常に意識を集中する必要があります。15分ほど続けましょう。呼吸を合わせる以外、何も考えないで行うことを忘れないでください。

焦点

自分のエーテル体の中で、突然、拡大あるいは収縮する感覚が生じる場所があるかどうか、また肉体にいつもと違った感覚があるかどうかに注意を向けます。そういった体験が生じたら、その感覚と内的な会話を始めます。

例 もし自分の肩に突然鋭い収縮があり、そこが冷たく感じたなら、その感覚に対して、その体験に関わる特定の情報を与えてくれるように頼みます。一連のイメージや考えが得られるかもしれませんが、情報を受け取りながら、それを声に出して言ってください。そうすると、意識の流れを開きエネルギーが解放されます。その感覚とつながりのあるいかなる感情も表現し、身体が動きたいように動くのを許してください。その感覚は突然終わります。

再びお互いの呼吸に意識を向け、同じ手順^{プロセス}を繰り返します。続けながら、途中で何も感覚が感じられなくなったら、そのセッションは終わりです。

スマッジング（セージを使ったネイティブアメリカンの浄化の技法）または、フランシスカス・コール博士のクレンジングテクニックのどちらかを使って、完全に浄化を行ってください。フランシスカス・コール博士のテクニックを行う場合は、パッシング（直接肌に触れない）の方法を使います。

レッスン 43

第 43 週—今世の虐待とトラウマ（身体的外傷）を癒す

Healing Present Life Abuse and Trauma

このレッスンのテーマ Theme

肉体的、感情的、精神的な虐待と身体的外傷を癒す神秘主義の
アプローチにおける基本的な理解を得る。

自己覚知を達成するまでは、すべての人が内的葛藤に導かれて生きている

すべての人は、魂が新しい肉体に宿った瞬間から、直接的な葛藤を抱えた状態にあります。もちろん、この種の葛藤は個人の過ちではありません。完全に相反するふたつの生命形態が、まったく同一の時間と空間に存在する結果生じる葛藤です。魂は永遠に一定の存在であり、すべてが創造のはじまりの瞬間に生まれました。一方、物理的な肉体は常に進化し続ける存在であり、人間の肉体という最終形態に至るまでに、たったひとつの細胞から何百万もの転生を経て進化してきました。

この意味において、私たちは常に地球という次元領域で、バランスとグランディングした状態を保とうと格闘しています。ダイアードが過度に支配的なままでいると、人は状況や環境のすべての側面を個人的に受け止めます。一方、魂意識が支配的になりすぎると、地に足がついていない感覚がして、傷つきやすいと感じてしまうために、やはり状況や環境のすべての側面を個人的に受け止めてしまいます。理想的なのは、ダイアードが人生の物理的な側面を導き、一方、魂意識が観察や人生の哲学的側面をガイドする状態です。

感情的、精神的、肉体的虐待 Emotional, Mental and Physical Abuse
その虐待を「解放したい」と望み、「決意」することが大切

自己覚知を達成するまでは、すべての人が内的葛藤に導かれて人生を旅しているということを覚えておいてください。すべての虐待は極めて強い内的葛藤を生み出します。本来、慰めと安全を求める相手から度重なる虐待を受けた場合は特にそうなります。ですから、す

すべての永続する統合を引き起こす鍵となる要素は、クライアントが自ら進んで彼らが受けた虐待を手放すと強く望むことです。

しかしながら、繰り返し虐待を受けている幼い子供は自分が置かれている環境から逃れることができません。そのため、克服することも解放することさえも不可能に思える恨みが幾重にも重ねられ、自ら進んで虐待を手放すことをとても難しくしてしまうのです。これは、彼らが人生の大部分を虐待とともに生きてきたからです。クライアントは以下のように感じるでしょう。

- 癒されて、虐待の関係性が作り出した内的葛藤がなくなったら、自分自身とどのように接していけばいいのだろうか。
- 他の人間がこのような行為（虐待）をするほど悪い自分、あるいは間違っている自分自身を、どうしたら許せるのだろうか。
- 癒されたら、ひどいことをした加害者に罰^{ばち}があたればいいのにといい思いを持たずに、いったいどう生きていけばいいのだろうか。
- 物事がわかるようになってからも、相手を罰することなく虐待が継続することを許してしまった自分自身を、どのように許すことができるだろうか。

クライアントの感情的、精神的、肉体的な虐待を効果的に癒すために必要な最初の段階は、彼ら自身がその虐待を「解放したい」と望み、「決意する」ことです。最初に内面にこの決意がなければ、統合は極めてわずかしか起こり得ません。次に必要なことは、自分が統合されたら、他の人たちの役に立とうという彼らの決意です。これは、彼らが自分自身を統合することに継続的に集中することを促し、全体性と、ボディ、マインド、スピリットが統合された状態のヴィジョンを新たにします。

いったん彼らが虐待を解放し、他の人々が全体性を取り戻すために役に立つことを決意したら、プラクティショナーは彼らとワークすることができるようになります。

虐待の解放／ヒーリングのテクニック Abuse Release/Healing Technique

第1ステップ／過去に受けた虐待を紙に書き出す

クライアントに、虐待を行った人の顔と名前を思い出しながら虐待の性質を十分に考えてもらい、さらに、彼らが受けた虐待の性質をひとつの言葉にして書いてもらいます。その言葉の隣には虐待した人または人々の名前、名前の隣にはそれが起こった場所、場所の隣には虐待が起こった日にちと時間を書いてもらってください。

例

| | | | |
|------|-----------------------------|------------|---------------------|
| 殴る | ダニー・ジェンスナー（継父） | 私の誕生日パーティー | 1956年8月29日 |
| 打つ | ダニー・ジェンスナー（継父） | 私の寝室 | 1956年10月午後 |
| 怒鳴る | ダニー・ジェンスナー（継父） | 私の寝室 | 1956年10月午後 |
| 殴る | ダニー・ジェンスナー（継父） | 私の寝室 | 1956年10月午後 |
| 無視 | マーサ・エリザベス・ レイフォード（旧姓）（母） | 自宅 | 毎日午後、 夕食が済むまでの時間 |
| 引っ掻く | キャロル（姉） | ほとんどどこでも | 毎日 |

実際は、できる限り多くの記憶の詳細を含めるので、数ページにわたることもあるかもしれません。特に、クライアントが完全な記憶を取り戻したときに、詳細を付け加えたり変えたりすることができるように、鉛筆で書くのがベストです。たとえ細部が嫌悪感や不快感をもよおすようなものであっても、彼らが受けた虐待の詳細をできるだけ詳しくそして鮮明に記述できるように励ましてください。

メモ クライアントが状況の細部を正確に思い出すことができない場合は、できるだけ思い出せるようにイメージーションを使うように促してください。それでもまだ、思い出すのが難しいようであれば、軽い変性意識状態に催眠誘導します。この方法は、記憶をブロックしている苦痛を伴った感情エネルギーの外に出られるように、クライアントを助けます。答えを見つけ出してもらおうとして、クライアントの記憶を誘導したり、クライアントが虚偽の記憶を構築しないように十分注意してください。有効な記憶が思い出せないようであれば、次の手順に進んでください。

第2ステップ／虐待に関連するすべての恨みや苦痛を解放する

虐待の詳細を書き出した紙を、3本のお香の周りにできるだけ細くしっかりと巻きつけるように指示してください。しっかりと巻きつけたら、その状態を保つために、ひもまたはリボンで中央と両端をしっかりと結ぶように伝えます。紙は、できるだけ細くしっかりと巻いてもらう必要があります。すべて結び終わったら、片端に火をつけて完全に燃え尽きるまで紙を燃やすよう、クライアントに指示してください。彼らが受けた虐待に関連する恨みや苦痛のすべてを解放するという彼ら自身の決意^{コミットメント}を強固にするために、クライアントに煙と炎をじっと見つめるように指示してください。きつくしっかりと紙で巻かれたお香は、完全に燃え尽きるまでその紙が燃え続けるのを助けます。

メモ 真ん中から紙を燃やしてはいけません。燃える時、ふたつの紙片に分かれないようにするためです。ふたつに分かれると、書いた内容と、虐待の記憶を変容するエネルギーを象徴的な意味で分割してしまうからです。

第3ステップ／自分自身と相手を許す

クライアントに、新しい紙に次のように許しの言葉を書き、筒状に巻くように指示してください。

私（自分の名前）○○○○○は、この人生において、そして、その他のすべての時間と場所において、私が他者に対して行ったすべての誤った行為に関して、私自身を許します。

私は、この人生における、そして、その他のすべての時間と場所における、彼（または彼女）のすべての意識的、無意識的な虐待に関して、私の（家族、友人、仲間など該当する関係性）○○○○○、該当する人の名前○○○○○を許します。

クライアントが虐待の加害者であると認識する人たち一人ひとりに対して、2番目の文章を書きます。ステップ1で取り上げた、私の個人的なリストを例にとると、以下のようになります。

私は、この人生において、そして、その他のすべての時間と場所において、私が他者に対して行ったすべての誤った行為に関して、私自身を許します。

私は、この人生における、そして、その他のすべての時間と場所における、彼のすべての意識的、無意識的な虐待に関して、私の継父、ダニー・ジェンスナーを許します。

私は、この人生における、そして、その他のすべての時間と場所における、彼女のすべての意識的、無意識的な虐待に関して、私の母、マーサ・エリザベス・レイフォード（旧姓）を許します。

私は、この人生における、そして、その他のすべての時間と場所における、彼女のすべての意識的、無意識的な虐待に関して、私の姉、キャロル・ボーンを許します。

第4ステップ／許しの言葉を書いた紙を燃やす

第2ステップで指示したように、3本のお香に許しの言葉を書いた紙をきつくしっかりと巻いてひも（またはリボン）で結び、それを燃やすようにクライアントに指示します。

第5ステップ／ユニティヒーリング

最後に感情体へのユニティヒーリング（78ページ参照）を行ってください。ここまでの1回のセッションで、次のセッションまでは最低24時間あけ、合計3回のセッションを行います。

身体的外傷の解放／ヒーリングのテクニック **Trauma Release/Healing Technique**

あなたが資格を持った保健あるいは医療の専門家でないなら、いかなる身体の外傷も修復しようと試みるべきではないということを覚えていてください。そういったクライアントは、適切な医療の専門家に任せてください。

保健医療の専門家がクライアントの身体的外傷の後遺症の手助けができなかったときには、クライアントから彼らのトラウマの詳細に関する完全な知識と情報を得、トラウマ自体とその結果生じた身体に表れている影響を共感的に理解しましょう。さらにそのトラウマに関する全体性というヴィジョンを見通すことができたときにのみ、ユニティヒーリングのテクニックを行うということが非常に重要です。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーン及びノウイングパートナーLLCの著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

第1ステップ／本当に癒しを望んでいるかどうかを知る

クライアントが身体的外傷を同じ状態のままにしておくことに投資しているかどうか見極めてください。

例 以前、交通事故の結果、足に数か所の障害を負ったクライアントが来たことがあります。彼女の上肢、下肢とも細胞組織が数か所切り裂かれ、両足の大腿骨は膝のすぐ上のところで骨折していました。彼女は杖を使って歩いていました。

彼女はその状態からより早く回復するために、私が手助けできるかどうか尋ねました。共感的に彼女の状態を確認するや否や、私は彼女に、「なぜ、事故が最近起きたばかりであるかのように、自分の状態を事故直後の状態のままにしているのか、そして、なぜ、傷が完全に治ることを許してこなかったのか」と尋ねました。彼女は相手の保険会社との訴訟がまだ終わっていないこと、そして、その訴訟に勝つために、障害があるように見えることが必要なのだと説明しました。私は、その訴訟が終わり、しかも彼女が勝訴した場合にのみ、私が手助けすることが可能だと説明しました。

第2ステップ／期待を変える

同様に、クライアント以外の誰かが、クライアントが回復しないことに投資しているかどうかを見極めることも重要です。前記の例では、その女性の夫と弁護士が、同じように彼女が回復しないことに投資していました。彼女の夫は勝訴してできるだけ多くのお金を得たいと望み、弁護士は非常に有利な裁定を勝ち取って、自分の報酬を最大限にまでしたいと望んでいました。

誰が、クライアントが同じ状態のままにしていることに投資しているのを見極めたら、あなたは彼らに、クライアントのためにその結果に対する欲求と期待を変えるように頼まなくてはなりません。これは、クライアントの障害を取り除き、あなたがユニティヒーリングを申し出ることができるでしょう。

第3ステップ／ユニティヒーリング

この問題が解決したら、全3回のセッションを提案してください。

1回目は身体的外傷のあたりのナディ（プラーナの通り道）を開くために行います。2回

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

目は、エーテル体と肉体のバランスをとるために行います。そして、3回目は、感情体の統合のために行います。

物理的な虐待の症例の場合は、面談中にそれがどういう虐待だったのか、体験の全体をつかむ必要があります。いつ、どれくらいの期間続いたのか、肉体的、感情的、精神的虐待のどれであったのかなどです。

クライアントが特定の身体部位に繰り返し虐待を受けた場合、たとえばお尻や腰を何度も叩かれたようなときには、その部位のあたりに対応するいくつかのナディをパッシングしながら、背中上部のポイント、58、59、60のグラウンディング・ポイントに触れます。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.
The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.
© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 44

第 44 週—肉体とマインドのつながりを癒す

Healing the Body/Mind Connection

このレッスンのテーマ Theme

マインドが肉体に与える基本的な影響を理解し、
肉体とマインドのつながりにバランスをもたらす方法を学ぶ。

ボディ・マインド・スピリットを健全な状態にするには
「全体である自分というヴィジョン」を持つ

これまでに理解してきたように、人間の精神は幾層もの意識コンシャスネスと感覚意識アウェアネスが信念によって融合されたものです。物理的肉体は、数多くの違うタイプの細胞形態が組み合わされたもので、細胞のエネルギーが肉体全体に生命を与えています。私たち人間のマインドは主に、魂のエネルギーである意識で出来上がっています。一方、人間の肉体は、常に進化している大量の原子、分子と細胞から成っています。肉体は進化するダイアード物質でできているために、始まりの瞬間から全体性を備えて創造された魂意識に従わなければなりません。これは創造の秩序なのです。

行為アクションは知覚する感覚意識が生み出す物理的な表現であり、思考は意識をベースにした「比較観察」で、知覚を超えています。ひとつひとつの行為が肉体をとおして生み出された形態フォームであるように、ひとつひとつの思考は地球を取り巻くエーテル領域フィールドに存在する形態です。思考エネルギーの形態は空間を占拠しませんが、行為の形態は明確な3次元的な形を持っています。

このような仕組みになっているので、肉体の原子、分子、細胞は、私たちの意識が下す指令に必ず従わなければならないのです。言い換えれば、私たちが考えることは、肉体のすべての原子、分子、細胞の活動を指揮するということです。

私たちが、思考あるいは一連の連鎖的思考にパワーを与えるなら、肉体はそのパワーの及ぶ範囲内で思考が求める結果をもたらすために必要なすべての行動をとらなければならないのです。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

私たちがウェルネス—健やかさについて思考すると、私たちの肉体は描かれたヴィジョンを現実にするために健やかであること、つまり「健全な状態」という思考に従わなければなりません。もちろん逆もまた真なりです。あなたの考えが病気に焦点をあてているなら、あなたの肉体は遺伝的に弱い部分にその病気を創りだします。ボディ・マインド・スピリットにおいて全体性を獲得しようとするなら、「全体である自分というヴィジョン」を持たなくてはなりません。

簡単なエクササイズ／思考の力を身体で感じてみる

30分間自分の疲労感に意識を向けます。エネルギーが枯渇している状態です。その思考がもたらす影響を身体で感じてください。肉体はあなたの思考を完了させるために、必要な状態を用意します。ではその反対を試してみましょう。無限のエネルギーを享受している状態を考えてください。肉体はあなたがパワーを与えた思考の通りに従わなければならないのです。

肉体（^{サバイバル}生き残りの戦略）と魂意識の二元性の中で、葛藤は自然に起こる

今まで述べてきたように思春期を過ぎると、私たちは^{サバイバル}生き残りの戦略を導き出す進化する物質の知性（肉体）と、可能性のヴィジョンを導き出す永遠に一定の魂意識（マインド）の双方から生きようようになります。自己覚知にいたるまでは、この次元を観察するために生き残ろうとするダイアド感覚意識と魂意識が結びついた二元性の中で、肉体と精神は自然に葛藤します。

この二元性は以下のように表にすることができます。

| ダイアド Dyadic Awareness | | 魂意識 Soul Consciousness | |
|-----------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|
| 肉体 Body | 感覚情報の ^{インプット} 入力 | マインド Mind | 知性的な思考 |
| 女性性 Female | 育む 集める (実を) | 男性性 Male | 観察する 狩りをする |
| 過去 Past | 本能的 | 未来 Future | ヴィジョンを持つ |
| 存在する Being | 今に在る | 行うこと Doing | ゴールを目指す |
| 空間 Space | 比較する意識 | 時間 Time | ^{オペレート} 作用する知覚 |
| ミステリー Mystery | 大地の叡智 | マスタリー Mastery | 霊的な叡智 |

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

それぞれの人間は、性別にかかわらず、意識の中に二面性を持っています。バランスがとれていない状態、あるいはグラウンディングができていない状態のときには、二面性のどちらか片方に意識を偏向させてしまいます。これは魂が片方の性にばかり続けて何度も転生するとか、存続するダイアードがどちらか片方の性の肉体ばかり形成するのを手伝った場合などに起こります。

このようなタイプの偏った意識は、人間の身体には性別がなくなる遠い未来（500年あるいはそれ以上先）に魂が転生した経験がある場合にも起こり得ます。

また長期にわたる虐待やトラウマを体験した場合にも同じようなことが起こります。この場合は偏向した意識というよりは、分裂して偏った意識です。ふたつの傾向がばらばらに混ざりあってしまうのです。以下に例を挙げましょう（変わってしまったところは太字で示してあります）。

| ダイアード Dyadic Awareness | | 魂意識 Soul Consciousness | |
|------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|
| 肉体 Body | 感覚情報の ^{インプット} 入力 | マインド Mind | 知性的な思考 |
| 男性性 Male | 観察する 狩りをする | 女性性 Female | 育む 集める (実を) |
| 未来 Future | ヴィジョンを持つ | 過去 Past | 本能的 |
| 存在する Being | 今に在る | 行うこと Doing | ゴールを目指す |
| 空間 Space | 比較する意識 | 時間 Time | ^{オペレート} 作用する知覚 |
| マスタリー Mastery | 霊的な叡智 | ミステリー Mystery | 大地の叡智 |

肉体の性別がどうであろうと、上に挙げたような変化によって、戦士、リーダー、聖職者のような立場を選びがちになります。これは物理的な肉体の形にも影響します。特に体型が小柄な女性の場合、ボディビルダーになったりするのです。また、突然の霊的な啓示によって仰々しい征服者となる人もいますが、本能的な戦略を基盤にしています。こういった人たちは、特定の人々がちゃんと居心地よく暮らしていけるように、たくさんのエネルギーを使います。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

このタイプは、人格／自我に継続する葛藤を抱えています。二元性の中でも特に男性性／女性性の問題を抱える場合があります。それはバイセクシュアルや、エイセクシュアル（注1）といった形で表れます。彼らは自然に受動的攻撃性（Passive／Aggressive）を備えた性格になりがちですし、個人的な規律に関して強迫的に執着します（上に挙げた例はアカシクレコードから読みとったナポレオン・ボナパルトのものです）。

注1）一般的には、男性および女性のどちらをも性愛の対象としない人、もしくは性欲（性的欲求）そのものがない人、およびその性的指向のことを指します。

こういった情報を得るために意識的にアカシクレコードにつながり情報を読み取ることができるなら、ヒーリングと組み合わせる使うすばらしい機会です。自分が「なぜ」「普通」の人と「違っているのか」を理解できると、人は自然に自分自身を癒しはじめます。

この種の「トーク」、セラピーにおいては、人格／自我における偏りが過去世に端を発した意識の力動であると伝えることで、偏向した側面同士を素早く関連づけることができます。

このような情報は、即座にヒーリングの場から「非難」のエネルギーを取り除き、クライエントはすぐに自己受容を感じることができるのです。感情体のヒーリングとアカシクレコードの情報を組み合わせれば、効果は非常に強化されます。

瞑想、ヨガ、プラナヤマ、太極拳、気功は、共通するエネルギーの第三領域^{フィールド}内において、肉体とマインドを結びつけ統合することが証明されています。第三フィールドは、しばしば「仏陀フィールド」と呼ばれます。仏陀であるゴータマ・シッダルタから、強力な第三フィールドの効果が放たれていたためです。

ナザレのイエスもまた、同様の広大な第三フィールドのエネルギーを放射していました。身体の具合の悪い人や、感情的、精神的に疲れて苦しんでいる人々は誰しも、仏陀フィールドの中に入ると、すぐに癒され安らぎます。仏陀もイエスも、自身の第三フィールドのエネルギーを広げたり、収縮したりすることができましたし、遠隔地に送ることさえできました。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

第三フィールド／

無垢と統合性から放射する凝縮したエーテルプラズマエネルギー Third-Field

自己覚知を達成した人は、一時的に第三フィールドを生み出し、保持することができます。また覚醒した人々はすべて、継続して第三フィールドのエネルギーを放射します。

第三フィールドは、自己鍛錬を通して発達します。永遠に拡大し続けるハーモニクスである思考エネルギー、つまり、情熱に満ちた祈りへの継続的な集中力を使うのです。この状態は、聖書では「終わりなき恩寵」と表現されています。預言者たちによって観察された「永続する感謝」の状態です。

意識的な瞑想の一瞬、一瞬が、その人の仏陀フィールドをさらに高めます。仏陀フィールドは、目覚めた人の魂のエーテル体、肉体のエーテル体、そして肉体のエネルギーを包み込む覆いのように見えます。これは光背や後光といったものを超えた、その人の無垢と統合性から放射する、凝縮したエーテルプラズマエネルギーなのです。

《推奨される手順／人のために心から祈る》

1週間に1度、他の人のために休みなく1時間祈ってください。熱意をもって感謝の気持ちから祈りましょう。このように「人のために心から祈りたい」と思う気持ちと力が自分にあることにさえ感謝します。この行為は人生における最も偉大なる目的をもたらしてくれるでしょう。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 45

第 45 週—「形のある」世界は私たちの指令に従う

The World of Form Must Conform to Our Commands

このレッスンのテーマ Theme

ユニティヒーリングのセクションの完全復習。

あなたが引き寄せる体験や状況は、感情的・精神的な内面を表したものにすぎない

人間の肉体に宿った、永遠に一定した魂としてここ地球に存在するにあたっての私たちの根本的な本質は、「始まりの瞬間の始まりのヴィジョン」の進化を観察しながら、物質の中にバランスと調和を放射することです。ここにいるのは、多様な生命体の自然の秩序を妨害するためや、地球の資源を費やすためではありません。私たちは「始まりの瞬間の使者」としてここにいます。私たちがその始まりのヴィジョン——進化する物質——を直接個人的に体験することによって、創造主が自分を知ることができるのです。この理解のもとに私たちは偏見や嗜好を持たずに、すべての状態の存在に敬意を払うべきです。大いなる叡智でいうと、「あるがままみる」ということです。

私たちは肉体に宿った魂として、既存の形態を変化させたり、思考を形に具現化することができます。また調和を乱すことも、その逆に調和をもたらすこともできます。「**形のある、世界は私たちの指令に従う以外に選択肢はありません。**」よって私たちを取り巻く世界、つまりこの時空の旅路において引き寄せる体験や状況は、私たちの内面の景色をそのまま外の世界に映し出したものです。肉体とは、外の体験や状況の一部でありながら、内面の感情的・精神的な様子をそのまま現したものです。葛藤があると、安定や機能の調和を欠き体調が崩れます。

レッスン 35

●魂が宿ると、人間の肉体が活性化されます。魂の主要な構成要素であるエーテル物質と肉

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

体の主要な構成要素である物理的物質が混じり合うことによって、息吹が与えられるのです。

- ①直前の過去世のトラウマが原因で肉体のエーテル体にダメージがあると、肉体と魂のつながりが阻害されます。
 - ②魂から肉体へのエーテル物質の流れが阻害された状態で、しかも今世でも虐待や放置^{ネグレスト}を体験した場合、深い内的葛藤が形成され、その人の人生の行動を動かしていきます。
 - ③ダイアードの深刻なトラウマと数々の過去世からの未解決の課題が組み合わさると、慢性的な病気が現れます。
 - ④急性の病は、断続的に表面化する未解決の課題がそれぞれ内なる葛藤と組み合わさった場合に現れることがあります。
 - ⑤まだ、あなたが自分自身の「内なる悪鬼^{デーモン}」に取り組んでいる状態であるなら、「大いなる自己を発見し、地上でのより大いなる目的を見つけることができるように」とあなたが他者を援助しても、その効果はずっと小さなものになってしまいます。
- オヴァム・第一次エーテル物質・第二次エーテル物質・外側のエーテル物質。
 - 存続するダイアード感覚意識（進化する知性）は特定の身体^{ボディのタイプ}の種が、許された範囲内で体験できるすべての可能性を探求したあとは、次の新しい種へと変異します。

レッスン 36

- 気（プラーナ）は、創造の中で、いつでも、どこにでも存在しています。転生して肉体を持っているかどうかにかかわらず、第一次存在、つまりトライアードの魂は、特定の方法で気の流れを方向づけることができます。
- 気（プラーナ）は、ねじれや歪みがまったくない純粋なエネルギーです。
- 受けた影響を変容させることで、歪んでしまった気の流れの方向をもう一度方向づけし直すことは可能です。一度、気の流れが方向づけられると、その強度を変化させることは非常に難しくなります。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

- ヒーリングセッションでは、クライアントとヒーラー双方の総合的な感情と精神の状態が気の流れや強さを決定づけます。
- 5つの基本的なステップ 1—クライアントが快適でくつろげるか確かめる。2—クライアントを知る。3—ヒーリングを行う。4—クライアントを休ませる。5—クライアントの秘密保持。
- タッチング、パッシング、ホールディング、グラウンディングというユニティヒーリングのテクニック。

レッスン 37

- 感情体 (Emotional Body) —— 認知的症状
- ^{メンタル}精神体 (Mental Body) —— 身体症状
- 神経系
- 怒り・恐れ・悲しみ・気恥ずかしさ／きまり悪さ
- 人生に対する直接的なアプローチ

レッスン 38

- 私たちは論理的思考を使い始めると、自然な状態から抜け出してしまいます。
- すべての精神的な操作や学んできた戦略がそれぞれに、肉体とエーテル体の中の気の流れを方向づけます。
トライアードの魂意識とダイアードの感覚意識の結合は、私たちが完全に自然な存在になれるように意図的にデザインされたものです。
- 自分にはどこも間違っているところはないのだと理解できたとき、すべての内なる葛藤はすぐに解体されていきます。

レッスン 39

- 肉体に命を与えている生命エネルギー (気／プラナー) は、睡眠中や休養中に自然に補給されます。
- ほとんどの病気や不調は、葛藤のある思考や行動の結果として、気の流れが遮られたり弱められたりすることでエーテル体から始まります。
- 私たちの身体のエネルギーのほとんどは、重力の影響に対処するために使われています。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

- 一貫性のない思考は収縮と拡大を繰り返し引き起こし、それによって気の量は十分になつたり不足したりします。
- 意識のある状態では、肉体的感覚が、使う脳の場所や範囲を決めています。

レッスン 40

- 自我が^{エゴ}駆動する内なる葛藤のほとんどが、5歳以前に発達します。
- 深い内的葛藤がもたらすものは、低い自尊心（自己価値）。
- ①知っておくべき最重要ポイントは、あなた、あるいはクライアントにはまったく欠けたところはなく、ただ自身の魂意識から気がそれているだけであるということです。
- ②内的葛藤は知性が管理したり、自我がコントロールできるものではありません。
- ③内的葛藤の否定的な側面を魂意識に引き渡す。
- ④どのような不平不満もすべてやめてください。
- ⑤あなたより恵まれていない人のために、あなたの能力や才能を「資源」として提供しましょう。
- ⑥人生のすべてに感謝しながら生きましょう。
- 内的葛藤のヒーリング

レッスン 41

- どのようなレットルを貼ろうと、エーテルエネルギーこそ、創造における唯一の遍在する根本的なエネルギーであり、すべての土台を形成するものです。
- エーテルエネルギーがヒーラーによって使われるとき、それはほとんど液体と同じように振る舞います。

レッスン 42

- ダイアード感覚意識は、人体のエーテル体の中に保持されているすべての複合的な記憶からなる知性の総体です。
- 人が強烈な後悔や恨みを抱えたまま死ぬとどうなるのでしょうか。
- すべての病気は、直前の転生における虐待や怪我による肉体のエーテル体への直接的なダメージ、あるいは魂によって持ち込まれた未解決の過去の問題が存続するダイアードの内的葛藤とペアになり、その相互作用によって発生する^{エピジェネティック}後成的な遺伝子への影響（特定の遺伝子のスイッチが入ったり消えたりする）に起因しています。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

- 自分の肉体に病があることを期待しているため、肉体を病気や不調の状態のままにとどめている人たちがいます。
- 罪を贖う方法として過去世の傷を繰り返し作り出す人たちがいます。

レッスン 43

- すべての人は、魂が新しい肉体に宿った瞬間から直接的な葛藤を抱えた状態にあります。
- ダイアードが過度に支配的なままでいると、個人は状況や環境のすべての側面を個人的に受け止めます。
- 魂が支配的になりすぎると、地に足がついていない感覚がして、傷つきやすいと感じてしまうために、状況や環境のすべての側面を個人的に受け止めてしまいます。
- トラウマと虐待の解放

レッスン 44

- これまでに理解してきたように、人間のマインドは、幾層もの^{コンシャスネス}意識と^{アウェアネス}感覚意識が信念によって融合したものです。
- 物理的肉体は、数多くの違うタイプの細胞形態が組み合わされたもので、細胞のエネルギーが肉体全体に生命を与えています。
- 私たちの人間のマインドは主に、魂のエネルギーである意識でできています。
- この次元を観察するために生き残ろうとするダイアード感覚意識と魂意識が結びついた二元性の中で、肉体と精神は自然に葛藤します。
- バランスがとれていない状態、あるいはグラウンディングができていない状態のときには、二元性のどちらか片方に意識を偏向させてしまいます。
- 第三フィールド (Third Field)

《推奨される手順》

抽出されたテーマを中心に理解を深める。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.
The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.
© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 46

第 46 週—チャクラのハーモニクスの調整と内分泌系および非内分泌系へ及ぼす効果

Harmonic Chakra Attunement and the Active Effect on the Endocrine and Non-endocrine System

このレッスンのテーマ Theme

チャクラに関連した内分泌系および、非内分泌系（外分泌）システムの基本を理解する。またエーテル体におけるエネルギーセンター、チャクラの浄化の仕方やバランスと調整のとり方の基本を知る。

（訳注 内分泌系は導管を持たず体内や血液中に直接ホルモンを分泌し、非内分泌系は導管を持ち体外や通じている管腔に分泌する。テキストの内容を参照のこと）

チャクラ全体のバランスが調整されると、免疫機能が正しく機能する

魂と肉体のエーテル体は7つのエネルギーセンターと関係しています。エネルギーセンターはチャクラ、またはエネルギーの車輪^{ホイール}とも呼ばれていますが、基本的に、背骨の基底部分から頭蓋にかけての脊柱にそって位置しています。

このエネルギーセンターは、全般的な「気」の分配や、肉体の活力に影響を与えると同時に、導管をもたない内分泌系や非内分泌系（外分泌）の分泌腺に直接影響しています。チャクラシステムのバランスがとれていれば、内分泌系および、非内分泌系は適切に機能して、最良の健康状態を保つために必要なホルモンを肉体の各組織へと分泌します。対応するチャクラを通して入ってくる気のエネルギーがブロックされていたり、制限されている場合は、否定的な影響を及ぼし、それぞれの分泌系の機能が損なわれます。

分泌系の唯一、最も重要な側面は、代謝のバランスをとり免疫機能が適切に働くように保つことです。チャクラがクリアで、チャクラ全体が正しくバランスがとれた状態に調整されていれば、免疫系はバクテリアや菌^{ウイルス}の侵入によるどのような機能不全や炎症も修正することができます。また、怪我や慢性疾患が原因の機能不全に対しても同様です。

ユニティヒーリングシステムは内分泌系および非内分泌系（外分泌）の腺に影響を与えるので、このふたつのシステムの基本機能を理解しておく必要があります。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

内分泌系を構成する主要な導管のない分泌腺は、松果体（視床下部）、脳下垂体、甲状腺（副甲状腺）、副腎そして生殖系の分泌腺である卵巣と睾丸です。これらの分泌腺は化学物質を血液中に放出し、また血液内の物質を吸収することで肉体に働きかけます。

非内分泌系の臓器は、小さな開口部または導管を通して分泌します。臓器には脳、心臓、肺、腎臓、肝臓、胸腺、皮膚そして胎盤が含まれます。膵臓はしばしば消化器系に含まれますが、分泌系の一部です。ただ導管のない内分泌系ではありません。

松果体—クラウンチャクラ The Pineal Gland - The Crown Chakra

脳内の奥深くに位置する「魂の座」

松果腺または松果体は、脳の中央にある 8 ミリほどの小さな内分泌腺で、メラトニンを分泌します。メラトニンは睡眠と目覚めのパターンを調節するホルモンです。小さな松ぼっくりのような形で左右の脳半球の間にあり、丸みを帯びた左右の視床体が結合する溝の部分にはさみこまれています。松果体は赤みを帯びた灰色で、^{じょうきゅう}上丘の上、^{ししやうずいじやう}視床髄条の後ろ下部、横に並ぶ視床体の間にあります。視床上部の一部です。

松果体が内分泌器であることがわかったのは比較的最近のことです。脳内の奥深くに位置するために、歴史上の思想家たちは、松果体には何か特別の重要な機能があるのではないかと考えてきました。そのため神話や迷信、形而上学的な理論に満ちた「神秘の腺」として、語られてきたのです。

デカルトは松果体を「魂の座」と呼びました。彼は松果体が知性と肉体をつなぐポイントだと信じていました。左右対称の脳の解剖学からいってもひとつしかない松果体の独特な構造も彼の信念の根拠のひとつでした。しかしデカルトの観察は正確ではありません。顕微鏡で松果体を見ると、やはり繊細なふたつの半球に分かれているのです。また別の理論では、松果体は流体を放出する弁として働いているのではないかとされていました。思索にふけると、人が頭を下げて手で支えるのは、この弁を開くためというわけです。

第七チャクラまたはクラウンチャクラ（サハスラーラ・チャクラ） The Seventh Chakra, Crown (Sahasrara) オーロラのようなエネルギーの輝きを放つ

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

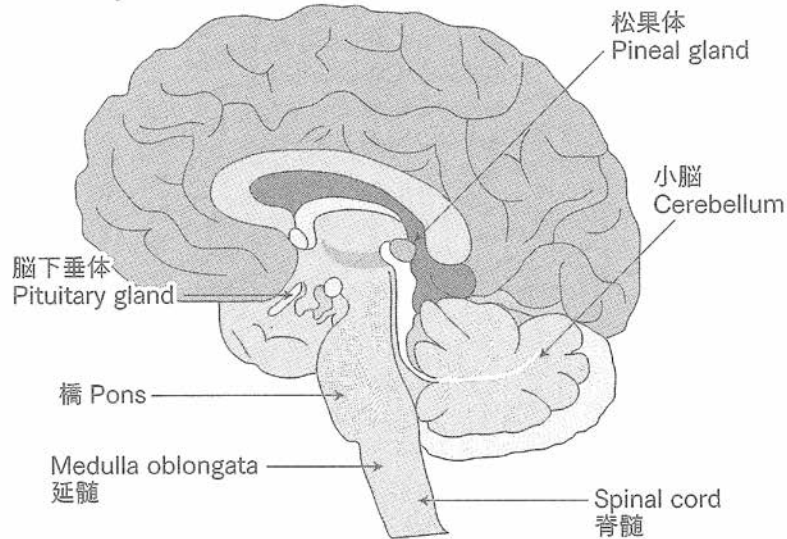
神秘学的には、このエネルギーセンターの色は、バイオレットからライラック色、覚醒した人のクラウンチャクラは^{ゴールド}金から白色をしています。頭頂部に位置し、ほとんどがオーロラのようなエネルギーの輝きを身体から上に向かって放射しています。

クラウンチャクラの影響は、脳下垂体と大脳皮質で感知されます。クラウンチャクラのハーモニクスは中枢神経系を通して肉体に放射され、骨格や筋肉の柔らかい組織、結合組織や皮膚に影響を与えます。

他のチャクラと整合しバランスがとれると、私たちは普遍的なワンネス、そして神聖なる源との深いつながりを体験します。このセンターがバランスをくずすと、鬱状態や頭痛、筋肉や骨格系や、皮膚の疾患の原因となり得ます。

脳下垂体と松果体

Pituitary and Pineal Glands



© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

脳下垂体—^{ブラウ}第三の目のチャクラ The Pituitary Gland - The Brow Chakra

目覚めるとテレパシー通信ができる

脳下垂体（左ページの図参照）は休眠状態の器官で、目覚めるとテレパシーによる伝達ができるようになります。脳下垂体は、ヨガや霊的な世界では、アジナチャクラまたは第三の目のチャクラと呼ばれています。大きさは豆つぶほどで、トルコ鞍とよばれる骨でできた構造体の中にあり、脳の基底部に位置しています。トルコ鞍は脳下垂体を保護していますが、拡大していくためのゆとりがありません。

脳下垂体は他の内分泌腺のほとんどの機能を^{コントロール}制御しています。したがって、時には「マスター^{グランド}分泌腺」と呼ばれることがあります。脳下垂体自身は、その大部分を脳下垂体のすぐ上部にある視床下部に制御されています。脳下垂体がコントロールする分泌腺から出るホルモンの量をチェックすることで、視床下部や脳下垂体は、その分泌腺をどの程度昂進すればよいのかを決定します。

第六チャクラまたは第三の目（アジナ・チャクラ） The Sixth Chakra, Third Eye (Ajna)

直観力が高まり、テレパシー、透視能力に関係する

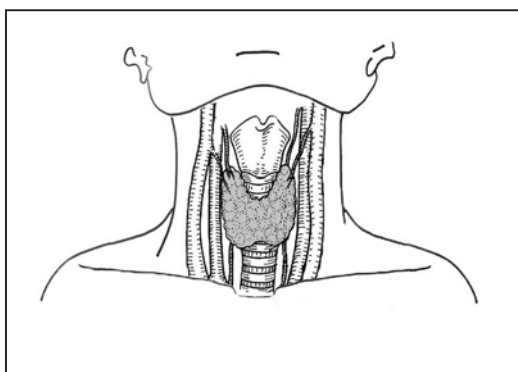
第六チャクラの色はロイヤルパープルからインディゴブルーまでです。色は自己覚知や覚醒をしているか否かによって変わりませんが、個人の信念が、より色に変化を与えます。チャクラの場所は、眉毛の間から少し上になります。このチャクラは松果体、小脳、視床下部、自律神経系、目と耳に影響します。

クラウンチャクラと整合し、バランスがとれていると、直観力が高まり、テレパシー、透視能力が身につくとともに、幻想と真理を見分けることができるようになります。このエネルギーセンターが滞ると、脳や神経系統の不調、パーキンソン病やアルツハイマー病、副鼻腔に問題を生じます。また、目や視力、耳に問題が起きます。

甲状腺—のどのチャクラ The Thyroid Gland - The Throat

肉体のエネルギーの燃焼を制御する

甲状腺は最も大きな分泌腺のひとつで、首の下の甲状軟骨（のどぼとけ）にあります。甲状腺は肉体のエネルギーの燃焼を制御し、たんぱく質をつくります。また他のホルモンに対する微細な身体反応を司っています。このプロセスは、生成した甲状腺ホルモン 主にサイ



ロキシン (T₄) と、トリヨードサイロニン (T₃) を使って行われます。これらのホルモンは代謝率を調節し、成長に影響を与えます。他の数多くの系^{システム}においても、機能の活動率を調節しています。T₃ と T₄ 双方の主要な構成物質はヨウ素です。甲状腺はまたカルシトニンも生成します。カルシトニンの役割はカルシウムの恒常性を司ることで

甲状腺は視床下部と脳下垂体によりコントロールされます。甲状腺機能亢進症と甲状腺機能低下症はこの分泌腺に関する最もよく見られる障害です。

第五チャクラまたはのどのチャクラ (ヴィシュダ・チャクラ) The Fifth Chakra, Throat (Vishuddha) 透視能力の拡大とコミュニケーション、芸術的な力に影響する

第五チャクラの色の幅は非常に狭く、明るいきろびろです。第五チャクラは直接、のど、甲状腺、副甲状腺、首、声帯、口、顎、歯、歯茎、耳、鼻、気管と扁桃腺に影響します。

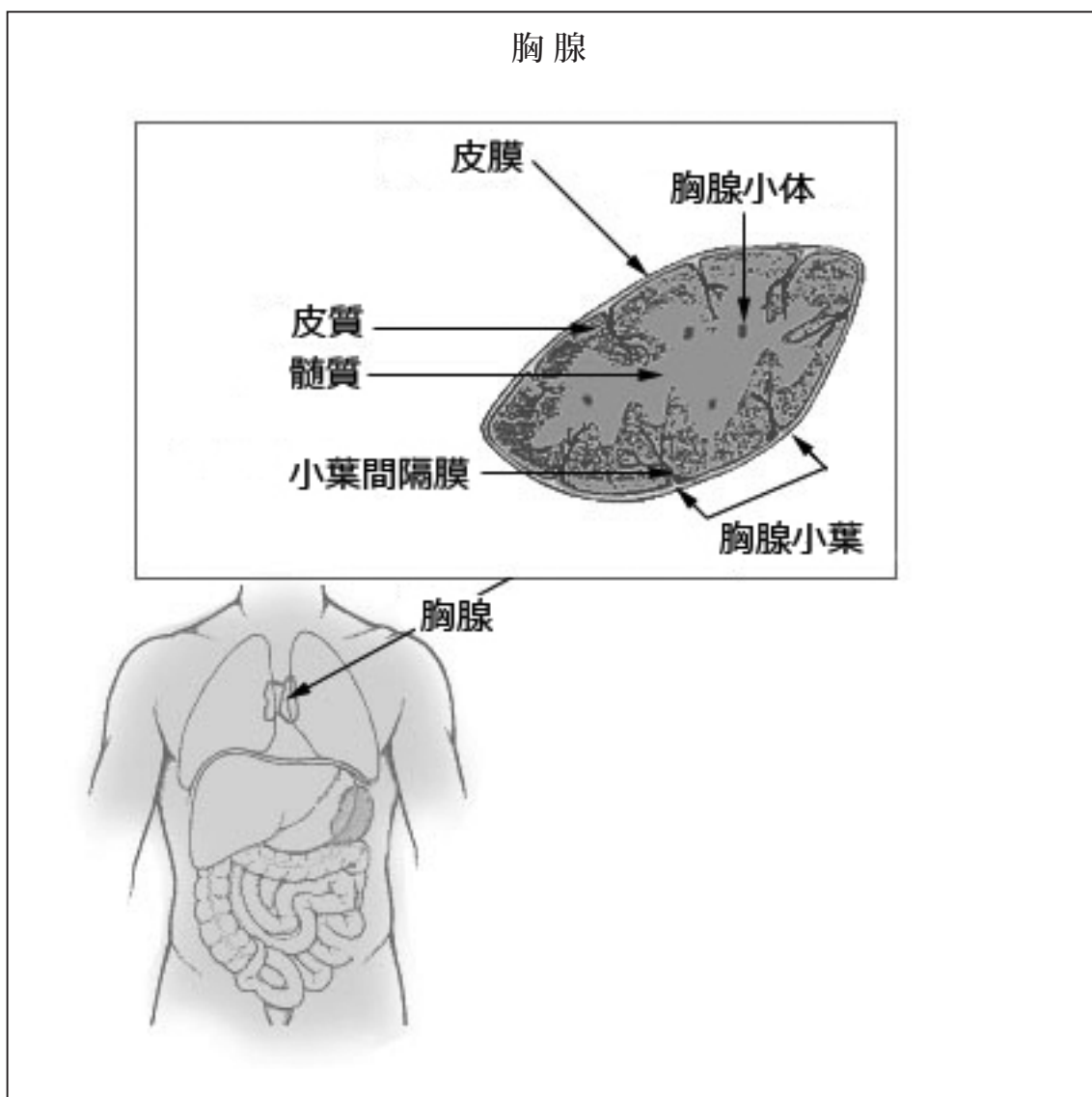
このエネルギーセンターのバランスがとれ、第三の目とクラウンチャクラに整合すると、意志の力に満たされ、神聖なる真理に自身をゆだねることができます。透視能力の拡大とコミュニケーションが明確になり、芸術的な表現力が強化されます。

このセンターに滞りが生じた場合には、顎関節や甲状腺の問題、難聴や副鼻腔の問題などが生じます。また、のどや首の痛み、扁桃腺炎や口腔や歯、歯茎の病気が起こります。

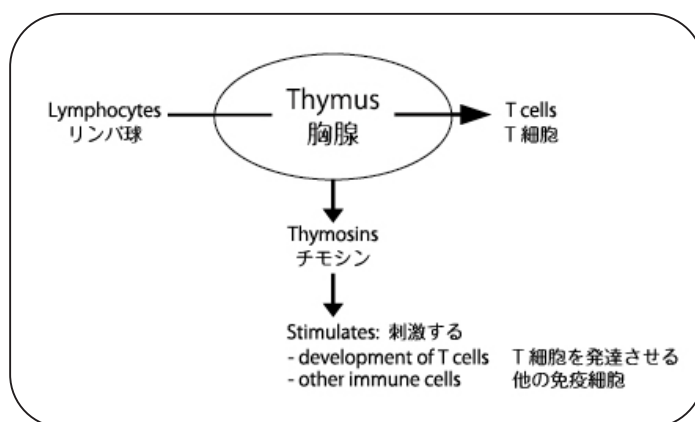
胸腺—ハートチャクラ The Thymus Gland - The Heart Chakra 病気や炎症との闘いで重要な役割を果たす

胸腺は免疫系を構成する分泌腺です。胸部上方、胸骨の後ろにあります。左右の葉部が気管の前で結合しています。それぞれの葉部はリンパ組織でできており、白血球と脂肪がぎゅつと詰まっています。

胸腺は妊娠 12 週目ぐらいから思春期まで拡大成長しますが、思春期になると収縮を始めます。その生理的な機能は、リンパ球（骨髄内で発達した白血球）を T 細胞に変化させることです。T 細胞はその後さまざまなリンパ腺へと運ばれ、病気や炎症との闘いにおいて重要な役割を果たします。感染した細胞を見分け、破壊するのです。



胸腺ホルモンはチモシンと呼ばれ、Tリンパ球の発達と分化を促します。また、他の免疫細胞を活性化して、免疫システムを調節する役割を担っています。



第四チャクラ ハートチャクラ (アナハタ・チャクラ) The Fourth Chakra, Heart (Anahata)

「義務感からの愛情」か「本物の愛」かでチャクラの色が大きく違う

このエネルギーセンターは上部と下部に分かれています。個人のハートがどれだけ開いているのか、その程度によって、色ははっきりと大きく異なります。ほとんどの人のハートチャクラの色は、^{タンカラー}黄褐色（日焼けの色）一色で、結婚や子供たち、共同体等に対する愛に関連した非常に「社会化された態度」を示します。これはどちらかといえば「義務感からの愛情」です。

愛のあらゆる可能性に対してオープンな人のハートチャクラの色は、とても鮮やかなピンクです。この色は若い人たちが恋をしているか、愛とともにいるときによく見られます。人が成熟し、無条件の愛の大切さを理解しはじめると、センターは豊かな緑に輝きはじめます。

チャクラの場所は胸部の中央で、その影響は心臓、循環器系、肺、胸腺、横隔膜、肩、腕、手、免疫系、乳房、肋骨、そして背中上部に及びます。

チャクラが上部のチャクラと整合すると、すべての存在に対する無限の愛を体験します。このセンターに滞りが生じたときには、心臓や循環器系の問題、胸腺の問題や肺の病気、ぜんそく、気管支炎、腕や肩の問題、背中上部の痛みを引き起こします。また、免疫不全や高血圧などの不調を起こします。

副腎と膵臓—太陽神経叢チャクラ The Adrenal Glands and Pancreas - The Solar Plexus Chakra

副腎は男性性エネルギー、膵臓は女性性エネルギーに関連している

太陽神経叢のエネルギーセンターは、副腎と膵臓の両方に関連しています。副腎は通常、男性性のエネルギーと関連し、膵臓は女性性のエネルギーと関連しています。

解剖学的には、副腎は胸腹部、腎臓の上端部に接して位置し、脂肪被膜と腎筋膜に覆われています。副腎は第12胸椎の高さにあって、副腎動脈から血液の供給を受けています。構造的にははっきりとふたつに分かれ、双方とも神経系から調節信号を受け取っています。

- 副腎髄質 名前からもわかるように、副腎髄質は副腎の核にあたり、副腎皮質に囲まれています。髄質のクロム親和性細胞は、カテコールアミンホルモンのアドレナリン（エピネフリン）とノルアドレナリン（ノルエピネフリン）を主に生成しています。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

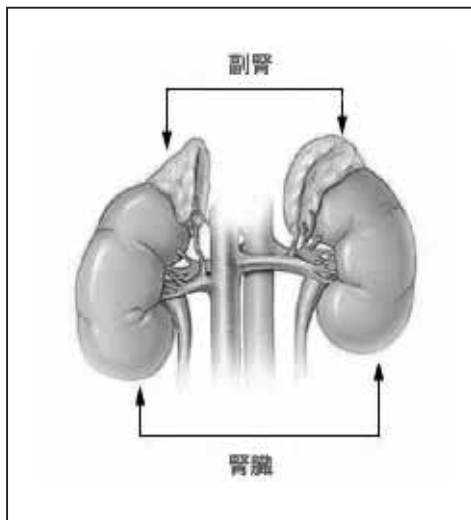
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。



これらの水溶性ホルモンはアミノ酸であるチロシンから合成されますが、交感神経が司っている「闘争／逃避反応—the fight-or-flight response」の過程を担っています。副腎髄質は交感神経システムにおける特化した神経節のひとつと考えることもできます。明確なシナプスが欠如している代わりに、直接血液中に分泌液を排出するのです。また髄質はドーパミンも主に生成します。ドーパミンはアドレナリンやノルアドレナリンに強く関係しているカテコールアミンの一種です。

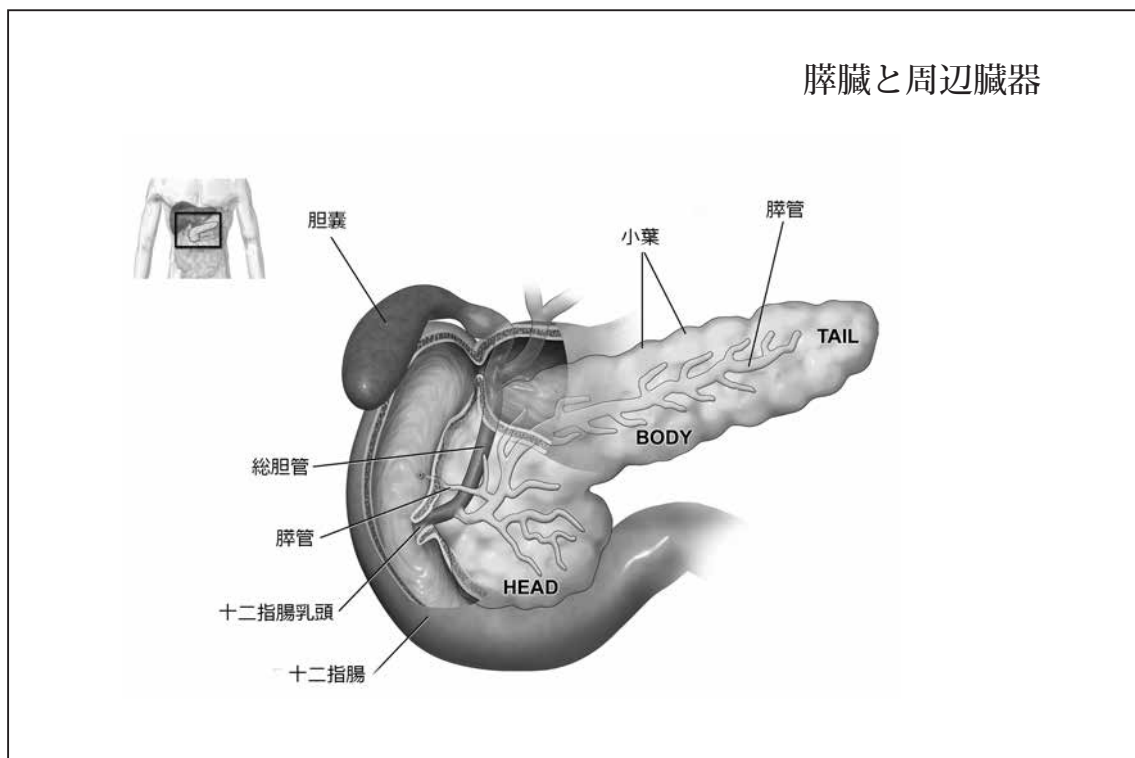
●**副腎皮質** 髄質とは対照的に副腎皮質は、コレステロールからコルチコステロイドホルモンを生成することを専門に行っています。一部の細胞は視床下部——脳下垂体——副腎の軸に属し、コルチゾールを生成します。他の皮質細胞はテストステロンといった性ホルモンであるアンドロゲンを造ったり、アルドステロンを分泌して、水分と電解質の濃度を調節したりします。髄質の直接的な神経支配と対照的に、副腎皮質は脳下垂体と視床下部から分泌される神経内分泌ホルモン、そしてレニン・アンジオテンシン系によって調節されます。

膵臓 The Pancreas

インシュリンをはじめ重要なホルモンを生成する

膵臓は、消化器系と内分泌系器官で、外分泌（消化酵素を含んだ膵液を分泌する）と内分泌（インシュリン、グルカゴン、ソマトスタチンを含む数種の重要なホルモンを生成する）の両方があります。また、小腸に送られる消化酵素も生成します。これらの酵素は、糜粥（食物と唾液などの分泌物の混合物）中の炭水化物、タンパク質、脂質をさらに分解します。

顕微鏡下では、膵臓の染色液の染まり具合の違いから、ふたつの異なったタイプの実質細胞を見ることができます。そこに見られる、うっすらと染まった細胞群は、ランゲルハンス島と呼ばれ、膵臓の内分泌機能の基本となるホルモンを生成します。より濃く染まった細胞



群は、膵管につながる膵腺房細胞です。腺房細胞は、膵臓の外分泌の働きを担っていて、膵管のシステムを経由して消化器官にはいり、消化酵素を分泌します。

第三チャクラまたは太陽神経叢チャクラ (マニプラ・チャクラ)

The Third Chakra, Solar Plexus (Manipura)

ハート・チャクラと整合すると、スピリチュアルなパワーを発するようになる

のどのチャクラと同様に、太陽神経叢のチャクラの色合いはすべての人において常に一定であり、光り輝く黄色のエネルギーを放射しています。このチャクラに滞りが生じると、この黄色の色の強さは弱まりますが、色自体は変化しません。

太陽神経叢のチャクラは、胸骨の基底部、左右の肋骨が接合している場所に位置しています。このチャクラは、呼吸器系、横隔膜、胃、消化器系、小腸、肝臓、胆嚢、腎臓、脾臓、^{たんのう} 脊柱中央部、そして副腎に影響を与えています。

太陽神経叢がハートチャクラと整合すると、個人の意志とユニバーサルマインドの意志を

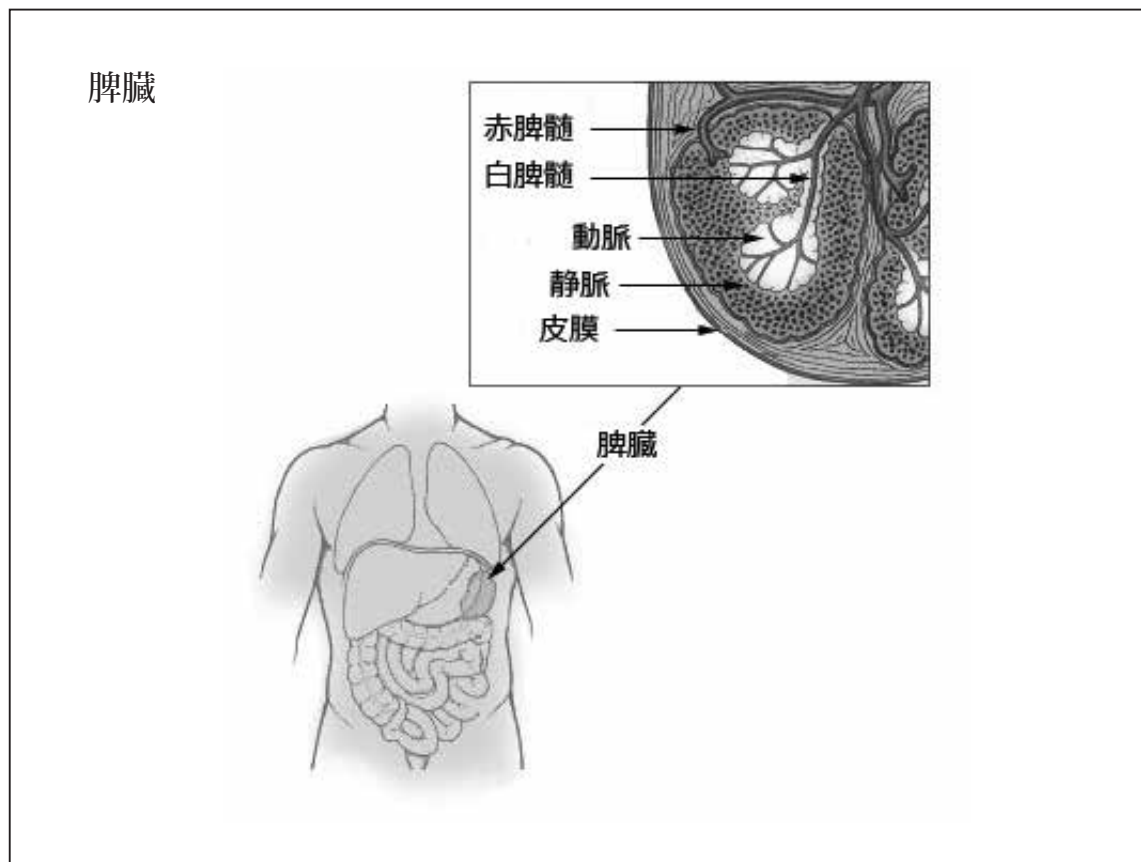
整合した表現ができるようになります。彼らの知性は、鋭く明敏になり、スピリチュアルなパワーを発します。

このエネルギーセンターが整合性を失うと、消化器系の問題、胃あるいは十二指腸潰瘍、体重の問題、肝炎、糖尿病、膵炎、副腎の機能不全、胆石、腎臓の疾患、脊椎中央部の痛み（太陽神経叢の後ろから腰上部の間）を体験します。

脾臓—第二チャクラ The Spleen - The Second Chakra

血液をきれいに保ち、感染から身体を守る

脾臓は、上腹部左側、胃の後ろ横隔膜のすぐ下に位置しています。古くなった赤血球を破壊し、血液を貯蔵する機能を持っています。脾臓は、^{ウイルス}細菌や菌、その他の血液中の老廃物を駆除する血液のフィルター役割を果たします。血液が脾臓を通して送り出されるとき、白血球が外から侵入したあらゆる異物を攻撃し、取り除きます。そして、血液をきれい



に保ち、感染から身体を守るのを助けます。

脾臓によって破壊されるまでの赤血球の寿命は、およそ120日です。赤血球の残骸は、一部は体外に排出するために身体の他の場所へ送られ、一部は新しい赤血球を生成するために再生されます。

生まれる前の胎児の脾臓は赤血球と白血球を生成していますが、生まれる直前に赤血球の造血機能を失い、骨髄がその機能を引き継ぎます。

平均的な脾臓の大きさは、120ミリ×75ミリ×50ミリ程度、重さは150グラム程度です。

脾臓には、リンパ系組織が集まっている粒状の組織があり、静脈と動脈の細くなった末端部の周りに豊富に存在します。これらの血管は、脾洞^{ひどう}と呼ばれる変性した毛細血管とつながっています。これは、網目状組織（免疫系の一部）と呼ばれ、脾臓の中心機能を司っています。ここが機能しないと、特定の感染症にかかりやすくなることとなります。

約10%の人には、ひとつあるいはそれ以上の副脾があります。それは脾臓の血管が、臓器に流れ込む連結部分である脾門^{ひもん}の近くについている状態を指します。

脾臓のチャクラ、へそのチャクラ（スヴァディスターナ・チャクラ）

The Spleen Chakra, Naval (Svadhithana)

性的なエネルギー表現によりオレンジの色が異なる

第二チャクラはおへその下、少し左側に位置しています。主に脾臓の機能に影響を及ぼしています。

第二チャクラの色は明るく輝いて生き活きとしたオレンジで、赤味がかったオレンジから黄色がかったオレンジまで、個人が自分の性的なエネルギーをどのように表現しているかによって、その色合いは異なります。脾臓への主要な影響は別として、大腸、結腸、生殖器、下部脊椎骨^{せきついこう}、膀胱^{ぼうこう}、盲腸、リンパ系^{でんぶ}、腎部、前立腺と身体の体液すべてを制御します。

バランスがとれているとき、私たちは自分自身と他者に対して深い敬意を感じます。そしてパーソナルパワー、密教的な性的結合、肉体的な強さを理解します。

このセンターがブロックされると、慢性の腰痛、臀部の痛み、性的機能障害、婦人科系の問題、関節炎、大腸炎、泌尿器系の問題、盲腸炎と坐骨神経痛などの不調が生じやすく

なります。

睾丸と卵巣—ベースチャクラ The Testes and Ovaries - The Base Chakra

人間の生殖システムの主要な器官

生殖システムは特別に子供を産むために存在しています。

体液、ホルモン、そしてフェロモンのような多くの非生物物質もまた、生殖系に重要な付属物質です。

他のほとんどの臓器系と異なり、分化した種の生殖器系には、性別によりしばしば明確な違いがあります。これらの違いは、ふたりの人間による遺伝的な資質の組み合わせをもたらすし、さらに子孫により大きな遺伝的な適合性をもたらすこととなります。

性腺ホルモンを作り出しているいくつかの体内生殖器（睾丸と卵巣）のみならず、人間の生殖システムの主要な器官には、外性器（ペニスと外陰）も含まれています。

第一チャクラまたはルートチャクラ（ムーラダーラ・チャクラ） The First Chakra, Root (Muladhara)

源と深くつながっている感覚を経験できるチャクラ

色合いの程度は、個人によって変化しますが、暖かい赤から血の赤というように狭い範囲に限られます。色合いの違いは、個人がどのように性的な情報を処理するかによります。

背骨の基底部（会陰）に位置し、このチャクラのエネルギーは、骨と骨髄、免疫系全体、直腸、脚と足に影響しています。完全にバランスがとれているとき、個人は源と深くつながっている感覚を経験し、全体的に健康で安定していると感じます。

このセンターがブロックされると、慢性的な腰痛、坐骨神経痛、静脈瘤、免疫システムに関連した疾患、鬱、腸の問題と慢性の疲労が生じます。

チャクラシステムが健康に及ぼす影響 How the Chakra System Affects Your Health

ホリスティックな観点から見ると、チャクラのエネルギーセンターは生命エネルギーを受け取り、それを処理して、^{メンタル}精神体、^{スピリチュアル}肉体、^霊体にエネルギーを供給する役割を担っています。

チャクラヒーリングは、チャクラが停滞し、動きが妨げられているときに必要です。チャクラがブロックされた状態、つまりチャクラの機能不全が起きると、身体の部分に十分なエネルギーが流れなくなると同時に、身体全体のエネルギーフィールドの状態も悪くなります。そうなるエネルギーフィールド自体のエネルギーをプロセスする能力が妨げられます。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

チャクラが効率的に機能するためには、エネルギー面での健康管理を適切に行うと同時に、適切な食事、思考、肉体の休息が必要不可欠です。

《推奨される手順／7つのチャクラとヒーリング》

チャクラを浄化し、バランスを取り戻す、チャクラヒーリングテクニック

Chakra Healing Technique for clearing and balancing

7つのコアチャクラを浄化してバランスをとるのは比較的簡単です。チャクラヒーリングを起こすには、エネルギーのナディ（気のエネルギーの通り道）が効率良く働かなくてはなりません。つまり、適切なエネルギーの流れを確立するために、ナディが浄化されバランスを取り戻している必要があるのです。次に挙げたチャクラの浄化方法は、あなたとクライアントの両方に使うことができます。

1. ルートチャクラから始めて、順番に上がっていきます。ルートチャクラの上、表面からおおよそ2インチ（約5センチ）のところの手をかざし、反時計回りに10周するまで手を動かします（あなたの頭側が時計の12時のところにあたり、左側が15時、足が18時、右側が21時にあたります）。あなたの手が特大のスプーン、あるいは大きなひしゃくだとイメージします。反時計回りに動かし続け、チャクラが完全にクリアになるまで、停滞しているプラナをスプーンですくいだすのを視覚化しましょう。身体その場所に軽さや喜びのような感覚を感じたとき、そのチャクラの浄化が完了したことに気づくでしょう。すでに神秘の視力が開発されているなら、チャクラが純粋な色を放射しているのが見えます。一般的には、10周を2セットあるいは3セット行います。1セット行うごとに、手を振りはらいます。
2. すべての主要なチャクラに、1を繰り返し行います。
3. すべてのチャクラの浄化が終わったら、次はバランスを取り戻すためのエクササイズです。ルートチャクラから始めて、手を時計回りに回転させます。目もくらむような白い光があなたの手からチャクラに向かって放射されるのを視覚化します。（1と同じように）1セット行うごとに手を振りはらうために中断しながら、10周を2セットあるいは3セット行ってください。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

4. 3の方法を、すべてのチャクラに行います。
5. 冷たい水であなたの手を洗い、ヨガのコンプリートブレスを10回行います。

チャクラシステムを活性化させ整える、チャクラヒーリングテクニック
Chakra Healing Technique for Energizing and Aligning Chakra System

1. 椅子に浅く腰かけるか、または床に座るかどちらでもかまいませんが、できるだけ背骨をまっすぐになるように上に引き上げた状態で座ります。
2. 目を閉じて、深くゆっくりとした呼吸を7回行います。息を吸うときには鼻から吸い、吐くときには口から吐きます。背骨がずっと上に引き上げられた状態を保ったまま、身体の筋肉が緩んでいきます。
3. 背骨の基底部のところで、鮮やかな赤い光の円が時計回りに回転しているのを視覚化します。同じように、ひとつひとつのチャクラのところで、各チャクラに対応した色のエネルギーが時計回りに円を描く様子を視覚化しながら下から上へと移動していきます。

| | | | | |
|--------|---|------------|-------------|---------------------|
| 第二チャクラ | — | 2nd Chakra | 活き活きとしたオレンジ | effervescent orange |
| 第三チャクラ | — | 3rd Chakra | 光り輝く鮮やかな黄色 | brilliant yellow |
| 第四チャクラ | — | 4th Chakra | 輝く明るい緑 | bright green |
| 第五チャクラ | — | 5th Chakra | スカイブルー | sky blue |
| 第六チャクラ | — | 6th Chakra | インディゴブルー | indigo blue |
| 第七チャクラ | — | 7th Chakra | 紫 | purple |

4. クラウンチャクラまで到達したときには、すべてのチャクラがそれぞれの色で時計回りに回転しているように見えているはずです。すべてのチャクラが回転しているのを心の目で見ながら、10回ヨガのコンプリートブレスを行います。
5. すべてのチャクラを回転させたまま、次に目もくらむような白い光のビームが天から降りてきて、あなたのクラウンチャクラ、第三の目のチャクラ、のどのチャクラ、ハート

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

チャクラ、太陽神経叢チャクラ、脾臓のチャクラ、そしてベースチャクラを貫くのを視覚化します。その光の線はまっすぐに、あなたのルートチャクラから出て、大地を深く貫きます。この全体の手順を行う間、背骨をまっすぐに伸ばした状態を保ってください。

6. ゆっくりとした深い呼吸をつづけながら、視覚化した静かな場所にとどまりましょう。白い光があなたをエネルギーで満たし元気になっていくのを感じてください。これを好きだけ続けてください。
7. 瞑想を終わらせるときには、白い光が消えていくのを想像しましょう。それから、チャクラの色がひとつずつ消えていくのを想像します。

テクニックの効果をさらに高めるために、チャクラそれぞれの音を使うことができます。音列は右頁の通りです。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

| Chakra チャクラ | Key 音程 (ハ長調) | Hertz 振動数 | Color 色 | Syllables 音節 | |
|----------------------------------|-----------------|--------------|-----------------|-----------------|--------------------------|
| Base Chakra ベースチャクラ | C (ド) | 2 6 1 ・ 63 | RED 赤 | LAH | Regenerative 再生 |
| Spleen Chakra 脾臓のチャクラ | D (レ) | 2 9 3 ・ 66 | ORANGE オレンジ | BAH | super generative 超生成 |
| Solar Plexus Chakra 太陽神経叢チャクラ | E (ミ) | 3 2 9 ・ 63 | YELLOW 黄 | RAH | Energy エネルギー |
| Heart Chakra ハートチャクラ | F (ファ) | 3 4 9 ・ 23 | GREEN 緑 | YAM | Manifestation 具現化・現実化 |
| Throat Chakra のどのチャクラ | G (ソ) | 3 9 2 ・ 00 | BLUE 青 | HAH | Command 指令 |
| Brow Chakra 第三の目のチャクラ | A (ラ) | 4 4 0 ・ 00 | LAPIS ラピスブルー | AHH | Vision ヴィジョン |
| Crown Chakra クラウンチャクラ | B (シ) | 4 9 3 ・ 88 | VIOLET スミレ色 | AUM | Liberation 解放 |

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

レッスン 47

第 47 週—身体的、精神的なウェルネスへの方法

Physical and Mental Wellness Strategies

このレッスンのテーマ Theme

ホリスティックな健やかさを構築する方法についての基本的な理解を得る。

肉体、精神、社会環境の統合が与えるポジティブな影響とは

ユニティの視点からのウェルネス—健やかさとは、個人、家族、コミュニティと国のための最高の健康を追求するホリスティックなものです。このタイプのすべてを包含する健やかさは、最高レベルの人生を積極的に生きる方法です。一貫したそのホリスティックな姿勢により、ユニティの^{ウェルネス}健やかさは、社会的、知的、霊的、身体的、感情的、そして職業的側面を包括します。ユニティの健やかさは、健康を増進し、病気の発症を予防する一連の人生のスキルを含んでいます。すでに健康を損なってしまった人には、ユニティの健やかさは病気とその結果、生じるかもしれない障害の持続時間を短縮します。

ユニティヒーリングでは、自分の病気がどのように形成されたのかへの理解と、病気を作り出しているパターンを手放すのに必要なスキルを提供して、健康の回復を促します。これは、人生の目的のすべてにつながるその人独自のゴールを達成することを可能にします。最高の人生を送る方法についてバランスのとれた理解を得るにつれ、人は新しいウェルネスの概念を自身が体現しながら、所属するコミュニティへとその叡智を自然に還元するようになります。

ユニティの健やかさへの第一歩は、ほとんどの精神的、感情的疾患の土台となる核となる内的葛藤を省察することです。思考は、神経系を通して、態度と感情を引き起こしながら身体へと広がります。この意味において、思考が健康状態を決定すると言えます——満たされていれば、自然治癒力が働き、肉体は自らをととも自然に修復します。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

精神の健康は、核となる内的葛藤を解放したときに達成されます。そして、自分が気づいていない内的葛藤に振り回されたまましていると、精神は不安定になります。世界保健機関（WHO）によれば、能力障害の10の主な原因のうち、精神疾患が5つを占めています。意義深いことに、WHOが、精神の健康を広く定義した中に、「精神の健やかさ—Mental Well-being」が含まれているのです。

「自らの能力を実現できる健康な状態^{ウェルネス}においては、個人は生活上の通常のストレスに適切に対処し、効率的かつ生産的に働くことができる。また、自らが住む共同体に貢献することができる」

この定義にもまた、健康を構成するすべての間に存在する「本来のつながり」が強調されています。健康を獲得するには、治療よりも、より統合された働きかけが必要であることが暗に示されているのです。

重要なポイント／病気から自由でいるためにできること

肉体は、優先順位に従って自らを癒します。**私たちが病気になるのは、葛藤があるからです。**——「ありのままの自分」と「こうありたい自分」（価値）、「すでに持っているもの」と「欲しいもの」（信念）というように、相反するもの同士の潜在意識における戦いです。主に潜在意識下にあるこのような葛藤は、自然なもので、自分が決定した人生の目的の背後^{バックストーリー}にある物語に存在し、状況や結果に直接表れます。葛藤を抱えたまましていると、身体が癒しの優先順位に従おうとするのを不可能にしてしまい、ヒーリングの自然な過程を妨げることになります。

ユニティヒーリングの方法は、第一に内的葛藤を解放すること、そして個人の自己認識の欠如の結果として生じる、精神が何度も繰り返す堂々巡りのパターンを見ることから始めます。

ユニティの健やかさの第二のステップは、身体最大の健康をサポートする栄養パターンを開発することです。私たちの肉体は、自然に自らを癒します。指を切っても、傷は治るのです。ただ知られていないことは、私たちの肉体には、無意識下にある一連の優先順位に従って癒しが起きるということです。まずは生き残ることが第一位です。それが現在表れている症状とまったく関係がなくても、です。

第三のステップは意識的に休養することです。先ほどの自然の癒しの優先順位は、症状がなくなるまでゆっくりと完全に療養しているとき、最も効果を発揮します。ただ、めまぐるしい現代社会では、このような休養を取ることがいつでも可能なわけではありません。

ストレスレベルを管理する方法を学ぶと、忙しいスケジュールをこなしている最中でも、私たちの肉体は休めます。通常のストレスに最も効果を発揮する方法は、日常生活に時間管理と仕事の優先順位を組み

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

込むことです。

私たちの哺乳類の肉体は、時間と課題を志向します。そして課題を達成したとき、それを自己の存在の確証として繁栄するのです。

休息に瞑想とプラーナヤマを取り入れると、顕在意識と無意識の双方のストレスに非常に効果的です。瞑想、または集中した呼吸法の中級の段階では、私たちのマインドは急速に病を治癒していきます。私たちの肉体が受胎したとき形成された、有機体の自然な優先順位に従うことで、癒されていくのです。

ユニティの健やかさの第四のステップは、最高の健康状態をサポートする活動を行うことです。肉体の免疫系にとっては、すべての運動が有益とは限りません。自然な許容範囲を超えてストレスを与えるような運動は、リンパ系が制限されるために、免疫機能を弱めます。たとえば身体の一部を強調するような運動——極端なボディビルディングなどがこれにあたります。結果は肥満の状態と同じです。自然な指標にしたがって、肉体を作ることは役に立ちます。特に身体のリハビリは有益です。

自然と呼べる範囲で運動しながら生活することが大切で、たとえば歩くこと、登山、水泳などはすべて私たちの健やかさをサポートします。運動不足の不活性な生活スタイルは肉体にとって非常に危険であり、東洋や西洋のいかなるヒーリングも、ほとんど役に立たないでしょう。

健やかさへの第五のステップ、つまり最後の手順は「人に奉仕すること」です。

健康で病気から自由であるためには、私たちは家族や、拡大した家族、共同体の中でも、活発である必要があります。他の人の健やかさに貢献することこそ、長寿と活力の基盤です。活動は個人に限らず、生命に貢献するグループの活動も含まれます。

結論 Conclusion

試練に負けないしなやかな精神を手に入れる

科学者は、精神の、そして健康全体への危険を軽減するための予防因子を認めるようになりました。近年になって健康を増進するための要因の重要性について研究がなされたてきたのです。その要因とは、運動、良好な栄養、適切な休養、健全な人間同士の相互交流と仲間からの支援といったとても簡単なものです。

最近の調査ではアメリカ人の被雇用者の3人のうちひとりが慢性的に働きすぎだという結果がでてい

The School for Knowing

Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

ます。他の多くの近代国家のように、アメリカでも仕事と家庭生活の境目はかなり曖昧です。ゆえに、家庭はもはや休養の場ではなくなってしまったのかもしれませんが。睡眠と運動がぜいたくに思え、家族や隣人、共同体とのつながりや信頼が失われていくにつれて、人々はますますメンタルヘルスの重要性を理解するようになりました。慢性的な無気力、タバコやアルコールのような中毒性の行動や、健康を損なう質の悪い食生活……現代生活のストレスは知らぬまに増大しています。私たちのほとんどが、最終的に精神の健康とサポートシステムが危険にさらされるような、特別な試練^{チャレンジ}に遭遇することになるでしょう。試練は家族の介護だったり、一家離散、あるいは愛する人の死であったりします。

また人によっては、慢性の病気——糖尿病、癌、中毒、鬱や統合失調症のような主要な精神疾患を患うことかもしれません。そして、家庭内暴力、路上犯罪、自然災害、戦争やテロのようなより強烈なストレスは継続する脅威です。精神の健やかさは立ち直りの早さ（しなやかな精神）を育て、このような試練に対処するすべを身につけることにあります。

健やかさは、現代の生活における偉大な通貨です。それは、5つの知的、社会的な動きと結びついています。その5つとは、統合医療（holistic medicine）、積極的健康増進（positive health）、自立生活運動（independent living movement）、公衆衛生／健康づくり（public health/health promotion）、そして自助／相互扶助運動（self help/mutual support movement）です。

この5つのそれぞれが最高の健康を追求し、本質的に肉体、精神、社会環境の統合を尊重しています。健やかさを増進し、精神的、肉体的な問題を予防することは、生活のすべてにおいてすばらしい効果をもたらすでしょう。健やかさは個人だけではなく、社会の多くの分野において、ポジティブな影響を与えます。たとえば、教育の分野では、健康な人はより多くの学習の機会を得られますし、経済面では、より一層効率的に仕事をこなし、家族と雇用者に利益をもたらすことができます。さらに、家庭では、家族の結びつきを強めてともに暮らすことができるでしょう。

私たちは、家族、学校、職場、共同体において、健やかさを体現しながら、自然にユニティを拡大していくのです。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

The School for Knowing

Final Section

[Lesson 48 ~ 49]



叡智と日常の統合

**霊的な叡智と日常を統合し、
未来における明晰なヴィジョンを見出す。**

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

自己覚知において、制限からの真の解放が始まる。

無私という「中道」こそが、
自己覚知から覚醒へいたる道である。

自己重要性は、自己覚知を殺す。
自己覚知を維持する人は、すべてにおいて、
自分より他者のことを先に考えなければならない。

これを行動に移すために、
私たちは皆、魂という永遠の存在であり、
今は人間という形態に宿っている存在である
というヴィジョンを持ち続ける必要があるのだ。

そうすれば、私たちは感謝と慈愛のうちに
生きることができる。

レッスン 48

第 48 週—自己覚知した人として、模範となる人生を生きる

Living an Exemplary Life as a Self-Realized Human

このレッスンのテーマ Theme

人の模範となる存在の基本を理解する。

あなたがあなた自身になることで「努力のいらぬ人生」になる

生命の真の本質は、普通の人間の理解を超えたはるかに広大なものです。これは人間が日常の必要性を超えた生命について理解する能力がないと非難したり、批判したりしているわけではありません。単に人間存在の現状を観察しているだけです。自分の価値の妥当性を確認したいがために、「包含されること—inclusion」を求め続ける限り、人は肉体的、精神的、感情的な満足を求めて、集合意識の最新の流行を追いかけようとしています。

人としての自分の価値の証拠をもう必要としなくなったとき、私たちは「模範となる存在」になります。このように生きはじめると、私たちは何も所有せず、また何も私たちを所有しません。そして、私たちは大いなる富の守り手になったり、人類への奉仕の純粋な喜びの中で、豊かさあふれる地位を手に入れたりできるようになるのです。

この状態では、私たちは無私の私として、^{リーダーシップ}指導力を示します。特定の興味や、こうあらねばといった方針にコントロールされることなく、一般の法則や規定の事実を超えた叡智を提供することができるのです。

人生は能力の問題ではありません。人生とは心からこうありたいと思う積極的な気持ち—^{ウィリングネス}意欲の問題なのです。私たちが欲しいものを手に入れるために自ら積極的にやってみようと思うことが、モラルの境界線を作っていきます。模範となる人間もまた、どのような環境や状況下においても自分自身としての全体性を持ち、完全にそこに存在したいという絶対的な^{ウィリングネス}意欲が、その人の境界線を形づくりします。

神秘家としての模範的な人生とは、そのときの状況や環境を超えた生命／人生を心から知りたいと思っている人たちに常に奉仕することです。人に奉仕するという決意以外に、神秘家は、模範的な存在であるために5つの基本的なガイドラインに沿って生きていきます。

1. 傷つけない— DO NO HARM

誰かを物理的に傷つけないということに関しては、説明する必要はないでしょう。模範となる人とは、人種、性別、宗教に関わりなく、意識的に、決して他の人を物理的に傷つけることはありません。

このガイドに沿って生きようとする人は、どのような形であれ、決して、自分の意見に従わせようとして他者を感情的、精神的に操作しようとはしません。また、より大なる現実を認識させるために他者を変えようと操作することもしません。

もっと精妙な形においての「傷つけない」という意味は、相手の条件、状況をあるがままに受容することで、あなたの条件を押し付けることではないのです。もし相手の本質的な部分を受容することが不可能な場合は、統合された人は静かにその人のそばから離れるでしょう。

他の人と共にいるとき、あなたがもっと心地よく過ごすためにその人のものの見方を変えようとするなら、それは大いにその人を傷つけていることに他なりません。

2. より良くする— MAKE THINGS BETTER

あなたの身体と心が触れるものすべてが、あなたと出会ったことで良くなるということです。常にどのような環境においても、あなたがそこを後にするとき、残された人が、あなたとの体験の中で経験した状況を通して、前よりも良くなるのです。「恨み」はそれがどのように小さなものであっても、^{ジョイ}喜びへの努力を減らしてしまうということを忘れないでください。

3. 他者を尊重する— RESPECT OTHERS

他者を魂が肉体に宿った存在としてその生来の価値を尊重する——尊敬し大切にすることは大変重要です。これは、相手の努力や、特別な能力を必要としないからです。ただ、相手が人間という形態に入っている永遠なる存在であることを私たちが認めるだけでよいのです。

これこそ唯一最も重要な「尊重」の形です。

社会意識においては、実にたくさんのレベルの尊重があります。「尊重すること」それ自体は人と人との間の流通貨幣のようなものです。自分の職務や選択した仕事に関しては、尊重（尊敬）は金銭よりも価値あるものとされています。

したがって、尊重／尊敬を価値あるものにするためには、それに関する特定の知識を身につけてそれを鍛えていく必要があります。自分自身のヴィジョンを実現していくために、「尊重」そのものの質や、どのような努力をすればよいのかを学ぶのです。

かつて「自分を賞賛してくれる人を尊重するのは簡単だが、自分を中傷する人を尊重するのは難しい」と言われてきました。偉大さは、他者のすばらしさに対する一貫した態度と決意の中に生まれます。それは老若や、友人か敵かを問わず、相手が誰であろうと認識し承認する——尊重することができるものです。

家庭では、私たちは年配者を尊重するように学びます。年配の人は、自分よりも人生の旅路を長く歩んでいるために、より実践的かつ霊的な知識の持ち主であると認めるからです。

また若さという元気にあふれた若者を尊重するようにも教えられます。若者は目の前に開かれていくさまざまな選択肢を探検しようとしているからです。

創造的、あるいは科学的などのような仕事においても、私たちは思考と行動の質を承認し、大切にすることを学びます。

4. 公正であれ— BE FAIR

利他的な公正さから、自分よりまず他者を優先することを真に身につけている人はほとんどいません。公正であることとは、お互いの間でどのように同等に分かち合えばよいのかを知っていることです。

私たちはみな成功と失敗という同じ部分でできています。みな長所もあれば、短所もあり、ある分野や領域には強く、別の分野や領域には弱みを持っています。他者の強み—長所を認めることが非常に大切なのです。もし最初に他者の長所を認めるなら、その人との関係性において、彼らの弱い部分—短所は、ほとんど顔を出さないでしょう。

これが公正であるということです。つまり、瞬間、瞬間を「好意的に解釈する（訳注 the benefit of the doubt —疑わしきは罰せずという用語が転じたもの）」のです。

もし、何かが真に間違っているなら、^{フェア}公正な人たちと協力したほうが、ずっと楽に修正できるでしょう。

5. 慈愛を持つ事— BE COMPASSIONATE

これは5つの神秘的態度の中で最も誤解されがちなものです。共感／慈愛は、よく困窮している人にやさしさを提供することだと定義づけられます。

神秘家にとって、慈愛の定義はシンプルです。

「どの瞬間においても完全にそこに存在し、自己の叡智と能力のすべてを使って今の瞬間を次の瞬間に向かって拡大していくこと」

神秘的マインドは、誰といても平等にまっすぐ、そして無私— Selfless であることです。

模範となる人生が、単に自分自身になろうとする積極的な意欲だけの問題であるなら、つまり、自分自身であることが極端な状況を生み出すことになってもあえて実践するならば、「努力のいらぬ人生」になるのです。あなたがあなた自身になること……それ以外は、大変な努力が必要です。

《推奨される手順／神秘的態度の実践》

5つの神秘的態度を、あなたが行うすべてに応用してください。

レッスン 49

第 49 週—自己覚知から覚醒へ移行する

Moving from Self-Realization into Enlightenment

このレッスンのテーマ Theme

自己覚知から覚醒にいたるまでのプロセスを理解する。

無私という「中道」こそが、自己覚知から覚醒へいたる道

この1年間の課題は、社会意識と自己の日常的な側面から、自己認識、そしてさらに拡大した自己覚知の状態へと意識を動かしていくということでした。自己覚知の甘い罠に落ち込まないように、次は自己覚知から覚醒に向かう^{ダイナミクス}力動について考える必要があります。言い換えれば、自己覚知から、真に光明から解放へと向かうプロセスが始まるのです。

私たちの内なる葛藤が真の自己を知ることから自分自身を遠ざけてしまっています。そこから解放されたあとは、素早く自己覚知に到達します。

自己覚知したからといって、社会意識の影響に対して免疫ができるというわけではありません。自己に覚知した人は、他の人の真の意図がわかりますし、その人の健やかさのレベルもわかるように意識が拡大します。時間も拡大するので、社会意識の出来事との関わりにおいて、予知する能力も得られます。

ただ自己覚知そのものが、自動的に一般の人の意識の重さに対応できるような超常的な能力を与えてくれるわけではありません。新たに自己覚知した人が、自分の意欲と生来与えられている能力をどのように使っていくのか、その境界線を見つけるまでの^{ウィリダネス}適応期間が必要になります。

この適応期間中、覚知した人は、きちんと規律ある生活をしなくてはなりません。そして、どれほど日々のスケジュールに追われていようとも、自分のためだけの時間をしっかりととる必要があります。このひとりだけの時間は、自らが到達し得た内なる^{スピリチュアル}霊的な状態を取り戻し、

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

覚醒した存在としての自分自身のヴィジョンに再び^{コミットできる}全力を傾けられるようにしてくれます。

自己覚知を達成したすべての人を待ち受けている落とし穴があります。突然、内なる葛藤によって作られた狭い制限を超えた叡智が手に入るわけです。外側からも内側からも承認される必要性をもたずに、「知る能力」を一度に得ることは、それはうっとりするほど魅惑的な状態です。極度に力強く感じ、人間としての自分自身がとても大きくなった感覚を感じるのです。

覚知した人は自然に透視能力、透聴能力が手にはいりますし、予知能力は拡大します。そうすると、そこまで到達していない人々に対して、自分のほうが重要な存在であるという感覚が発達してきます。

これは覚知した人にとって最も大きな問題ですし、覚知した人が覚醒に進んでいく^{プロセス}過程を停止させてしまうのです。すべての超常能力が、学ぶ者が落ち込みやすい罠の土台になります。この罠から抜けるのは非常に難しく、偉大な師やグルの手を借りてさえも困難です。

これは非常に重要です。**無私という「中道」こそが、自己覚知から覚醒へいたる道なのです。**自己重要性は、自己覚知を殺してしまいます。自己覚知を維持する人は、すべてにおいて、自分より他者のことを先に考えなければなりません。これを行動に移すためには、私たちは皆、魂という永遠の存在であり、今は人間という形態にやどっている存在なのだというヴィジョンを持ち続ける必要があります。このようにすれば、私たちは感謝と慈愛のうちに生きることができるのです。

自分より他者を優先することに関して、もう少し明確にしましょう。これは、むやみに他者の言うなりになったり、要求を鵜呑みにしたり、操作されることを許すという意味ではありません。自己覚知した人は率直に、慈愛をもって、大切に人生を生きます。もし誰かが、操作しようとしたら、覚知した人は直接そのことを相手に伝えるでしょう。慈愛に満ちた明晰さと率直さとともに。

その人が操作しようとするのをそれでもやめない場合、自己覚知した人は、その環境から出ていくか、相手と関わることになった状況から身を引きます。操作しようとしている人

The School for Knowing Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

が家族の場合、または長い間つきあってきた友人、同僚、仲間だったときには、覚知した人は、間の溝を埋めるための友好的な解決法をさぐります。どのような肯定的な解決策も受け入れられない場合、覚知した人は対峙するその相手から離れ、自分自身の仲間を見つけなければなりません。これは大変厳しい道のように見えるかもしれませんが、これこそたったひとつの慈愛に満ちた答えなのです。覚知した人はあまりにもよくわかっているがゆえに、そのような関係性の中に身をおき続けることが、その人が操作し続けることを助長することになるということを知っています。

もし真に慈愛に満ちた存在なら、私たちは他の人がそのような「気づいていない状態」で居続けることを助けたりはしません。

忘れないでください。覚知した人は、「偉大で高潔な真理」で他の人の考えを変えようとしたりはしません。また自己覚知を達成したからといって、他の人よりも自分がわかっているというふりもしません。逆に、他者の信じている真理を大切にしながら、自己覚知そのものを示す^{デモンストレーション}のです。同時に自身が畏にはまったり、周囲に展開するドラマに巻き込まれたりはしません。

自己覚知の芸術^{アート}とは、相手をまったく損なうことなく、自分自身がパワフルになることです。覚醒へのプロセスは、本当に人それぞれです。あなたが中道—「あれでもなくこれでもない場所」に存在して、道に浅い足跡を残し、あなたのハートを感謝でみたすなら、覚醒まで道のりは短くなるでしょう。

古代エジプトの神アヌビスは、亡くなった人の心臓と、「マートの羽」を秤にかけるのを監督します。そして叡智の神であるトトは、その結果を記録するのです。象徴的に、覚知した人の心臓は羽と同じ重さしかありません。葛藤の重さがなく、ハートが無垢だからです。

あなたが自分の置かれている環境や条件に満足し、「すでに覚醒している存在」としての自分に可能なビジョン^{ノウイング}に向かって叡智に意識をフォーカスするとき、あなたは自己覚知を達成したことを知ります。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

巻末資料－ 1

Week35

肉体と魂のエーテル体 チャクラシステム

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

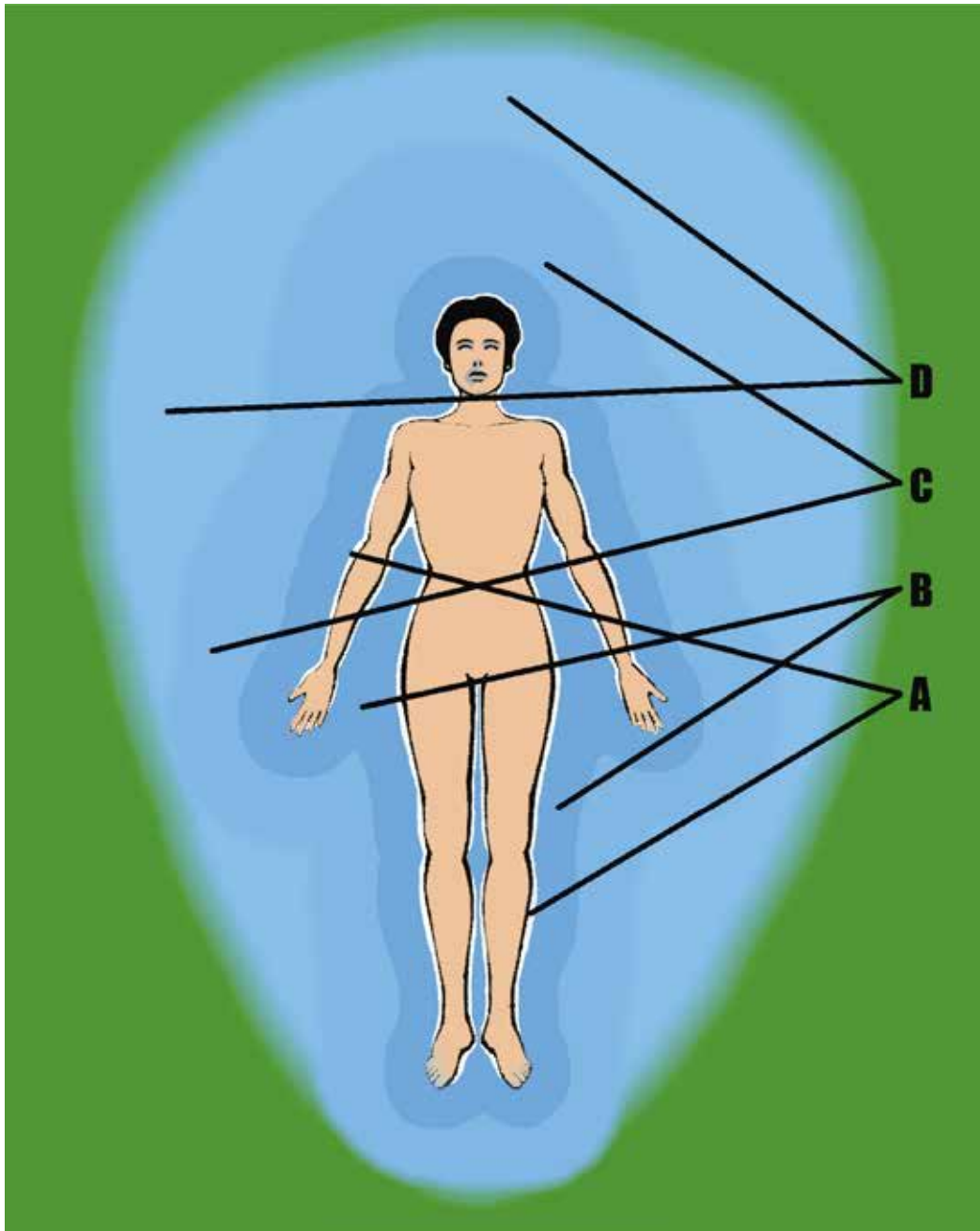
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

図 35-1 / 10p



- (A) オヴァム
- (B) 第一次エーテル物質
- (C) 第二次エーテル物質
- (D) 外側のエーテル物質

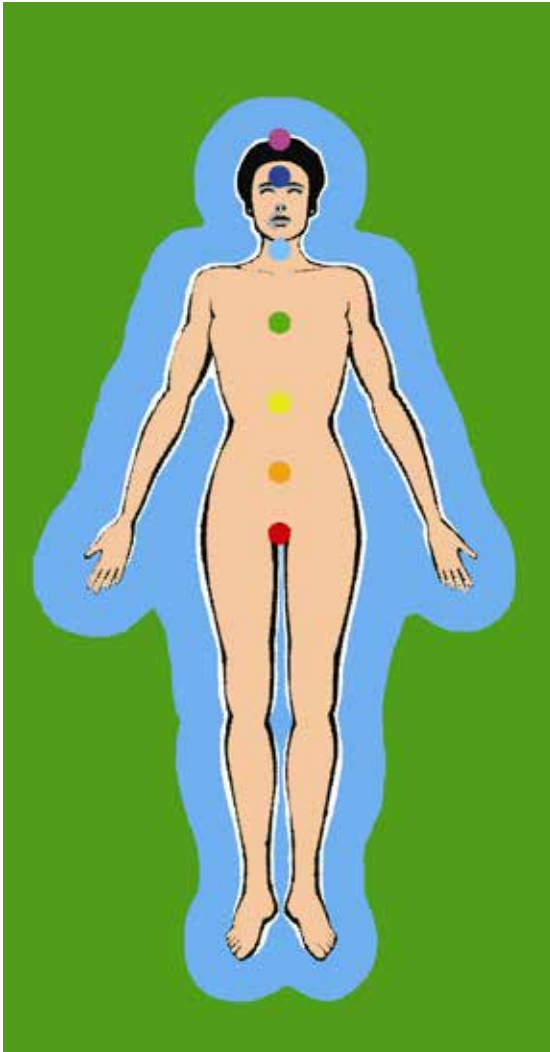
© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.
© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing

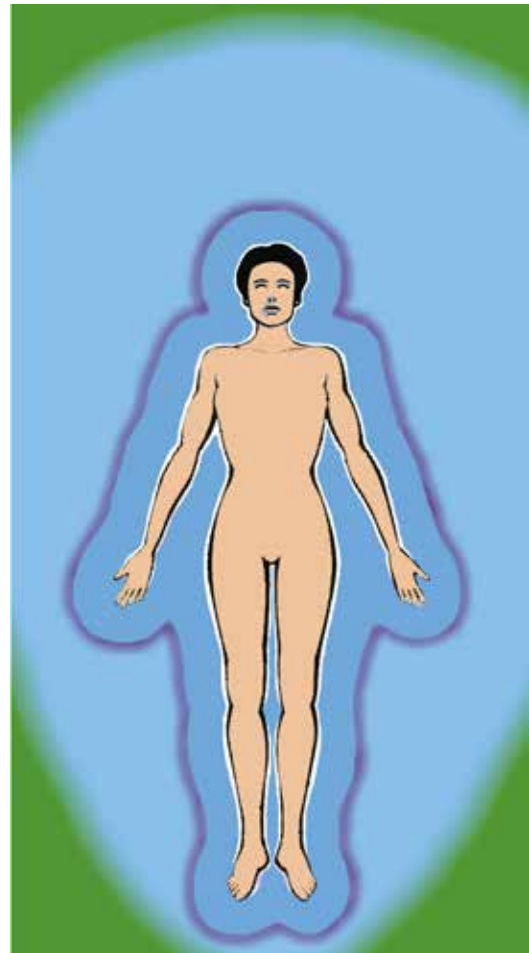
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

図 35-2 / 13p



人間が「認知する」という体験が出来るのは、肉体のエーテル体と魂のエーテル体とが、同じ時空を共有しているからに他なりません。(図 35-3 を参照) この二種類のエーテル体が重なり合っているからこそ、永遠に一定の魂と、進化する物質である人間の肉体との間で、同等に記憶の交換が行われるのです。これは+ (陽) の電荷を帯びた物質と- (陰) の電荷を帯びた物質との完璧な結合 (ユニオン) です。無垢で、内的葛藤から自由である人間のダイアード感覚意識とトライアード魂意識は 図 35-4 のように見えます。

図 35-3 / 13p



トライアードの魂のエーテル体と、ダイアード感覚意識のエーテル体がどのような形で層になっているのかを理解するための図です。ただし、この図は、実際の霊的視覚を通して見る状態を正確に示しているわけではありません。

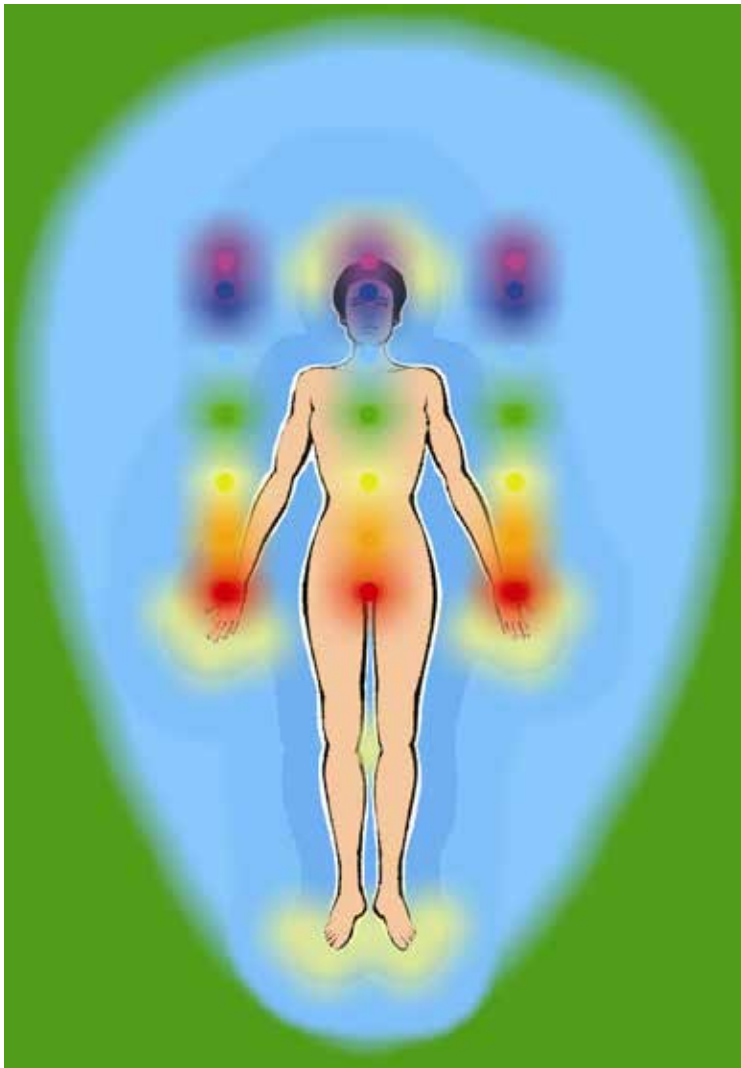
© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

図 35-4 / 14p



7つのチャクラを有した、3本の柱があります。自分から見て左側が女性性、右側の柱が男性性、そして中央は肉体に属しています(図 35-2 を参照) この中央のチャクラは、魂が胸腺をとって肉体に入るときのみ、完全に活性化します。

双方のエーテル体が組み合わさったものは、一般的には卵型をしています。魂意識が完全に目覚めると、頭部のクラウンチャクラの辺り、両手、ひざのすぐ内側と両足に、後光のような光のエネルギーが観察できるようになります。

核となるチャクラシステムは、以下のように肉体の分泌系と直接関連しています。

- 1) ベースチャクラ 卵巣／睾丸
- 2) 第二チャクラ／脾臓
- 3) 第三チャクラ 副腎とすい臓
- 4) ハートチャクラ 胸腺
- 5) 喉のチャクラ 甲状腺
- 6) 第三の目のチャクラ 脳下垂体
- 7) クラウンチャクラ 松果体

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

巻末資料－ 2

Week36

転生していない魂の エネルギー

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

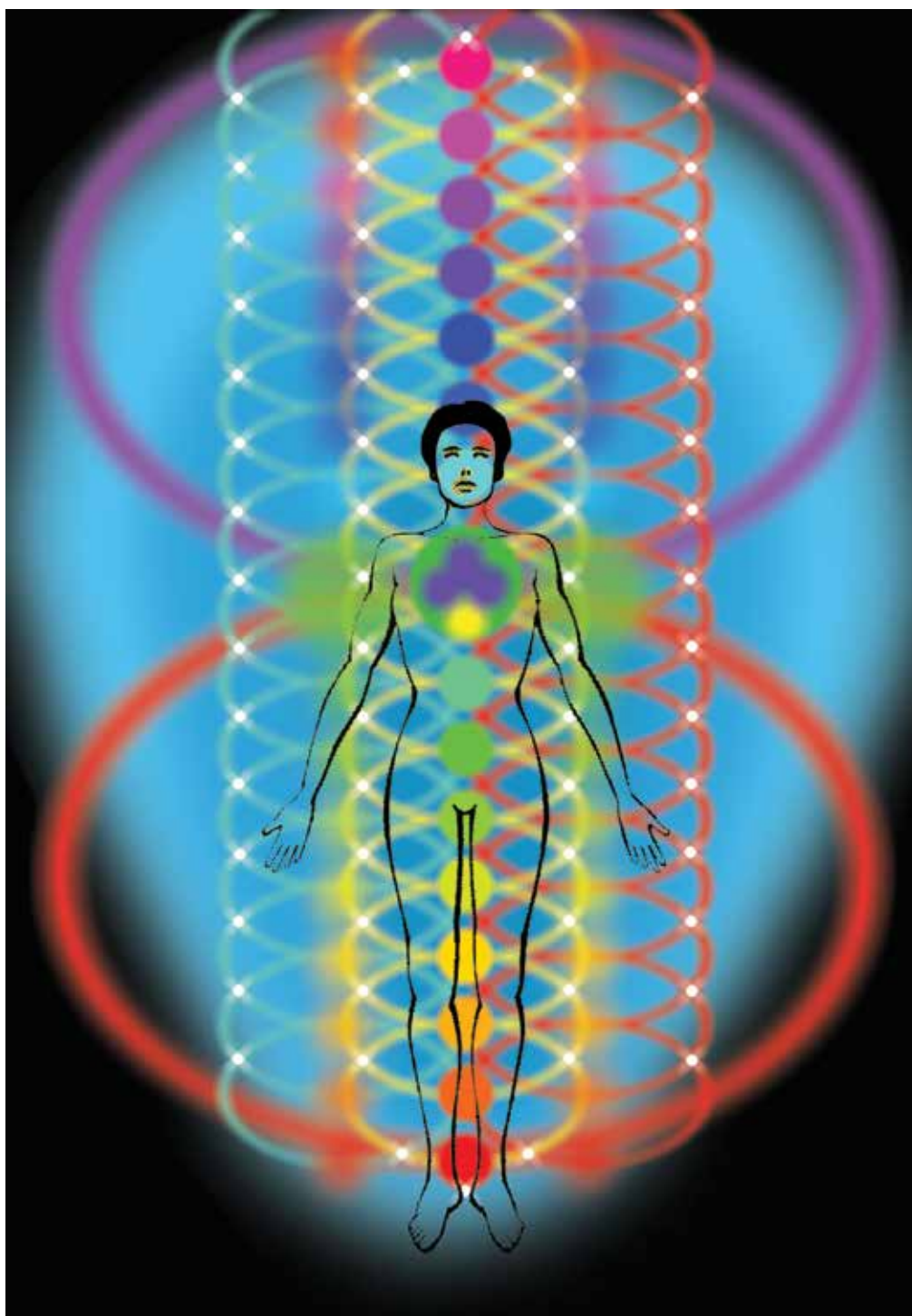
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

魂のエーテル体と気の流れ



ブルーが魂のエーテル体。魂のエーテル体は肉体に浸透し、肉体を取り囲んでいます。ここは最もハーモニクス密度の高い領域であり、肉体のエーテル体とほとんど同じスペースに存在しています。曲線は気の流れを表しています。人間の肉体に転生していない魂の場合、上図のカラーのようになります。なお、この図にある人体の絵は、肉体に比べ魂のエネルギーがどれだけ巨大なのかを単に表しています。

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

卷末資料－ 3

Week37

図解：人格／自我

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

#6 Soul Personality/Spirit Ego 魂の人格/スピリットの自我

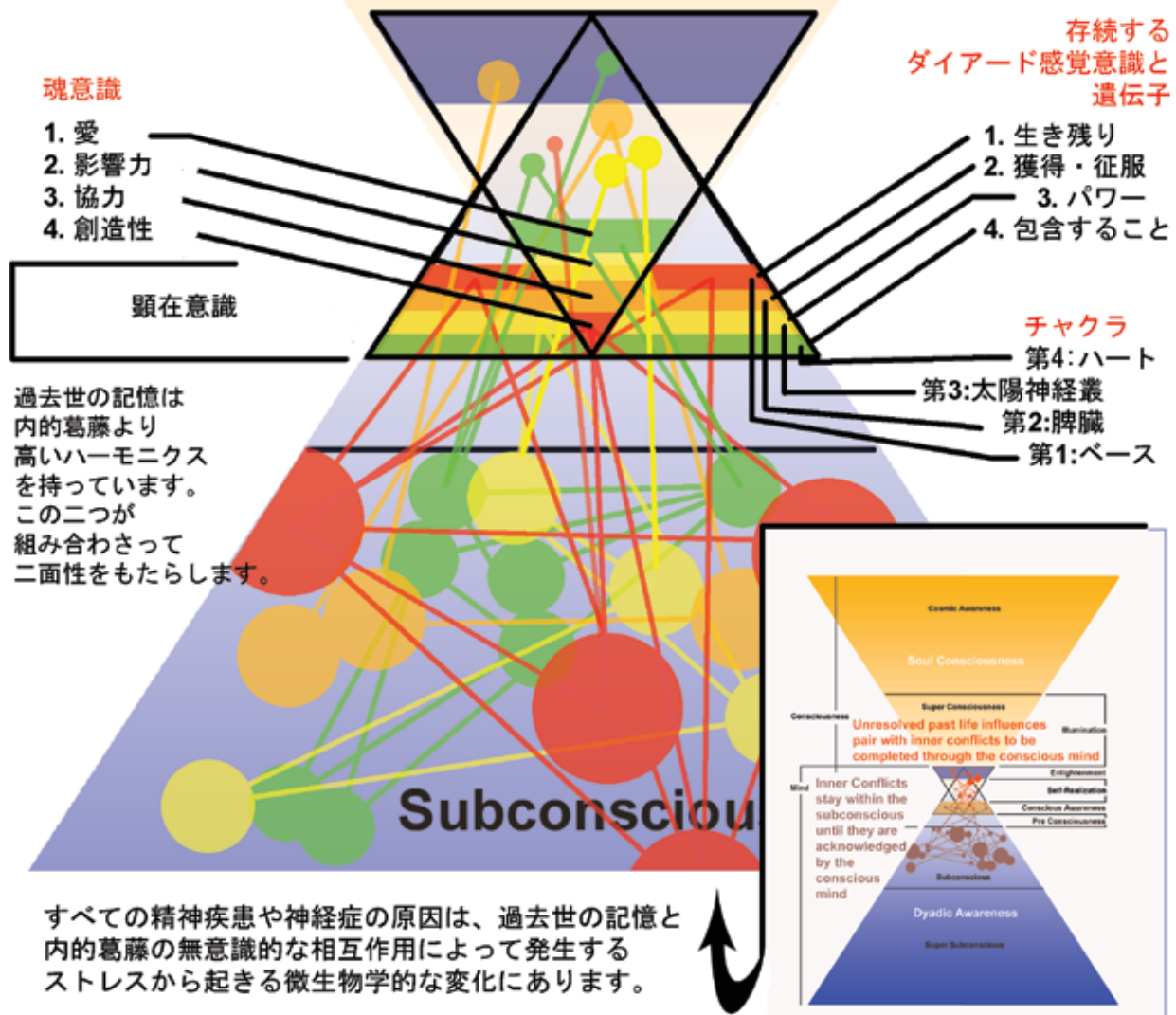
人格は過去世の記憶に関係し、自我は内的葛藤に関係している。

平均的な人:

魂の未解決の過去世と進化するダイアードのスピリットの内的葛藤がもたらす内側で起きるダイナミクス（力動）は、魂が肉体に入るときに活性化する。

人格とは、私たちが魂のエーテル体の中に持つ過去世の記憶をすべて合わせたものを指します。人生における主要な要素にバランスがとれているとき、つまり正しく育成され、認められているとき、総合人格に内在する特性は完全に現れています。人格の自我の部分が優勢になるのは、未解決の過去世の影響や現世の内的葛藤がストレスによって強まるときです。平均的な人の意識は物理的な側面に主に集中しているため、過度に内的葛藤—自我とイド(*)に影響されます。

(*)フロイトは人間の精神構造をイド、自我、超自我の3つの構成概念を用いた。イドはリビドーと呼ばれる精神エネルギーを持ち、快楽原則に従い、衝動を解放し、満足を求めたりするために、意志によって制御するのが困難であるとされている。



© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.
Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp ; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

巻末資料－ 4

Week38

推奨される手順 ポイント図解

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.

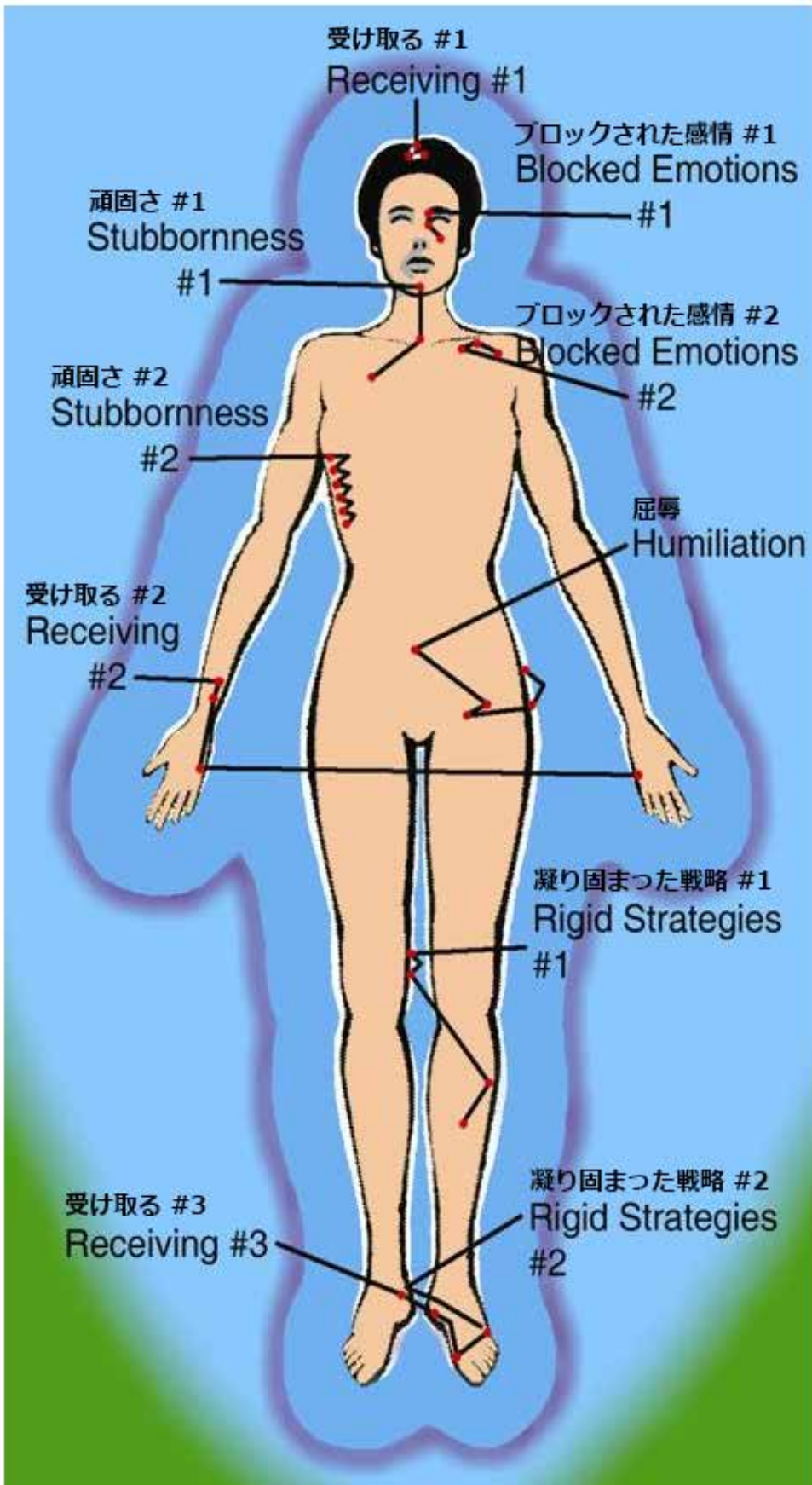
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。



All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.

Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボーンネル及びノウイングパートナーLLCの著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。

The School for Knowing
Santa Fe, New Mexico and Tokyo, Japan

© Copyright 2007-2023 Gary Bonnell and Knowing Partners LLC, Santa Fe, New Mexico USA.
All Rights Reserved under the International and Pan-American copyright Conventions and the copyright laws of Japan.
Never reproduce the content of this textbook in any manner without written permission from Gary Bonnell.

Gary Bonnell can be contacted through the website, theknowingway.online.

The management office for Japan can be contacted at theknowingway.jp; Hitomi Miyajima, Managing Director.

© Copyright 2007-2023 ゲリー・ボネル及びノウイングパートナー LLC の著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁じます。